

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事 雨宮橋（下り線）

設 計 図

令和 8 年 9 月

東日本高速道路株式会社
関東支社長野工事事務所

【 図 面 目 録 】

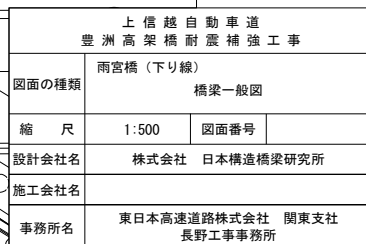
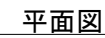
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
1	雨宮橋（下り線）数量総括表		
2	雨宮橋（下り線）橋梁一般図		
3 ～ 5	雨宮橋（下り線）耐震補強一般図（その１）～（その３）		
6	雨宮橋（下り線）Ｐ２橋脚 構造物掘削図 普通部Ａ		
7	雨宮橋（下り線）Ｐ１橋脚 縁端拡幅工Ｂ 一般図		
8	雨宮橋（下り線）Ｐ１橋脚 縁端拡幅工Ｂ 配筋図		
9	雨宮橋（下り線）Ｐ２橋脚 ＲＣ巻立て一般図		
10	雨宮橋（下り線）Ｐ２橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その１）		
11	雨宮橋（下り線）Ｐ２橋脚 ＲＣ巻立て配筋図（その２）		
12	雨宮橋（下り線）Ｐ２橋脚 中間貫通鋼材工詳細図		
13	雨宮橋（下り線）Ａ１橋台 落橋防止構造配置図		
14 ～ 17	雨宮橋（下り線）Ａ１橋台 落橋防止構造Ｐ１－Ｃ１詳細図（その１）～（その４）		
18	雨宮橋（下り線）Ａ１橋台 落橋防止構造Ｐ１－Ｃ１詳細図（その５）（参考図）		
19	雨宮橋（下り線）Ｐ１橋脚 終点側 落橋防止構造配置図		
20	雨宮橋（下り線）Ｐ１橋脚 終点側 落橋防止構造Ｐ１－Ｃ２詳細図（その１）		
21	雨宮橋（下り線）Ｐ１橋脚 終点側 落橋防止構造Ｐ１－Ｃ２詳細図（その２）		
22	雨宮橋（下り線）Ｐ１橋脚 終点側 落橋防止構造Ｐ１－Ｃ２詳細図（その３）（参考図）		
23	雨宮橋（下り線）Ａ２橋台 落橋防止構造配置図		
24	雨宮橋（下り線）Ａ２橋台 落橋防止構造 Ｐ１－Ｃ３詳細図（その１）		
25	雨宮橋（下り線）Ａ２橋台 落橋防止構造 Ｐ１－Ｃ３詳細図（その２）		
26	雨宮橋（下り線）Ａ２橋台 落橋防止構造 Ｐ１－Ｃ３詳細図（その３）（参考図）		
27	雨宮橋（下り線）Ｐ１橋脚 はく落防止対策工一般図		
28	雨宮橋（下り線）Ｐ１橋脚 断面修復工一般図		
29	雨宮橋（下り線）交通保安員 交通誘導警備員 Ｂ１－１・Ｂ４・Ｂ５ 配置図		
30 ～ 33	雨宮橋（下り線）施工計画図（その１）～（その４）（参考図）		
34	雨宮橋（下り線）配線系統図（参考図）		

項目番号	2-（6）	8-（1）	8-（2）	8-（3）	8-（3）	17-（9）	17-（9）	17-（9）	17-（9）	17-（9）	17-（11）	17-（11）
項目名称	構造物掘削	コンクリート	型わく	鉄筋	鉄筋	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	落橋防止構造	落橋防止構造
	普通部A	A 1－5	TH	T	T 1	コンクリート A 1－5	型わく	鉄筋	アンカー工 φ 2 6 ・ 2 5 0	アンカー工 φ 4 2 ・ 4 9 0	P 1－C 1	P 1－C 2
単位	m 3	m 3	m 2	t	t	m 3	m 2	t	本	本	本	本
雨宮橋	A 1										9.0	
	P 1					10.1	47.1	1.454	70.0	140.0		4.0
	P 2	77.0	36.4	147.7	4.696	1.756						
	A 2											
合計	77.0	36.4	147.7	4.696	1.756	10.1	47.1	1.454	70.0	140.0	9.0	4.0

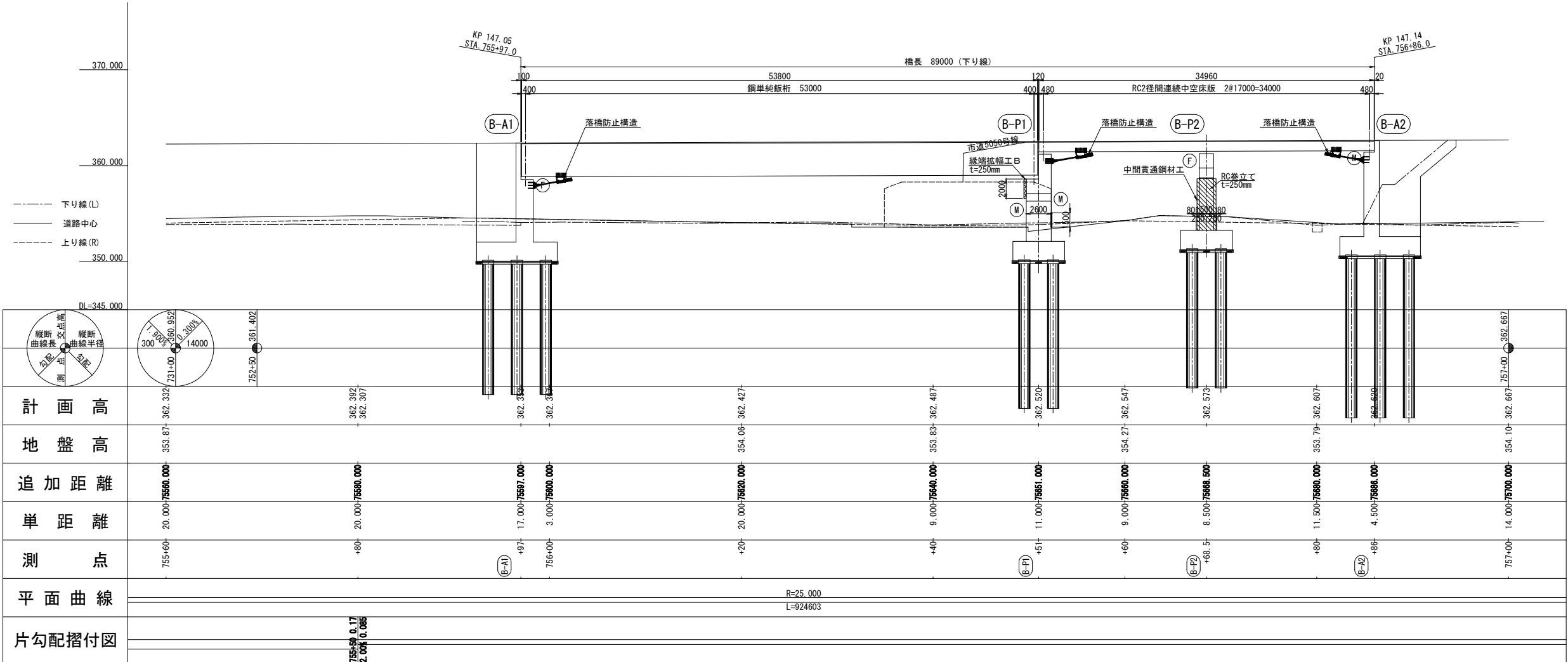
項目番号	17-（11）	17-（11）	17-（11）	17-（11）	17-（11）	17-（18）	17-（29）	17-（30）	17-（31）	17-（32）	19-（2）	19-（2）
項目名称	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	耐震補強用コンクリート表面処理工	断面修復工	コンクリート表面処理工	はく落防止対策工	表面保護工	交通保安要員	交通保安要員
	P 1－C 3	銅製ブラケット	アンカー工 φ 4 5 ・ 5 3 5 （水平）	アンカー工 φ 4 8 ・ 5 8 0 （水平）	アンカー工 φ 3 5 ・ 3 8 5 （上向き）	A	A 1		B 1	コンクリート表面被覆工	交通誘導警備員 B 1－1	交通誘導警備員 B 4
単位	本	t	本	本	本	m 2	L	m 2	m 2	m 2	人・日	人・日
雨宮橋	A 1	1.242		54.0							152.0	152.0
	P 1	0.548		24.0	80.0	41.1	617.0	2.5	2.5	9.1		
	P 2					142.0						
	A 2	4.0	0.692	24.0	72.0							
合計	4.0	2.482	24.0	78.0	152.0	183.1	617.0	2.5	2.5	9.1	152.0	152.0

項目番号	19-（2）	特-（5）	特-（13）	特-（13）	特-（14）
項目名称	交通保安要員	中間貫通鋼材工	コンクリートはつり工	コンクリートはつり工	塗膜除去工
	交通誘導警備員 B 5	φ 5 2 ・ 1 5 0 0	A	B	A
単位	人・日	本	m 3	m 3	m2
雨宮橋	A 1	152.0			8.0
	P 1		0.695	0.011	
	P 2	42.0			
	A 2				
合計	152.0	42.0	0.695	0.011	8.0

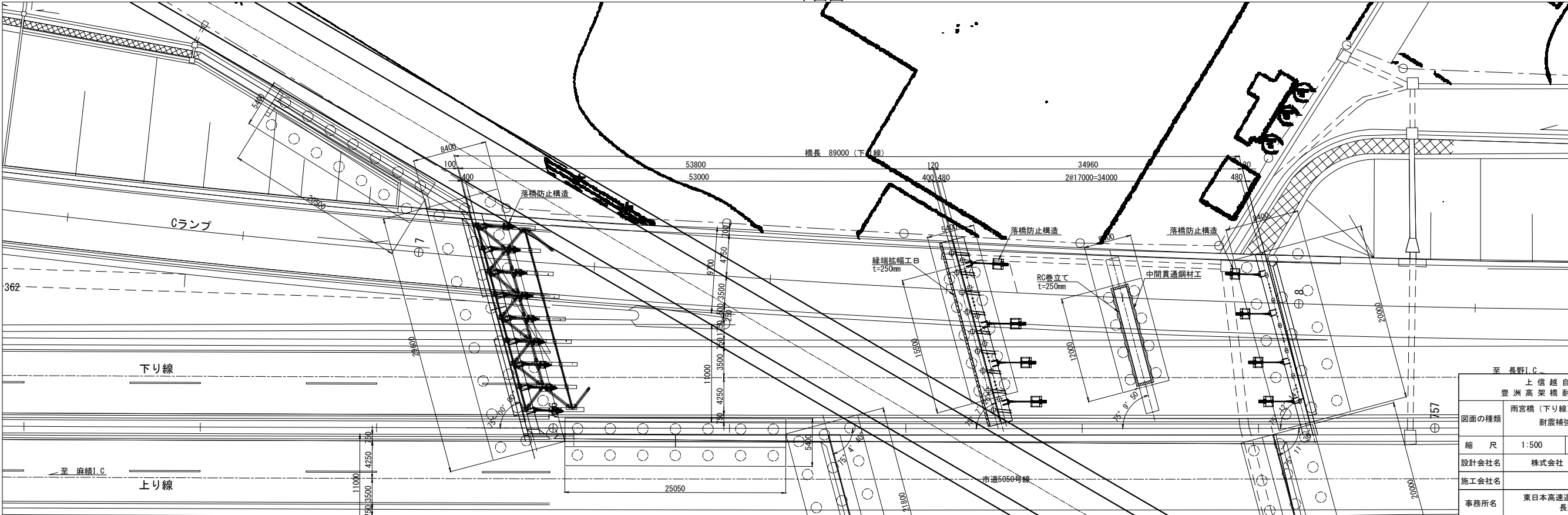
S=1 : 500



側面図

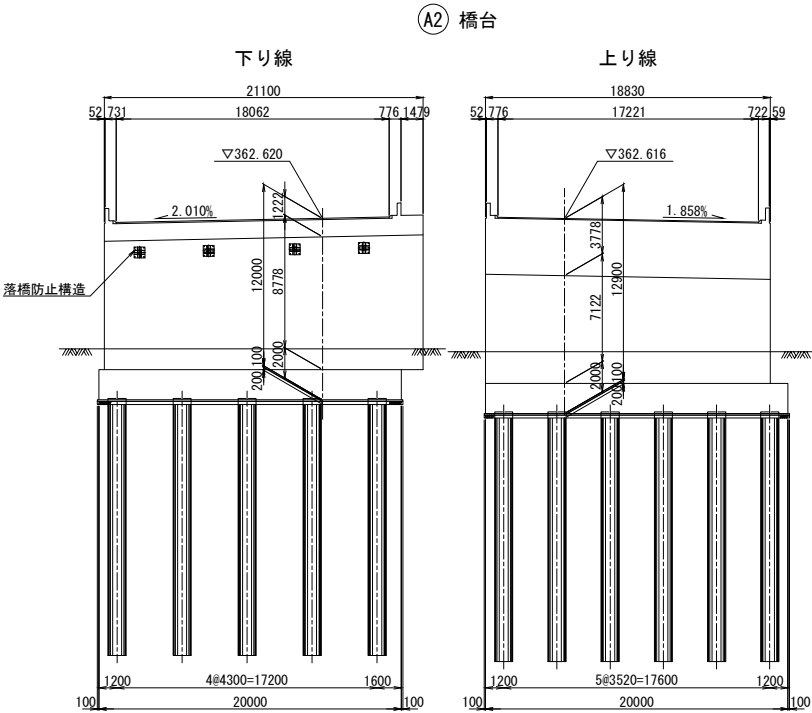
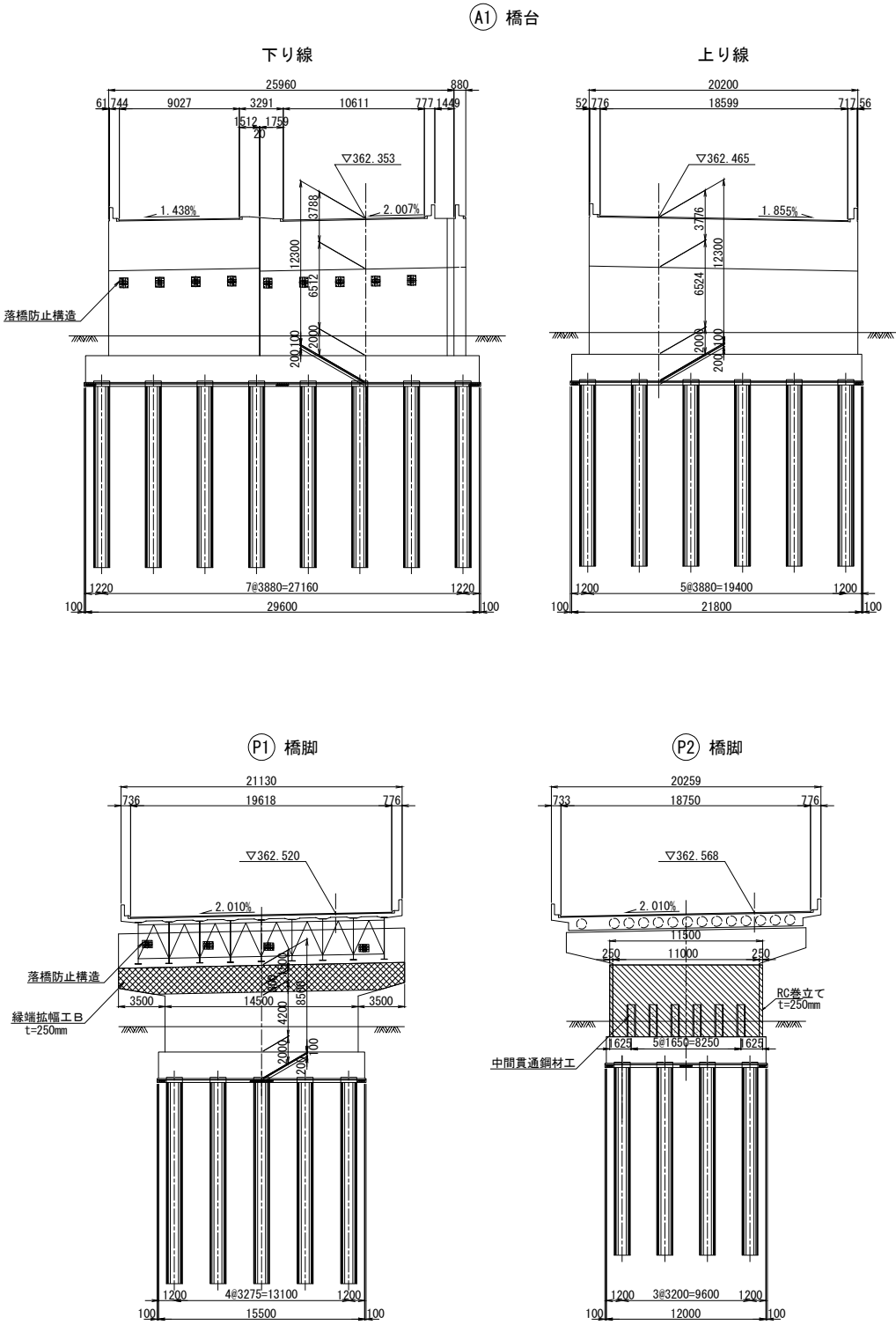


平面図



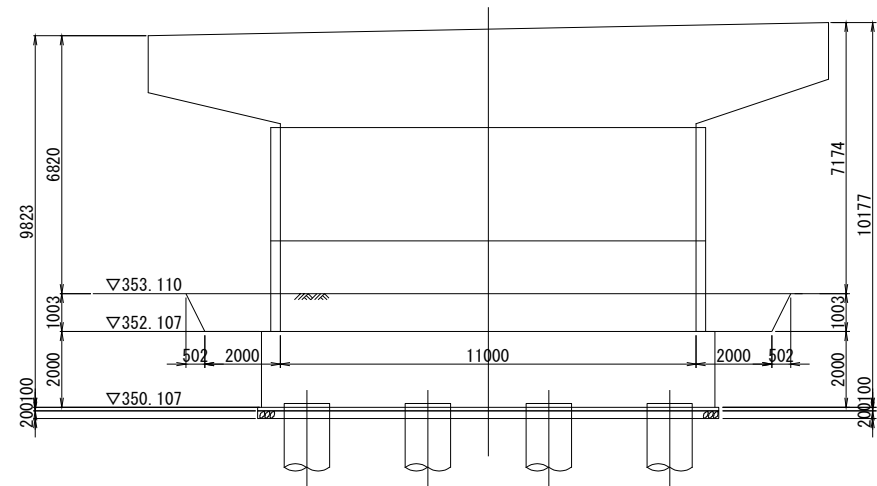
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） 耐震補強一般図（その1）		
縮 尺	1:500	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本橋造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

横断図

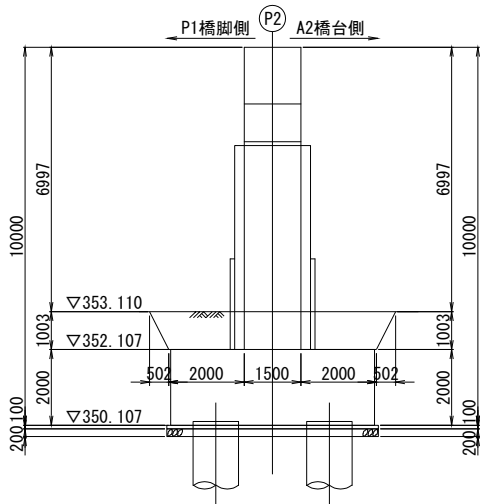


上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） 耐震補強一般図（その2）		
	縮尺	1:500	図面番号
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

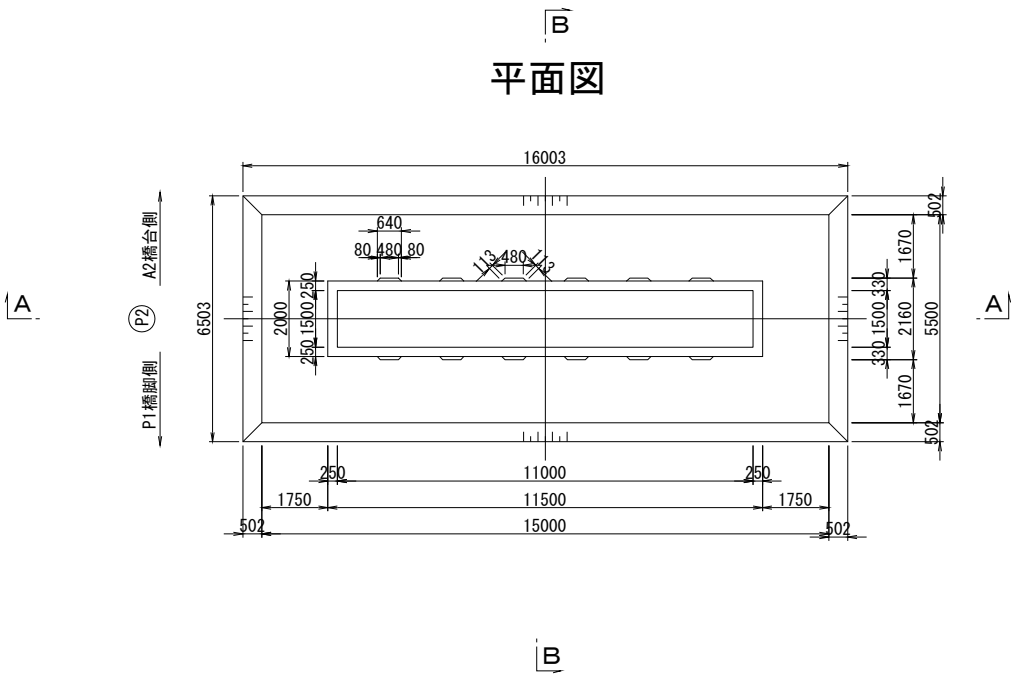
正面図（A-A）



側面図（B-B）

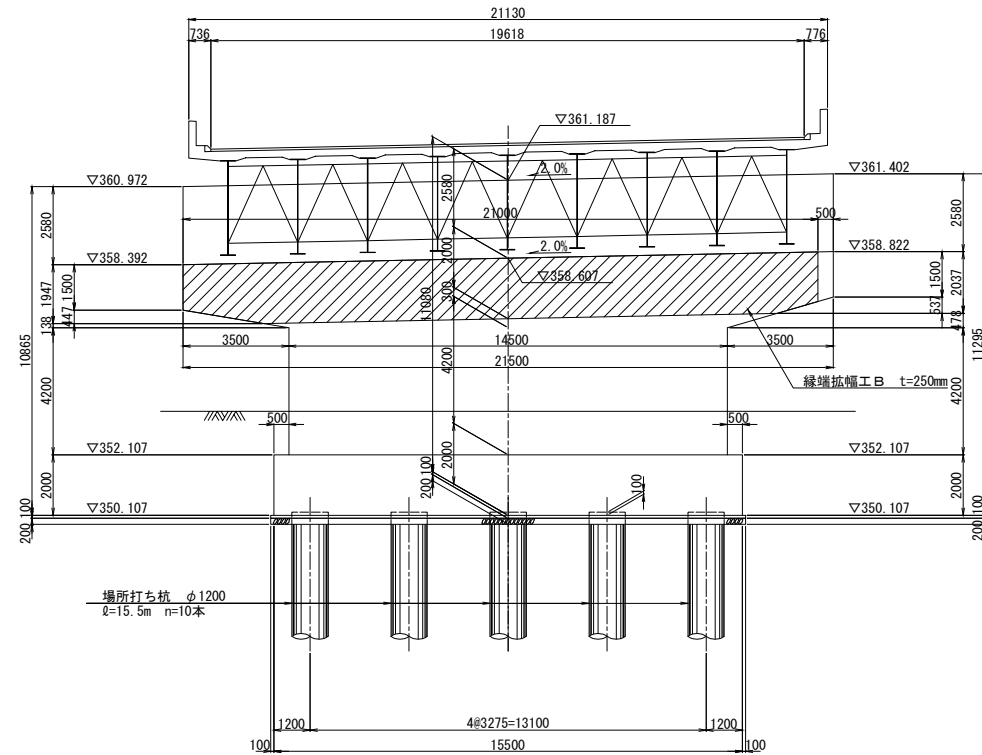


平面図

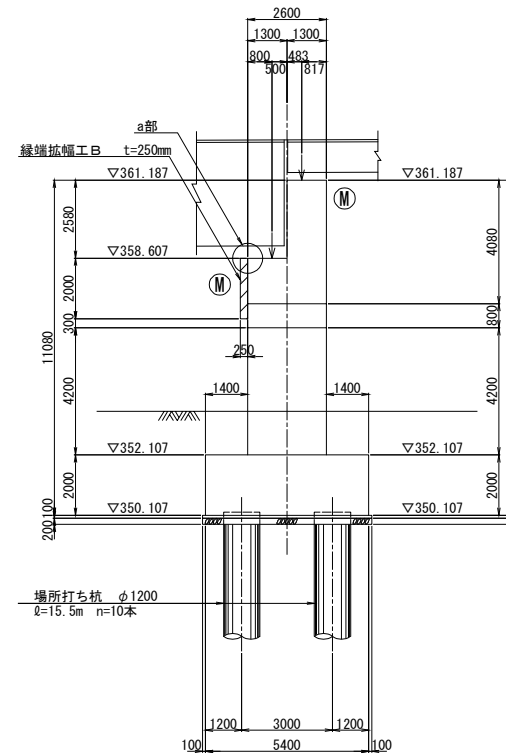


上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） P 2 橋脚 構造物掘削図（普通部 A）		
	縮 尺	1：200	図面番号
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

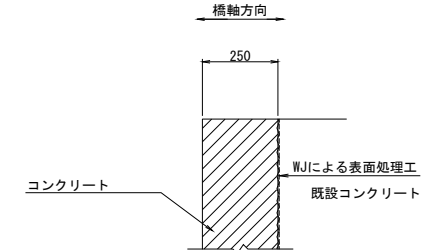
正面図



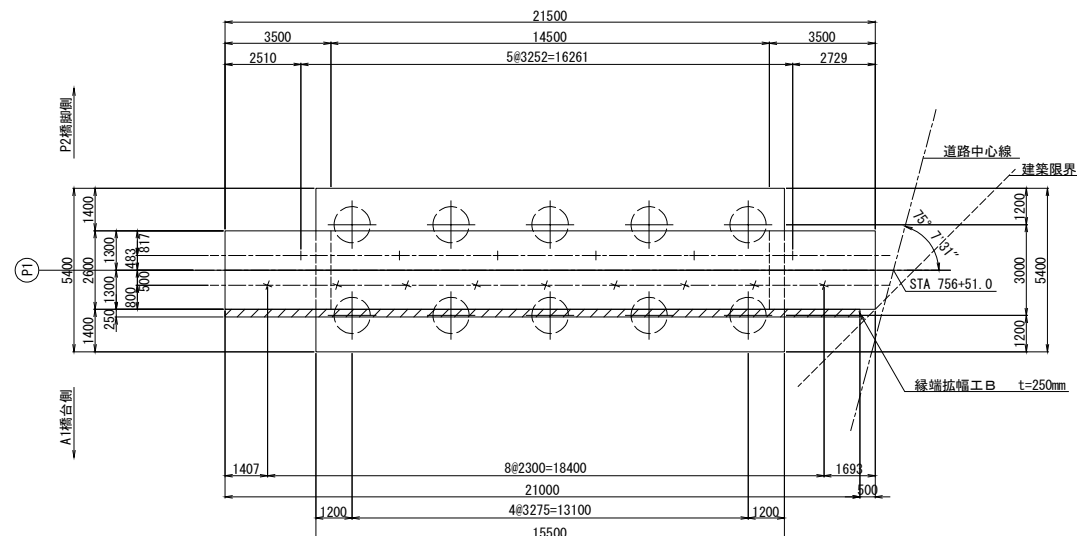
側面図



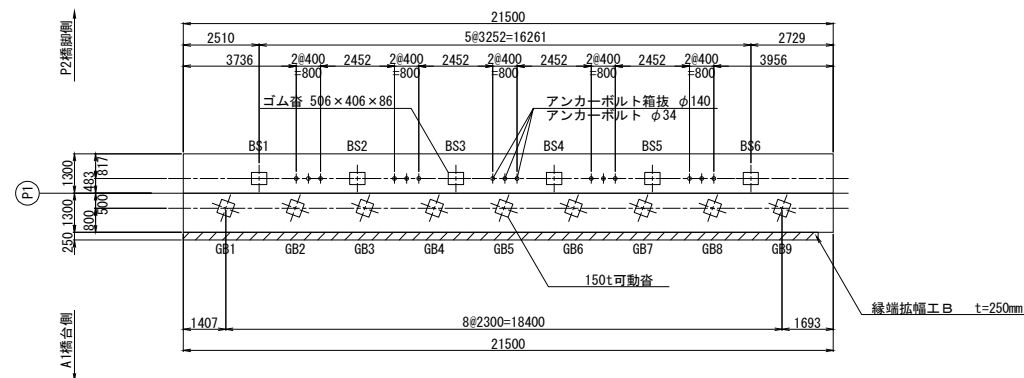
a部詳細図 S=1:25



平面図



橋座詳細図



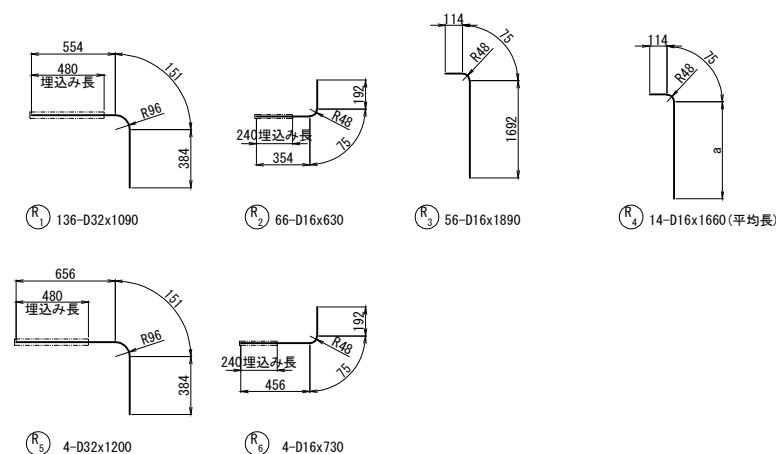
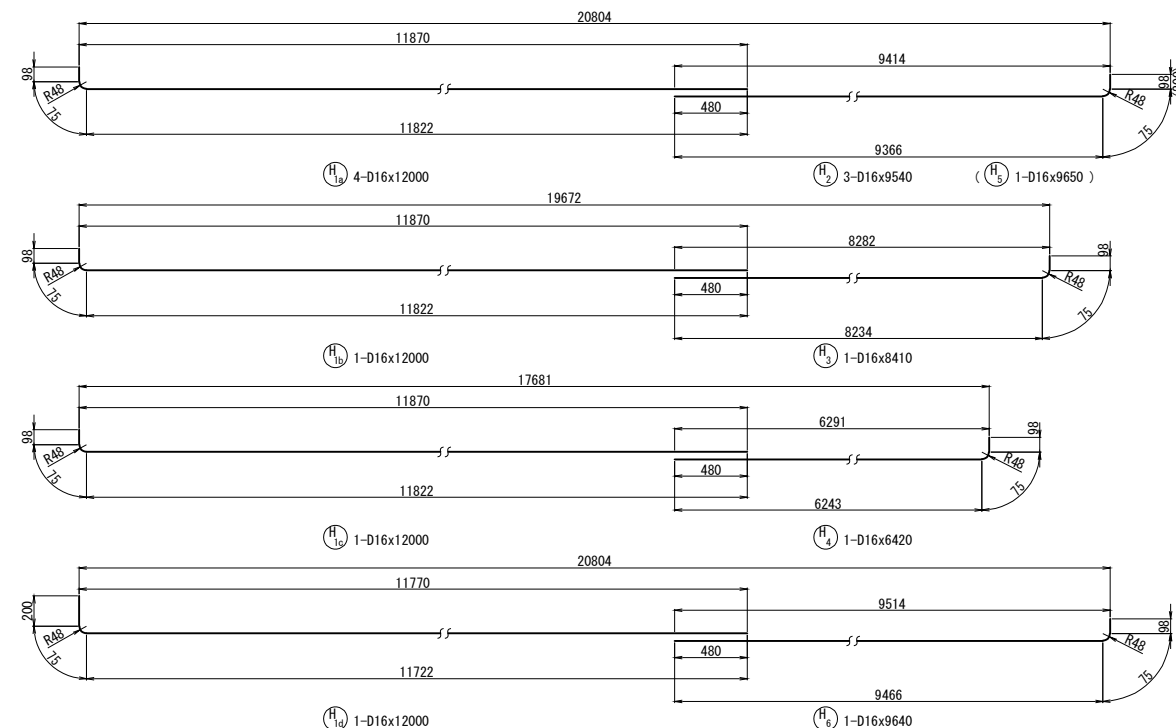
使用材料

		鉄筋	コンクリート
既設	壁・バラベツト	SD345	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	フーチング	SD345	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
新設	縁端拡幅	SD345	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$

注記)

- 1) 施工に際しては、現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
- 2) アンカー削孔前に鉄筋探査を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。
- 3) 橋端部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
- 4) 縁端拡幅工及びRC巻立てと、断面修復工が重複している範囲のWJ施工数量については、コンクリートはつり工で計上している。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
雨宮橋（下り線）			
図面の種類	P 1 橋脚 線端掘削工 B 一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本橋造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



記号	怪	本数	a	L
4 - 1	D16	1	1217	1410
2	D16	1	1259	1450
3	D16	1	1315	1510
4	D16	1	1371	1560
5	D16	1	1428	1620
6	D16	1	1484	1680
7	D16	1	1540	1730
8	D16	1	1596	1790
9	D16	1	1652	1850
10	D16	1	1667	1860
11	D16	1	1586	1780
12	D16	1	1502	1700
13	D16	1	1424	1620
14	D16	1	1375	1570
平均		14		1660

$\theta \leq 90^\circ$ $R=3\phi$
 $\theta > 90^\circ$ $R=5.5\phi$
 スターラップ $R=2.5\phi$
 $\Delta L = 2 \times L - a$

コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
鉄筋	SD345

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	合計質量 (kg)	摘要
H1a	D16	12000	4	1.56	18.7	75	┌──
H1b	D16	12000	1	1.56	18.7	19	┌──
H1c	D16	12000	1	1.56	18.7	19	┌──
H1d	D16	12000	1	1.56	18.7	19	┌──
H2	D16	9540	3	1.56	14.9	45	┌──
H3	D16	8410	1	1.56	13.1	13	┌──
H4	D16	6420	1	1.56	10.0	10	┌──
H5	D16	9650	1	1.56	15.1	15	┌──
H6	D16	9640	1	1.56	15.0	15	┌──
R1	D32	1090	136	6.23	6.79	923	┌── (136)
R2	D16	630	66	1.56	0.983	65	┌── (66)
R3	D16	1890	56	1.56	2.95	165	┌──
R4	D16	1660	14	1.56	2.59	36	┌──
R5	D32	1200	4	6.23	7.48	30	┌── (4)
R6	D16	730	4	1.56	1.14	5	┌── (4)

(平均長)

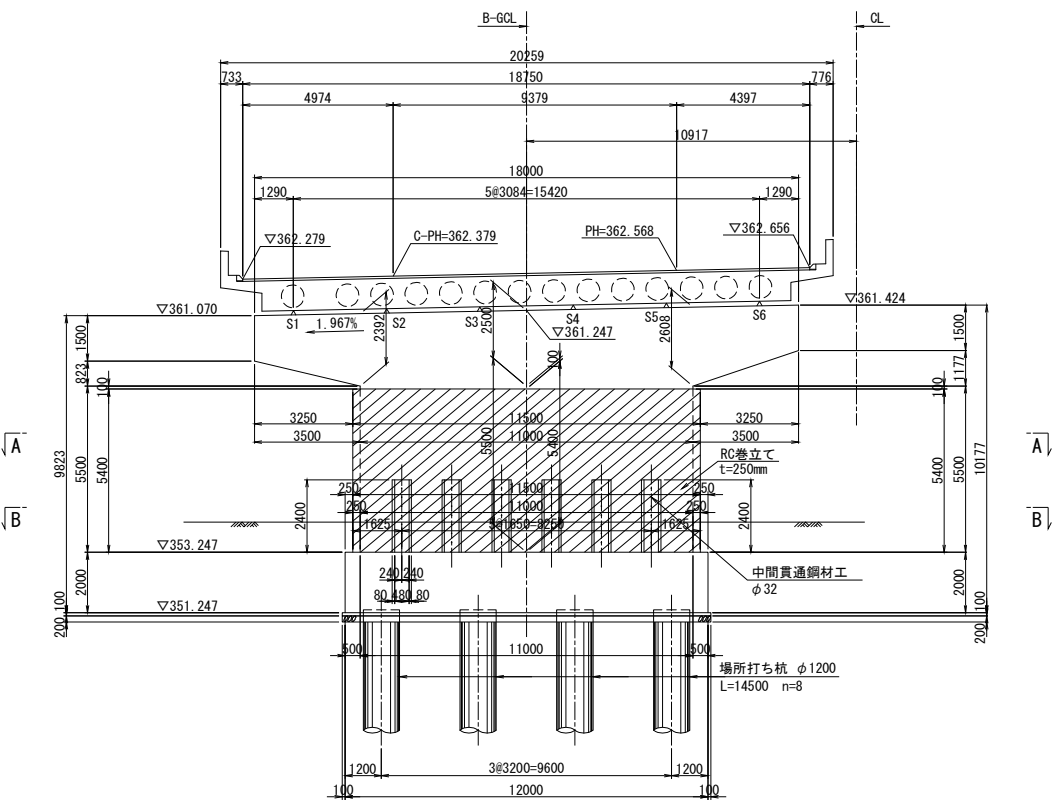
65	— 1 (00)
165	—

(注記)

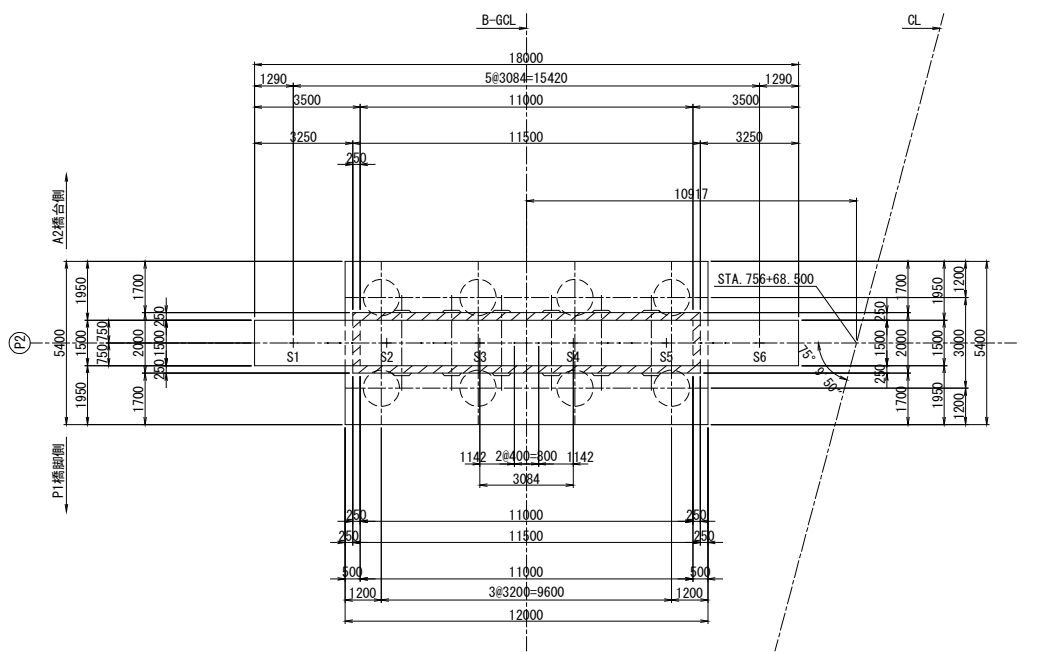
1. 施工に際しては、現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
2. アンカー前開口に鉄筋探索を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。
3. 鉄筋長は、10mm単位切り上げとする。
4. 補強筋など(既設筋)は、WJによる裏面処理を行うこと。
5. 断面修復部は、断面はつり後アンカー筋を施工したあとに断面修復を行うこと。
6. 縁端拡幅工及びR除設として、断面修復工が重複している範囲のWJ施工数量については、コンクリートはつり工で計している。

上 信 越 自 動 車 道 豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
両宮橋（下り線）			
図面の種類	P 1 橋脚 線路拡幅工 B 配筋図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

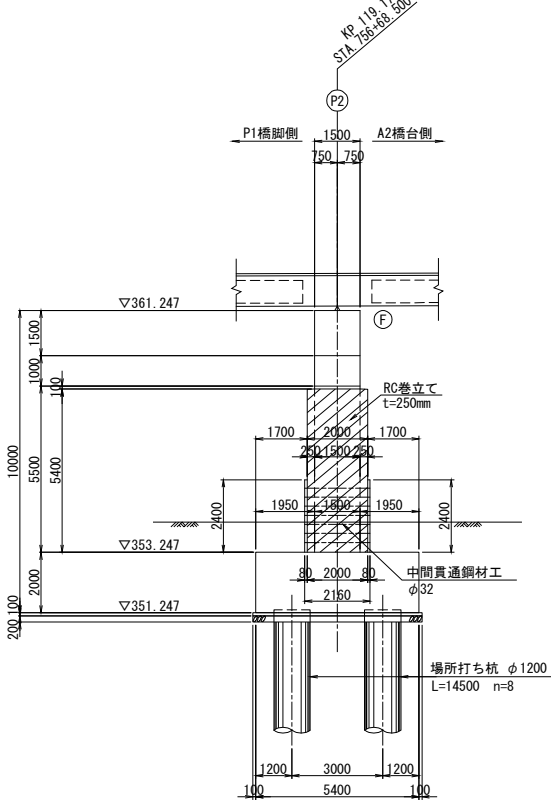
正面図



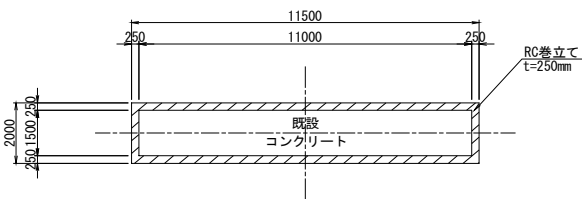
平面図



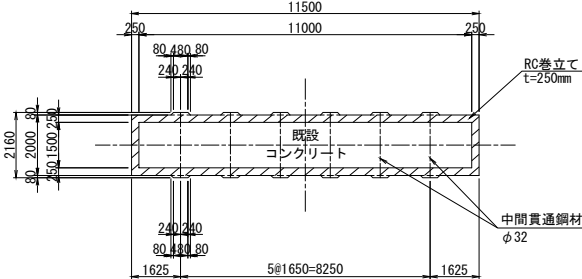
側面図



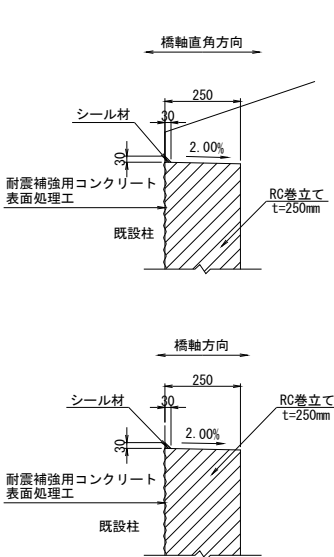
柱断面図 (A-A)



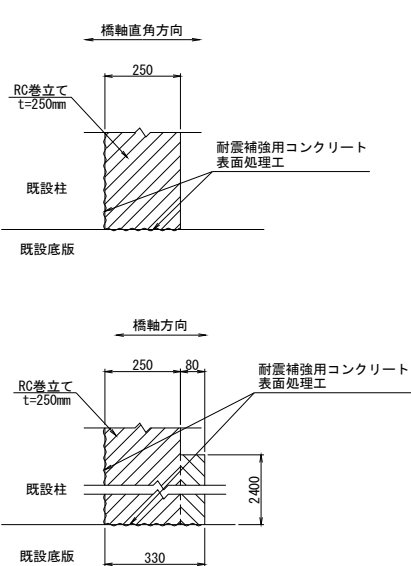
柱断面図 (B-B)



柱天端詳細図 S=1:25



柱底版取合詳細図 S=1:25

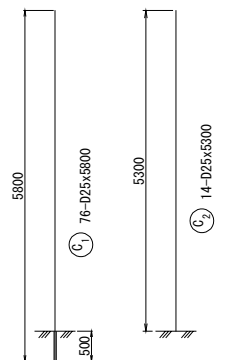
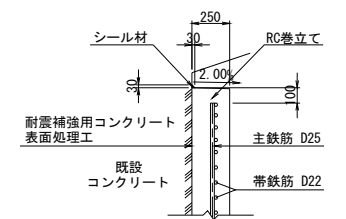
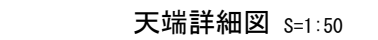
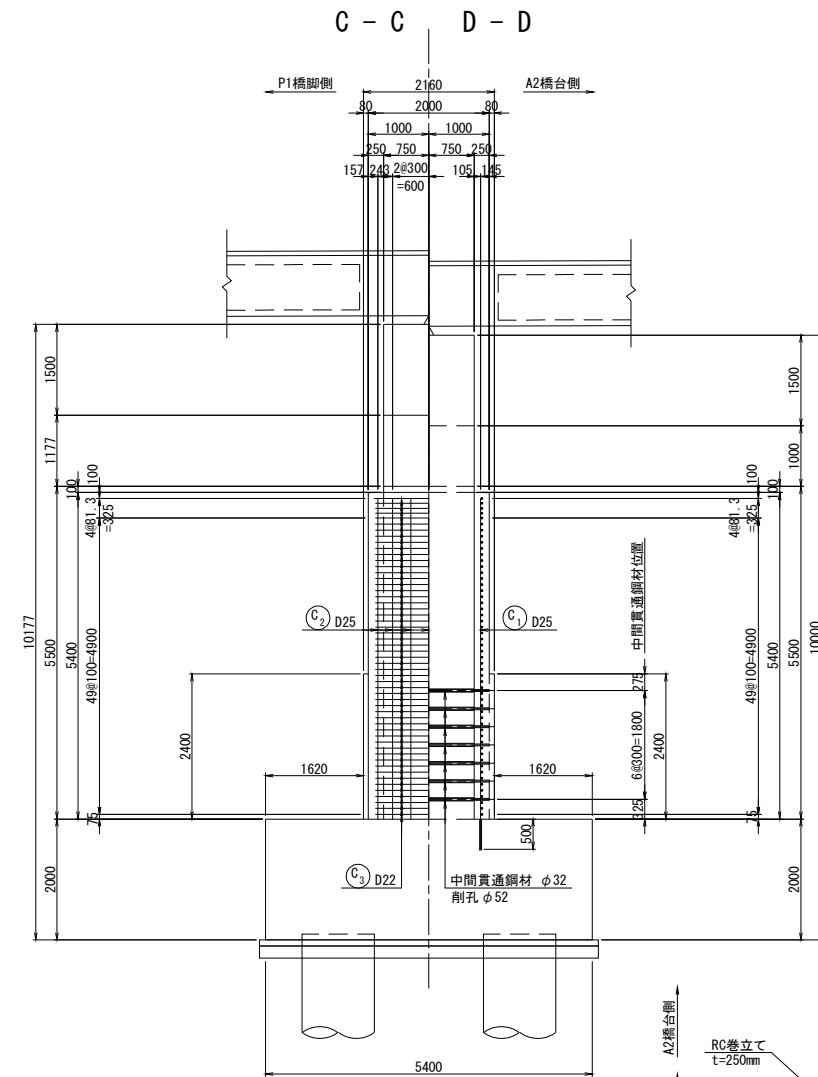
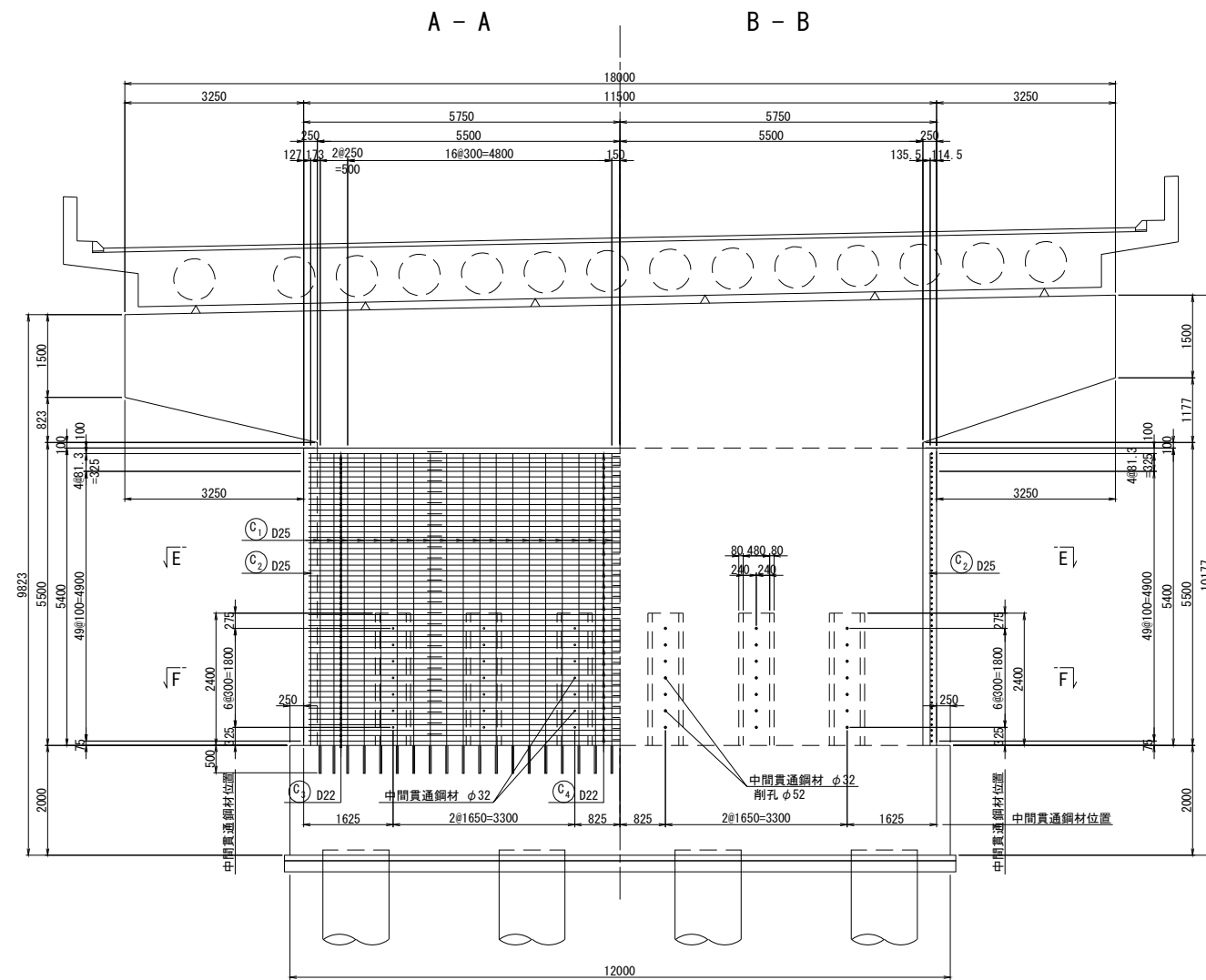


- 注記)
- 1) 施工前に既設形状寸法を確認すること。
 - 2) アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探査等による調査を実施し、確認すること。
 - 3) 補強部分（既設面）は、WJによる表面処理を行うこと。

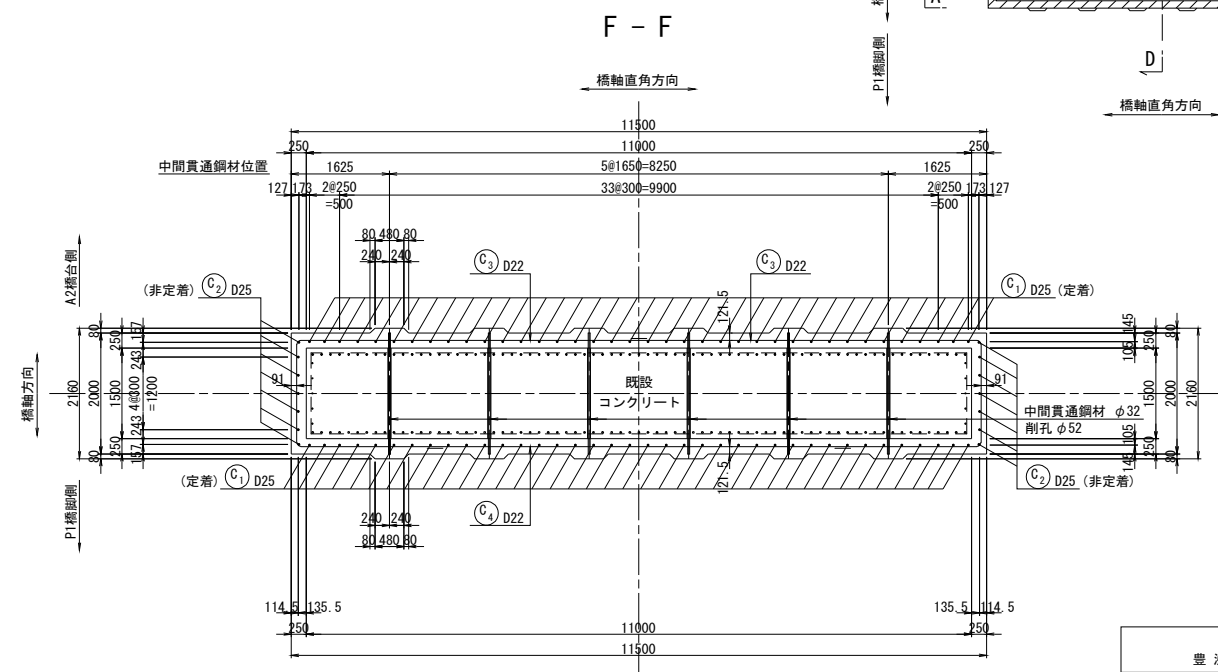
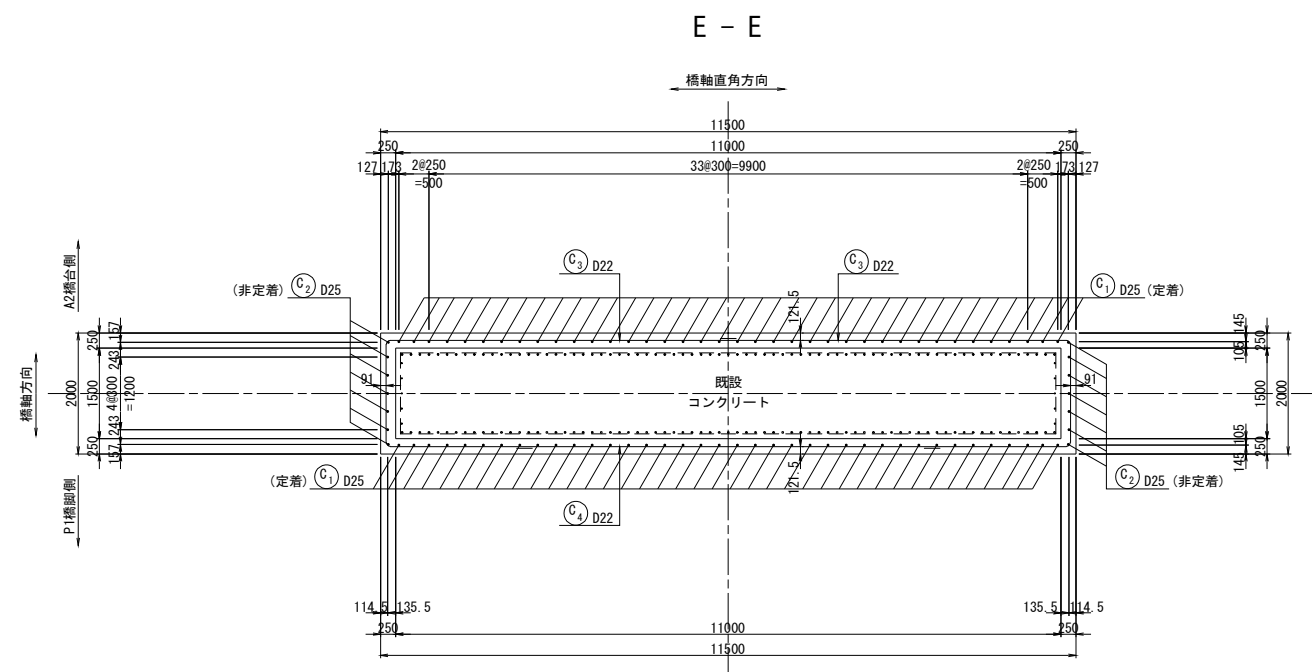
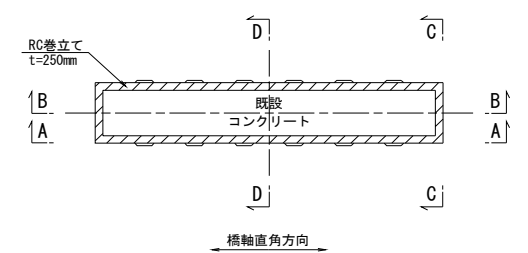
使用材料

		鉄筋	コンクリート
		SD345	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
既設部	梁	SD345	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	柱	SD345	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	底版	SD345	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
新設部	場所打ち杭	SD345	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	巻立て	SD345	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） P 2 橋脚 RC巻立て一般図		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 日本橋造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



位置図

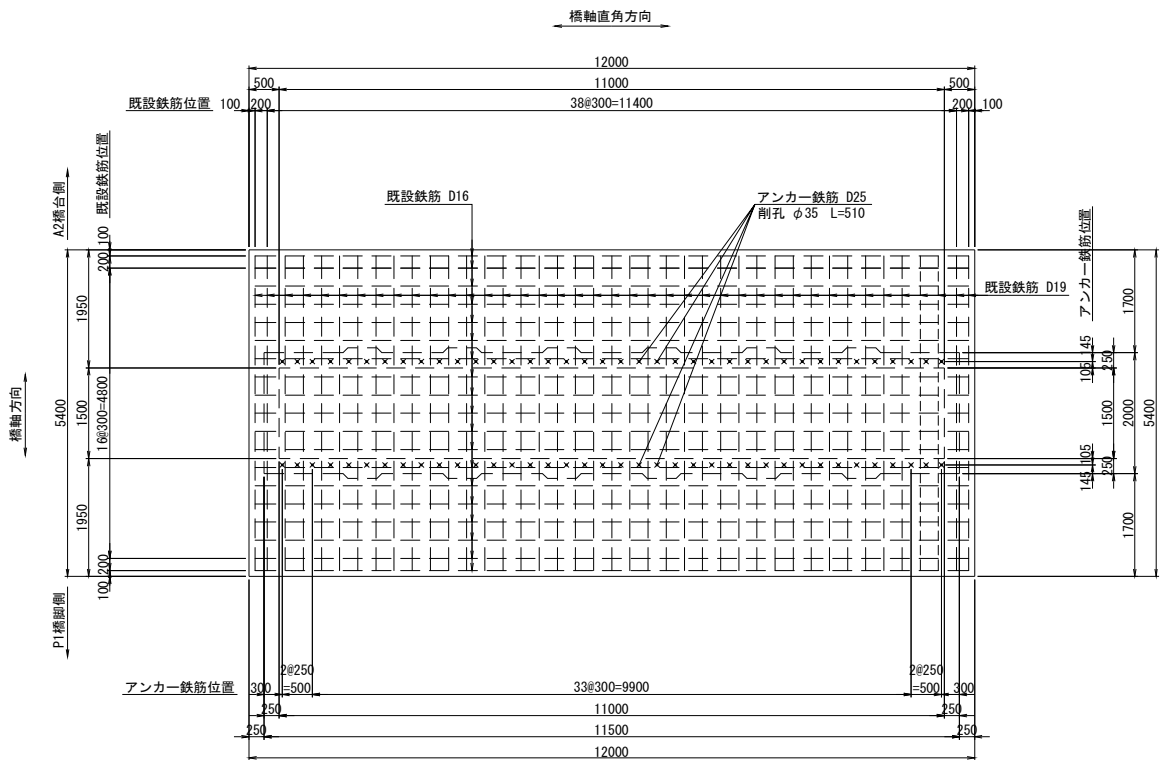


注記)

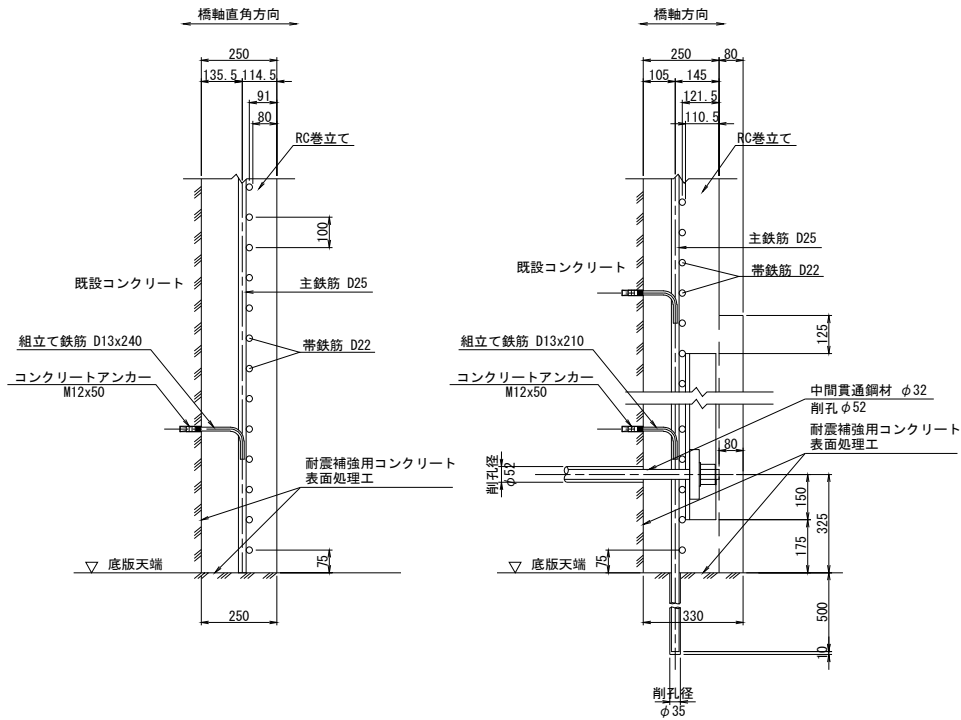
- 1) 施工前に、既設形状寸法を確認すること。
- 2) アンカ一定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探査等による調査を実施し、確認すること。
- 3) 補強部分（既設面）は、WJによる表面処理を行うこと。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） P2橋脚 RC巻立て筋筋図（その１）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

アンカー削孔位置図
(底版上面)



柱かぶり詳細図 S=1:25

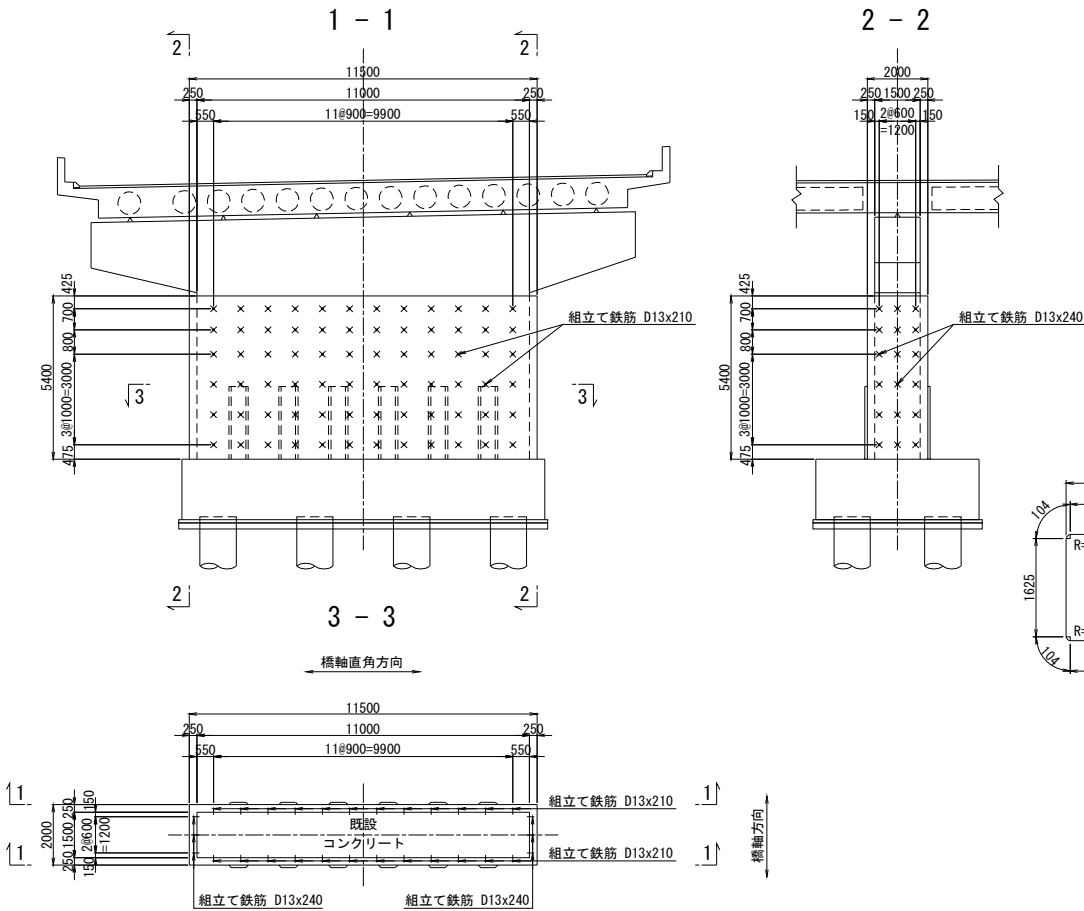


鉄筋表

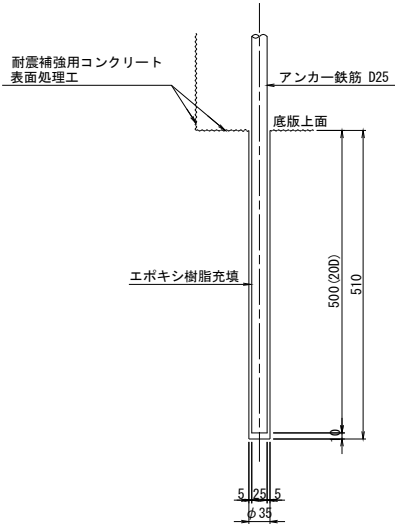
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1	D25	5800	76	3.98	23.1	1756	
C 2	D25	5300	14	3.98	21.1	295	
C 3	D22	9910	108	3.04	30.1	3251	
C 4	D22	7000	54	3.04	21.3	1150	
小計 6452 kg							
鉄筋質量集計 (SD345)							
鉄筋T		フレア溶接		アンカー定着		鉄筋T1	
D25		295 kg		<76>		1756 kg	
D22		4401 kg		(162)		0 kg	
合計		4696 kg		(162)		1756 kg	

注) () 内値はフレア溶接ヶ所数を示す。
< > 内値はアンカー定着ヶ所数を示す。

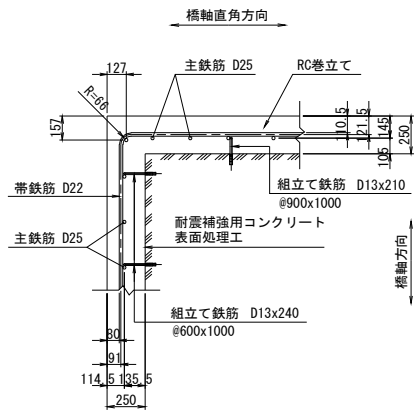
組立用アンカー配置図
(参考図)



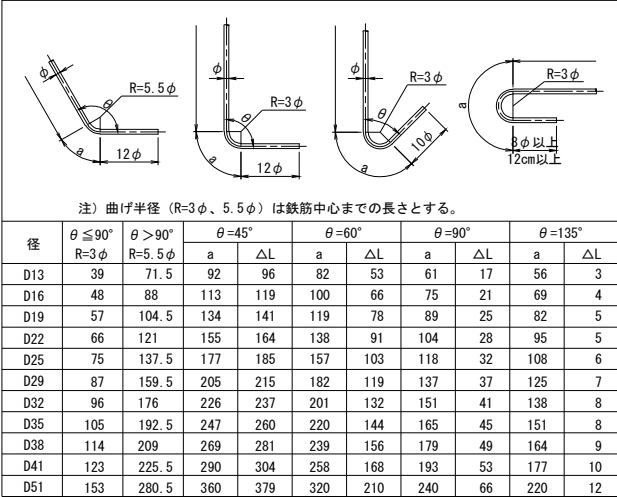
樹脂アンカー鉄筋詳細図 S=1:12.5



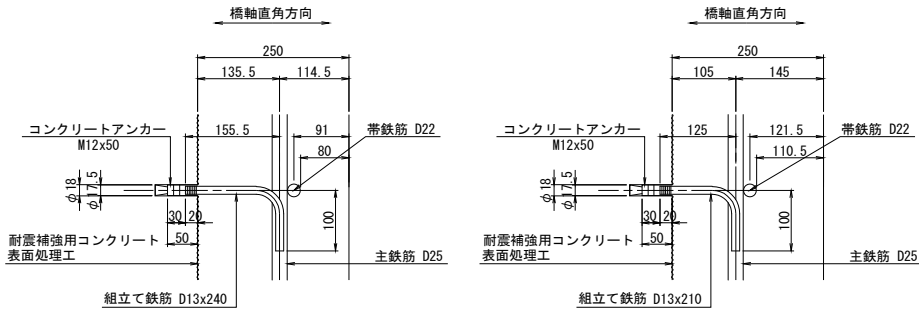
断面詳細図 S=1:50



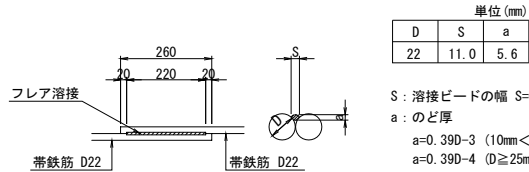
鉄筋曲げ加工表



組立てアンカー参考図 S=1:12.5



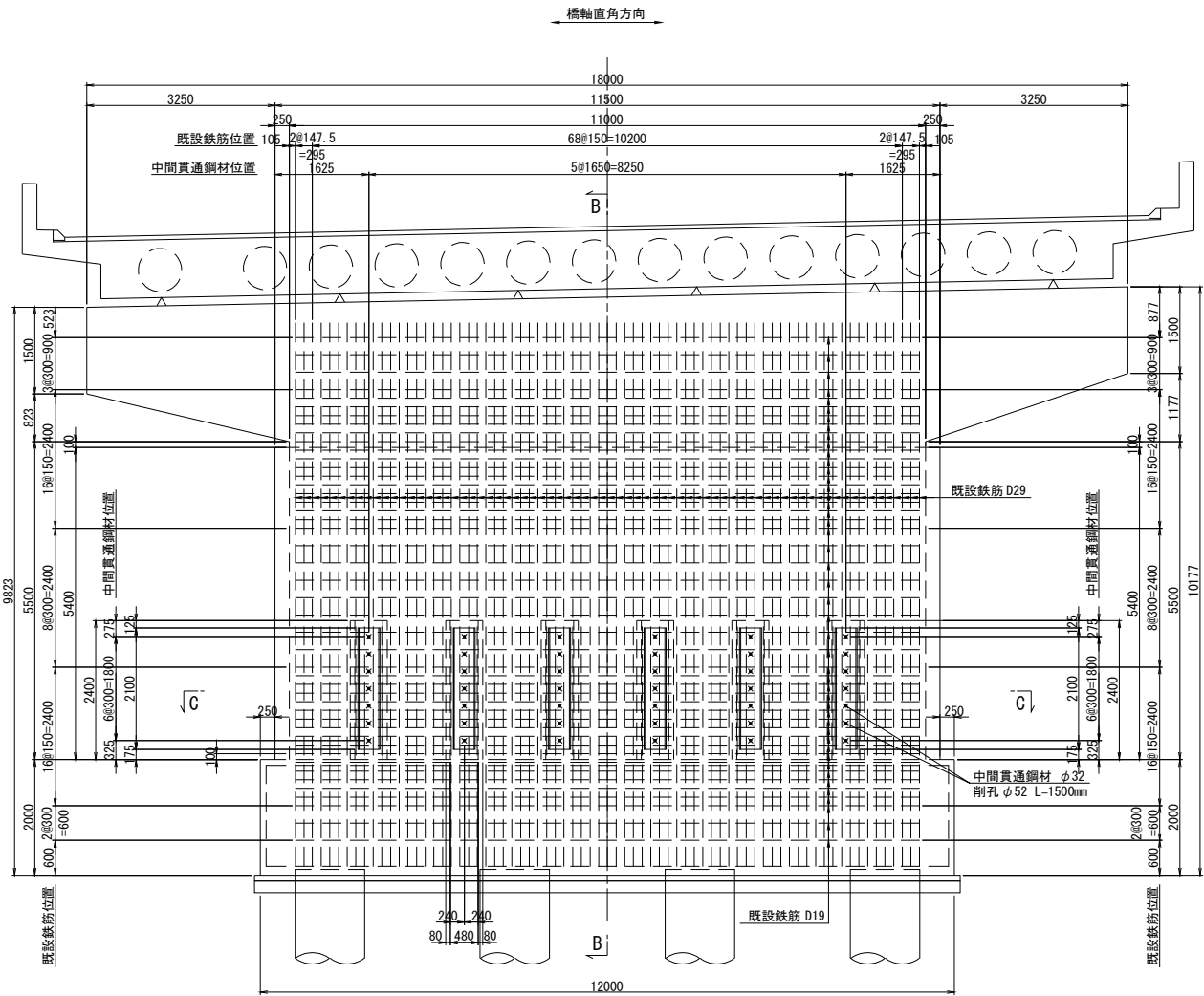
フレア溶接詳細図



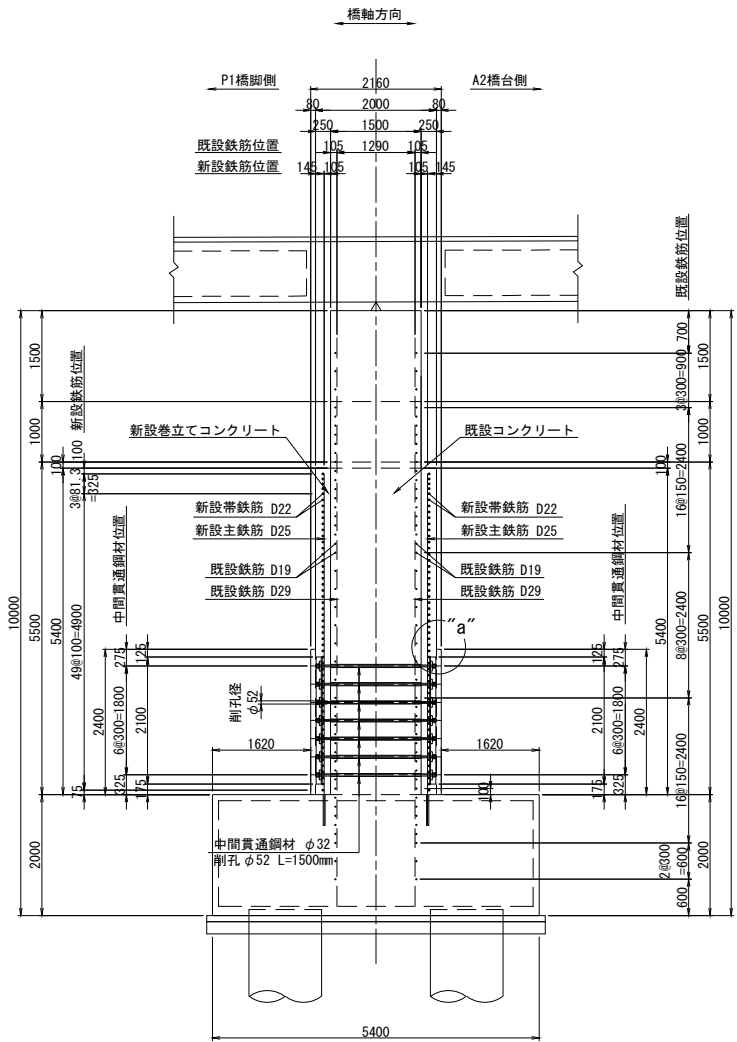
- 注記)
- 1) 施工前に、既設形状寸法を確認すること。
 - 2) アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探査等による調査を実施し、確認すること。
 - 3) 補強部分（既設面）は、WJによる表面処理を行うこと。
 - 4) 鉄筋長は10mm単位切り上げ丸めとする。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） P 2 橋脚 RC巻立て配筋図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

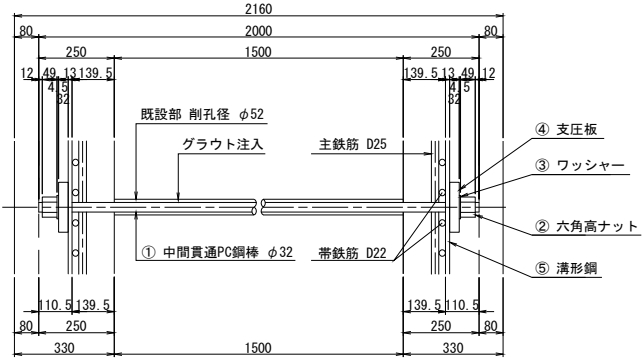
A - A



B - B

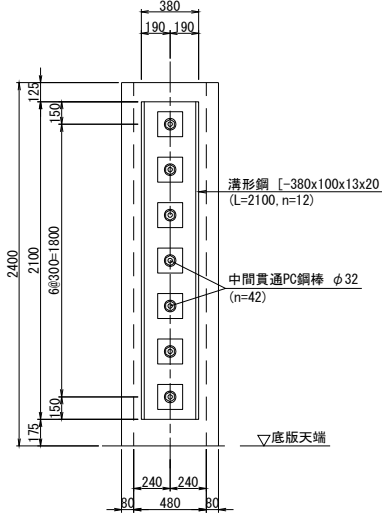


中間貫通鋼材取付詳細図 S=1:25

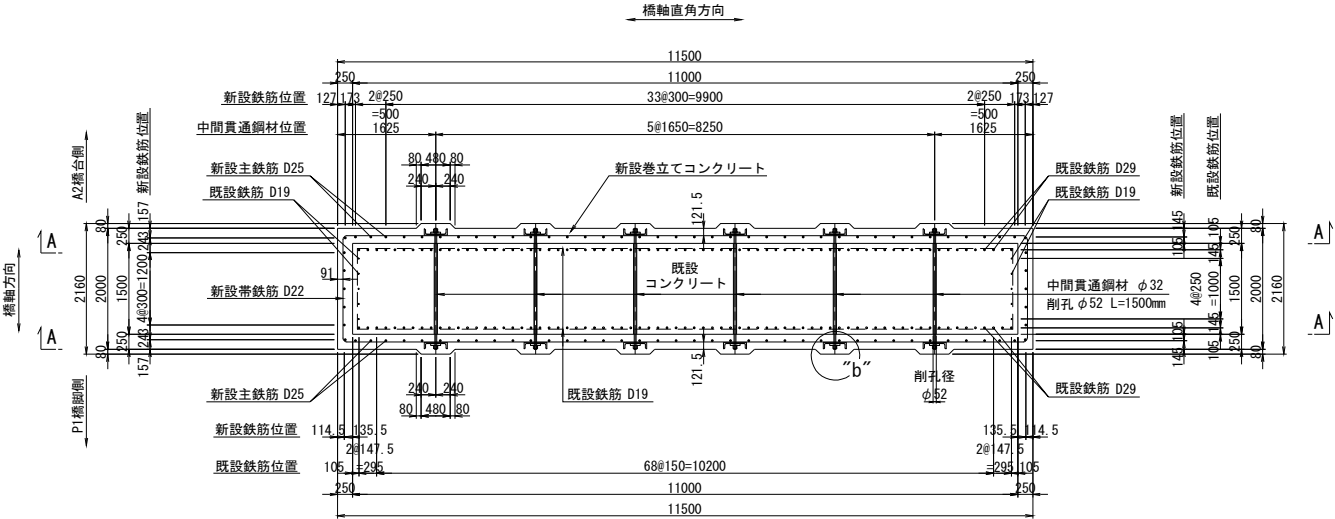


- ① 42- PC Bar φ32x2000 (SBPR 930/1080 B種1号)
- ② 84-Nut M33x2.0 (S45C)
- ③ 84-washer φ72x4.5 (SS400)
- ④ 84-PL 165x32x165 (SS400)
- ⑤ 12- [380x100x13x20x2100 (SS400)

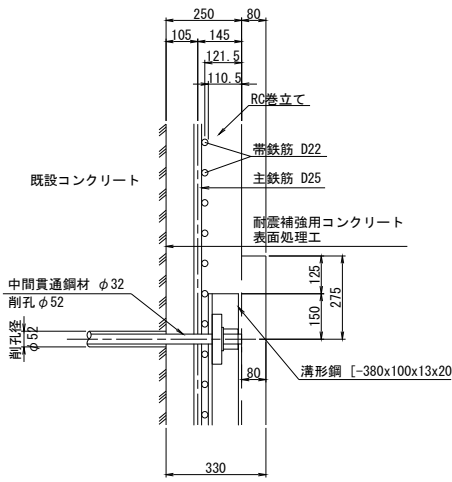
中間貫通鋼材取付詳細図 S=1:50



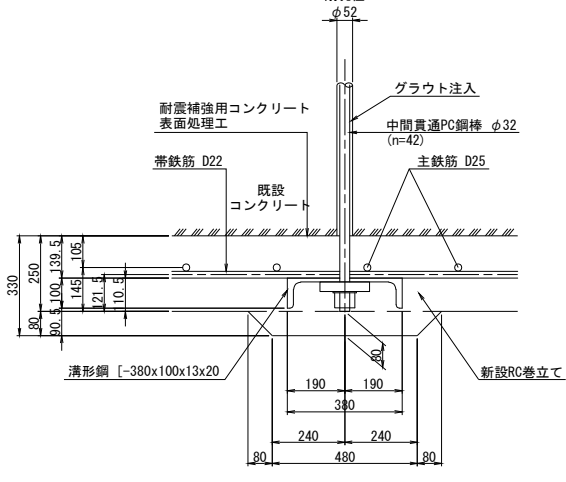
C - C



"a"部詳細図 S=1:25



"b"部詳細図 S=1:25

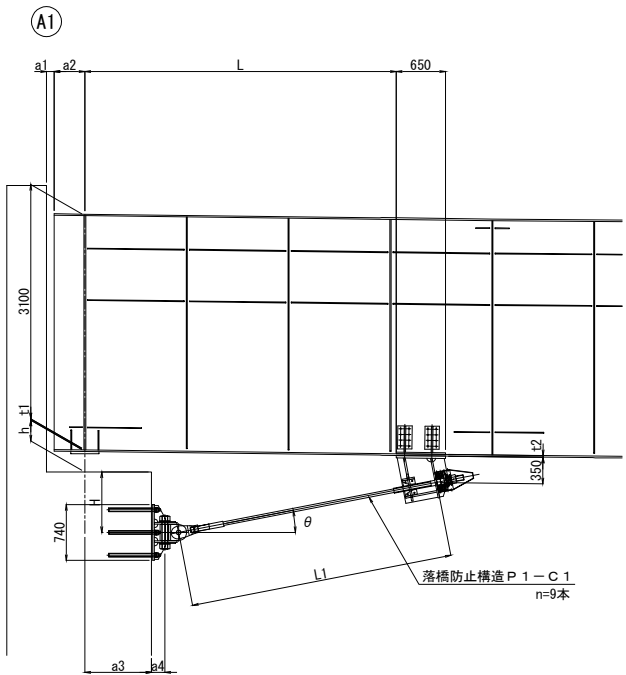
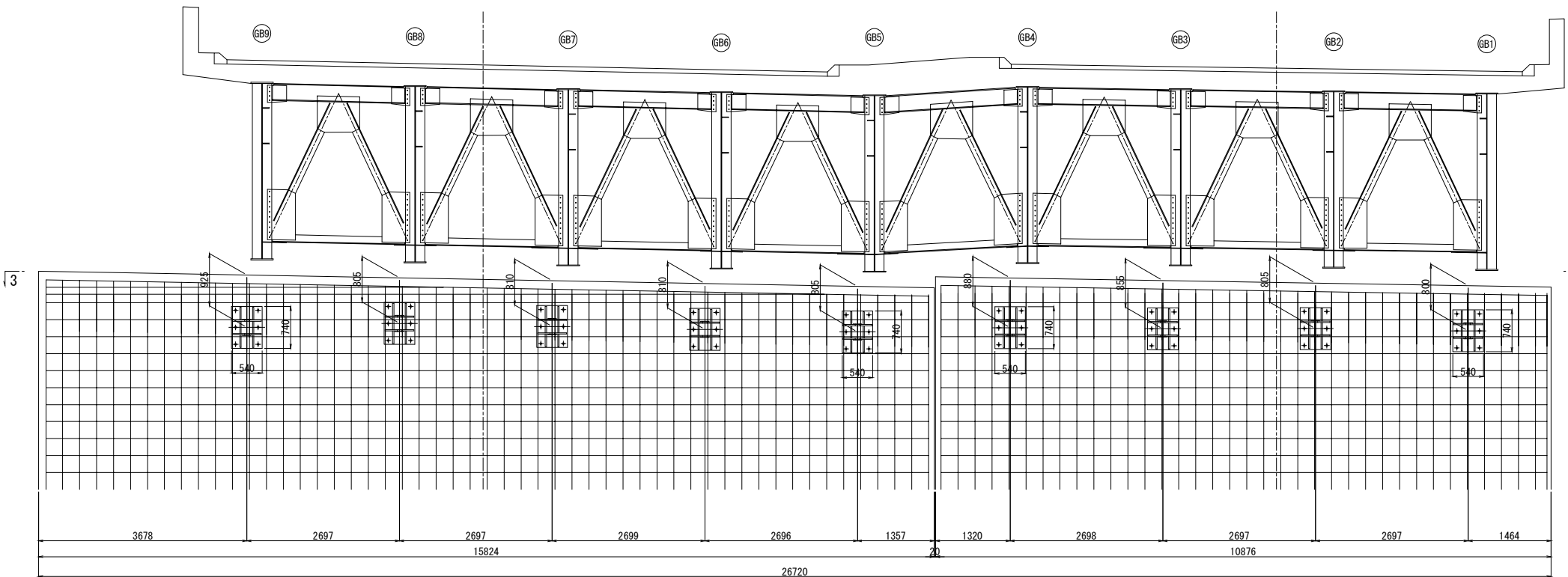


注記)
1) 施工前に、既設形状寸法を確認すること。
2) アンカー定着鉄筋の削孔にあたっては、既設構造物の鉄筋を切断しないように現在の配筋状態を事前に鉄筋探査等による調査を実施し、確認すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） P 2 橋脚 中間貫通鋼材工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本橋建設研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

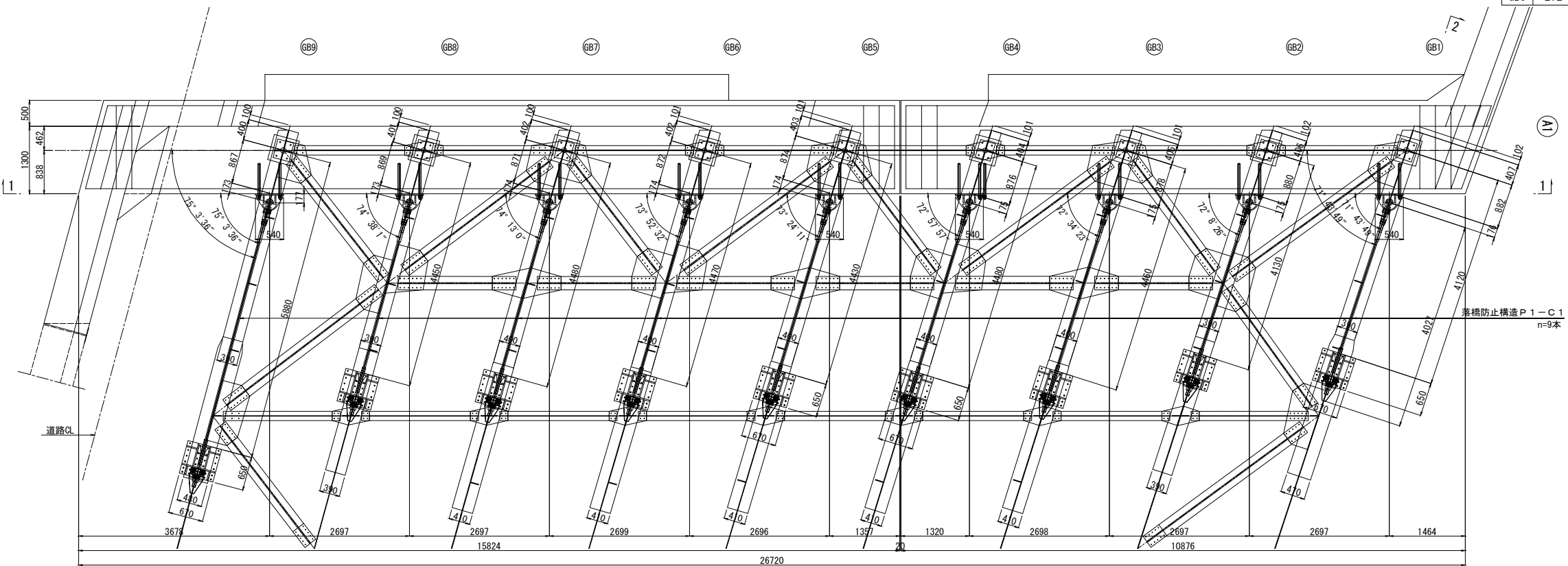
正面図（1-1）

側面図（2-2）



	h	t1	t2	a1	a2	a3	a4	L	L1	H	θ
GB1	272	19	22	102	407	882	176	4120	3479	800	11°
GB2	269	16	22	102	406	880	175	4130	3491	805	11°
GB3	264	15	19	101	405	878	175	4460	3830	855	11°
GB4	259	15	19	101	404	876	175	4480	3853	880	11°
GB5	259	15	19	101	403	874	174	4430	3808	805	11°
GB6	264	15	19	101	402	872	174	4470	3851	810	11°
GB7	268	15	19	100	402	871	174	4480	3863	810	11°
GB8	270	16	22	100	401	869	173	4450	3835	805	11°
GB9	272	19	22	100	400	867	173	5880	5258	925	9° 30"

平面図（3-3）



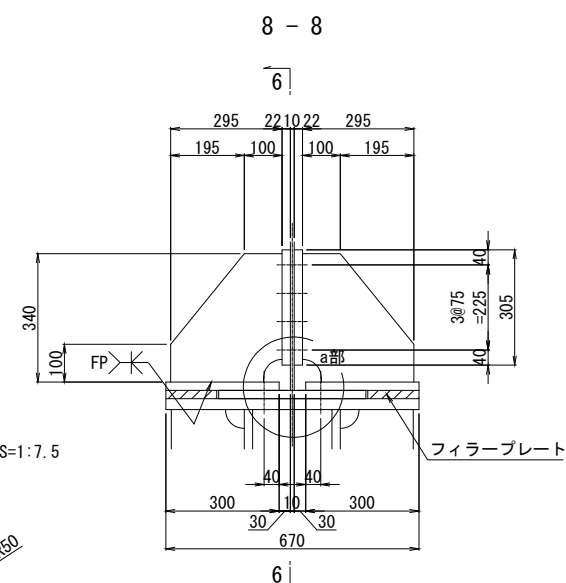
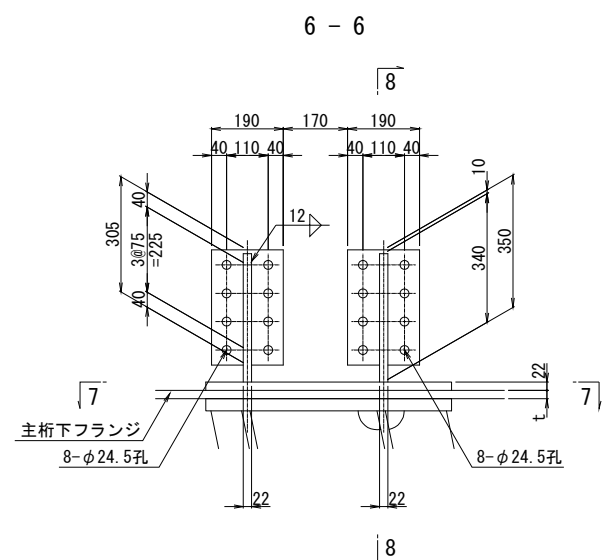
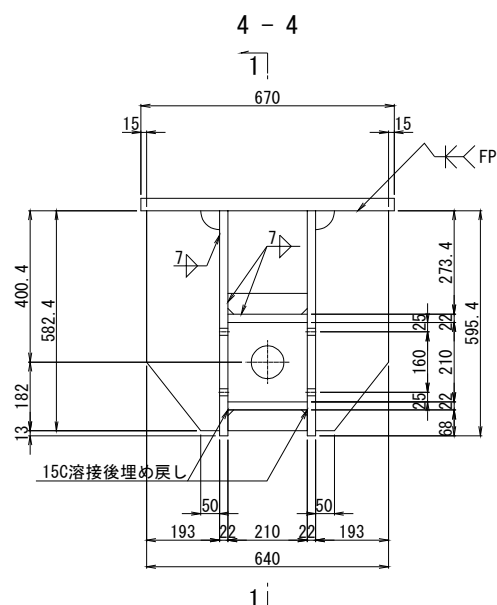
設計条件表

PCケーブル	単位	下り線A1	備考
死荷重反力	kN	8238	Rd
設計地震力	kN	8284	下部工耐力
設置本数	本	9	
1本当り水平力	kN	938	
設計遊間量	mm	50	

※1本当り水平力には、角度による補正を考慮している。

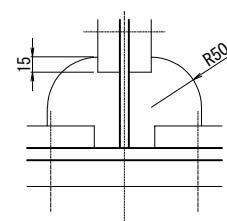
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） A 1 橋台 落橋防止構造配置図		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本橋造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

桁補強詳細図

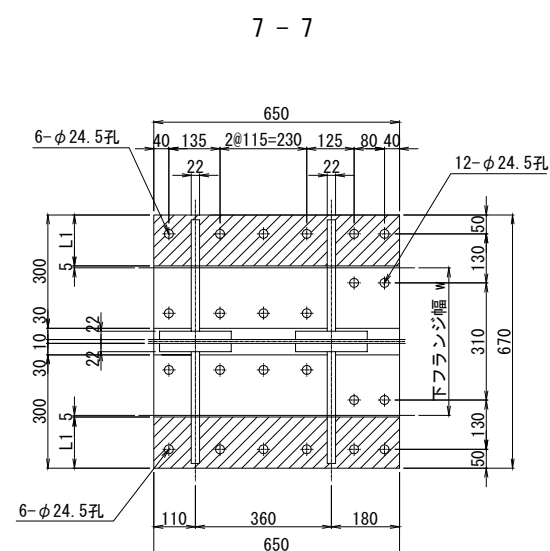
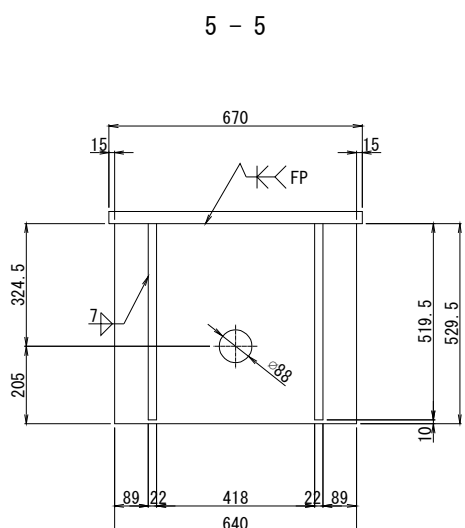
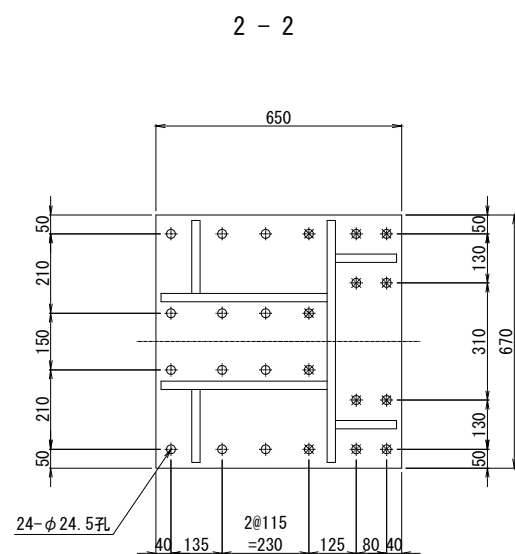
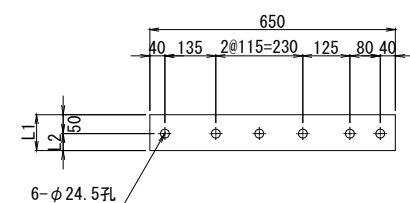


a部詳細

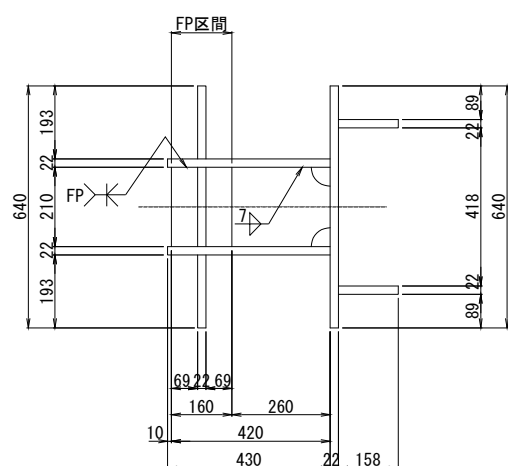
S=1:7.5



フィラープレート詳細図



3 - 3



ブラケット1基当り(製作数:4基)

2-PL 158x22x520
2-PL 430x22x612
2-PL 193x22x583
1-PL 210x22x420
1-PL 160x22x210
2-PL 55x22x210
1-PL 534x22x640
1-PL 650x32x670 (SM490B)
12-TCB M22x b1 (S10T) [+1W]
12-TCB M22x b2 (S10T)

2-PL 300x22x650 (SM400A)
4-PL 340x22x295 (SM400A)
4-PL 190x22x305 (SM400A)
16-TCB M22x90 (S10T)
2-Fill PL L1x tx650 (SS400)

寸法表

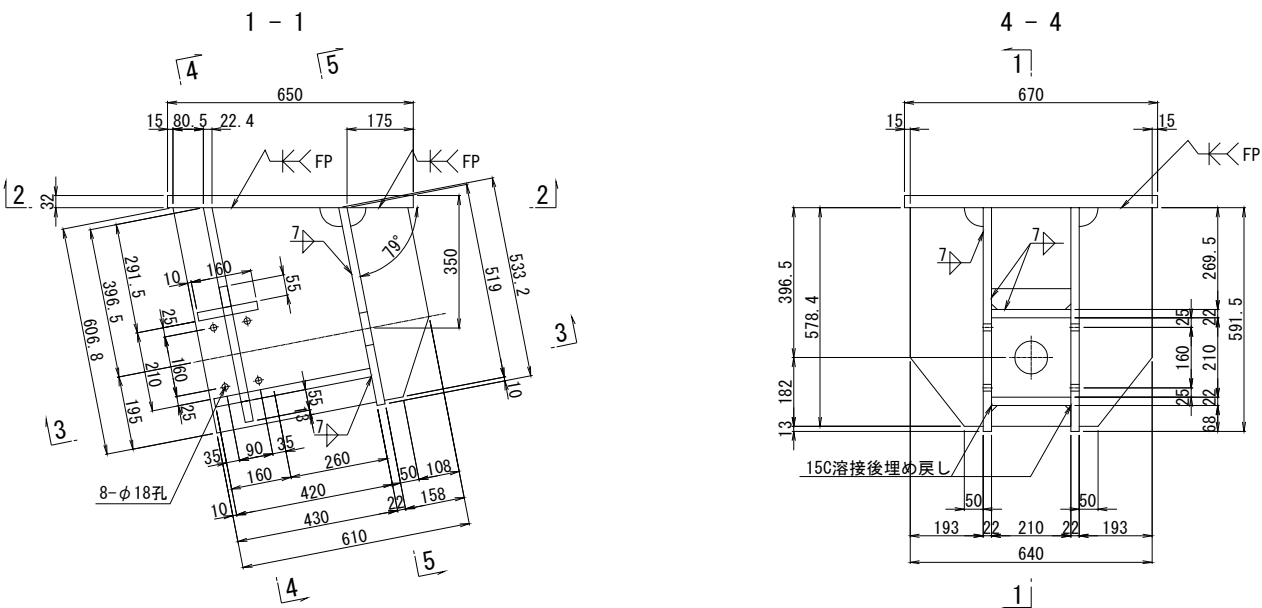
	t	w	b1	b2	L1	L2
GB1	22	470	120	115	95	45
GB2	22	390	120	115	135	85
GB3	19	410	115	110	125	75
GB4	19	410	115	110	125	75

注記)

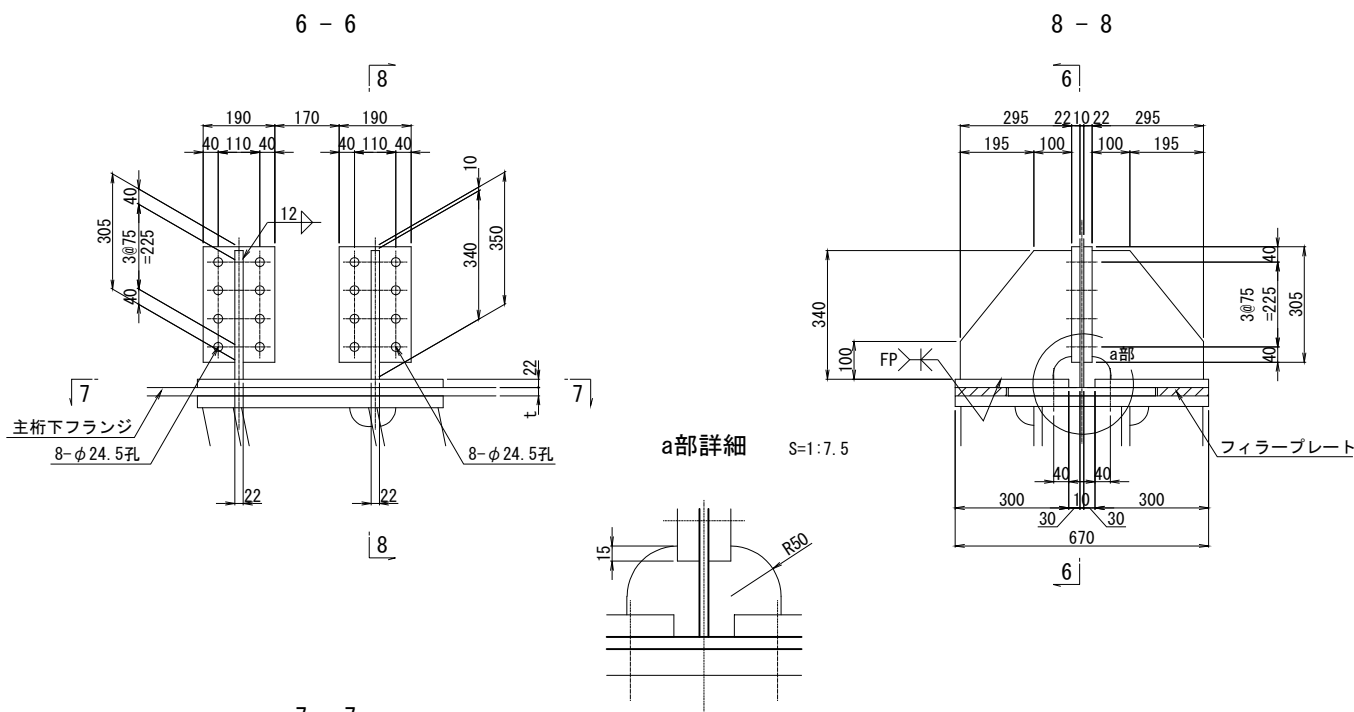
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部エブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 垂の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
6. 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

上 信 越 自 動 車 道 豊 田 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
雨宮橋（下り線）			
図面の種類		A 1 橋台 落橋防止構造 P 1 - C 1 詳細図（その 1）	
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

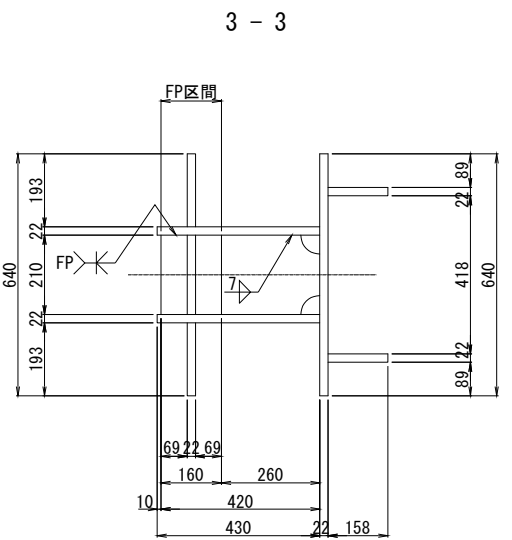
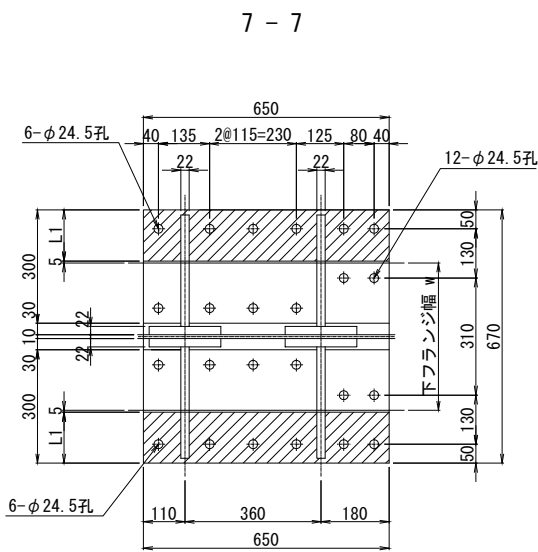
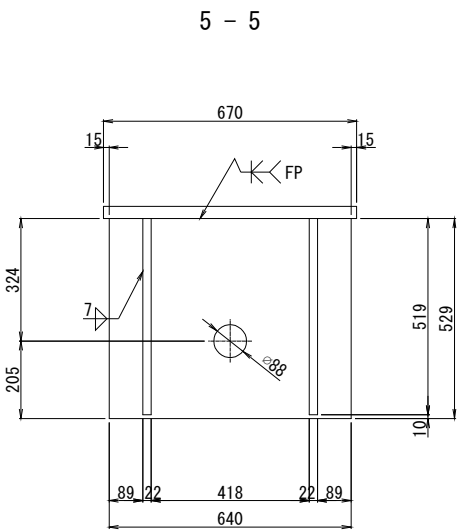
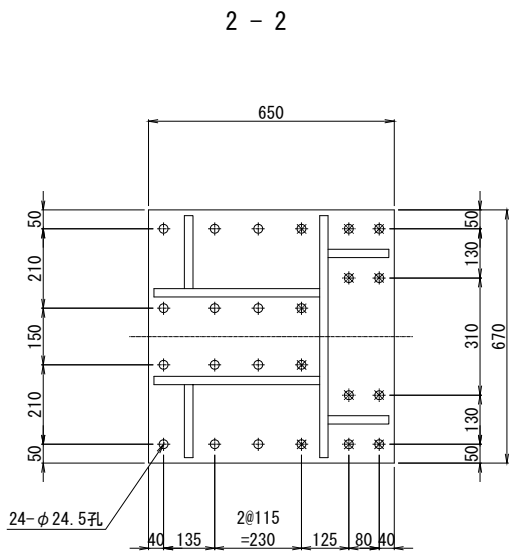
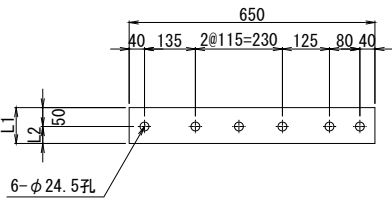
ブラケット詳細図



桁補強詳細図



フィラープレート詳細図



ブラケット1基当り（製作数：4基）

- 2-PL 158x22x519
- 2-PL 430x22x607
- 2-PL 193x22x579
- 1-PL 210x22x420
- 1-PL 160x22x210
- 2-PL 55x22x210
- 1-PL 534x22x640
- 1-PL 650x32x670 (SM490B)
- 12-TCB M22x b1 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x b2 (S10T)

ブラケット1基当り（製作数：4基）

- 2-PL 300x22x650 (SM400A)
- 4-PL 340x22x295 (SM400A)
- 4-PL 190x22x305 (SM400A)
- 16-TCB M22x90 (S10T)
- 2-Fill PL L1x tx650 (SS400)

寸法表

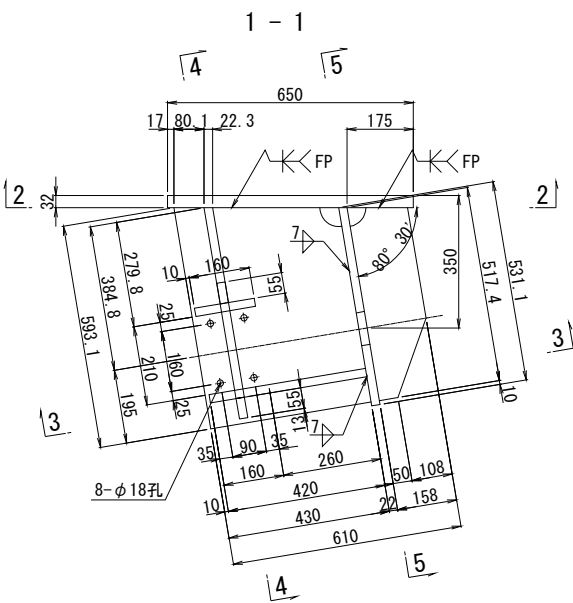
	t	w	b1	b2	L1	L2
GB5	19	410	115	110	125	75
GB6	19	410	115	110	125	75
GB7	19	410	115	110	125	75
GB8	22	390	120	115	135	85

注記）

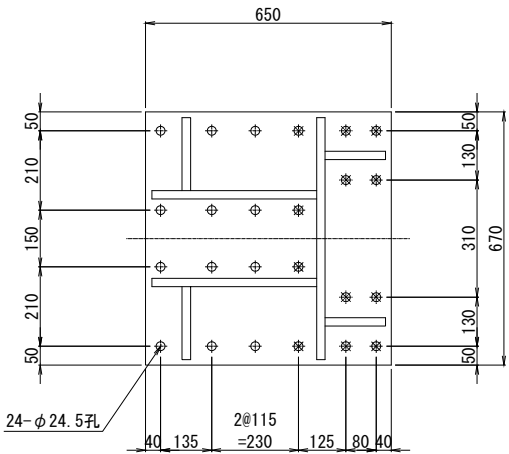
- 特記なき材質は全てSM490Aとする。
- 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- 上部エブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
- 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） A 1 橋台 落橋防止構造 P 1－C 1 詳細図（その 2）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

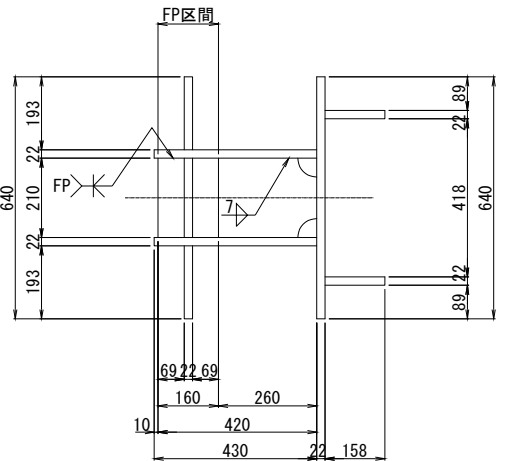
ブラケット詳細図



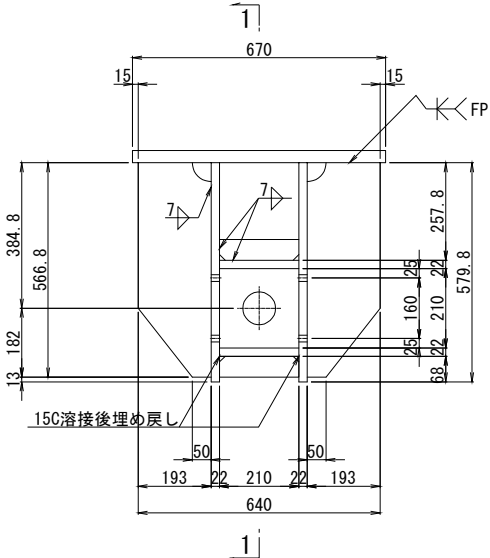
2 - 2



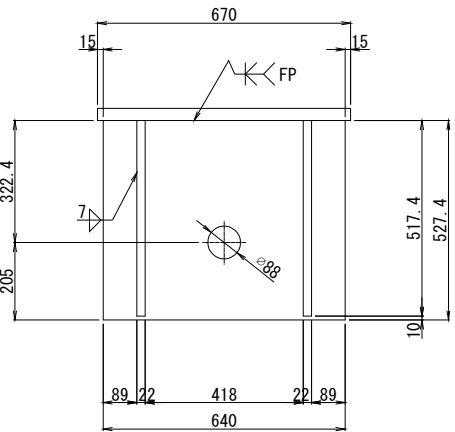
3 - 3



4 - 4



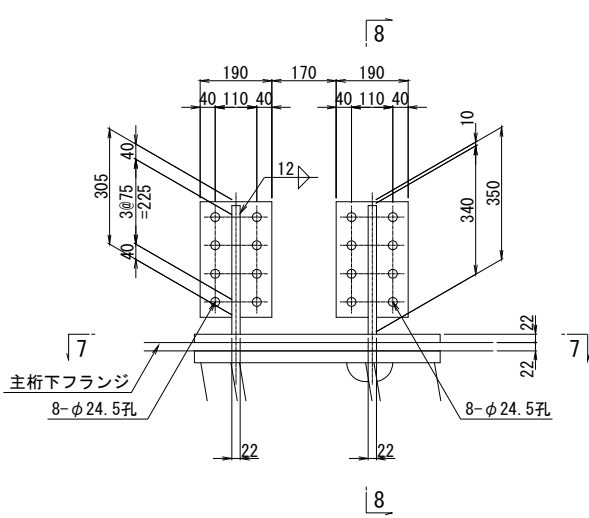
5 - 5



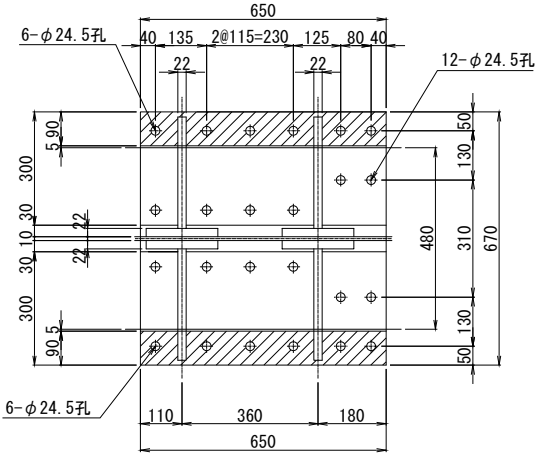
ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 158x22x518
- 2-PL 430x22x594
- 2-PL 193x22x567
- 1-PL 210x22x420
- 1-PL 160x22x210
- 2-PL 55x22x210
- 1-PL 532x22x640
- 1-PL 650x32x670 (SM490B)
- 12-TCB M22x120 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x115 (S10T)

6 - 6



7 - 7

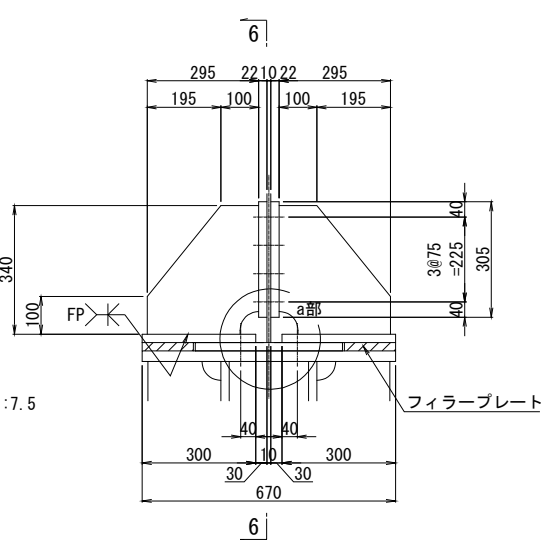


ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 300x22x650 (SM400A)
- 4-PL 340x22x295 (SM400A)
- 4-PL 190x22x305 (SM400A)
- 16-TCB M22x90 (S10T)
- 2-Fill PL 90x22x650 (SS400)

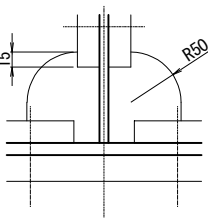
桁補強詳細図

8 - 8

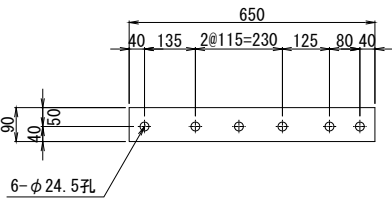


a部詳細

S=1:7.5



フィラープレート詳細図

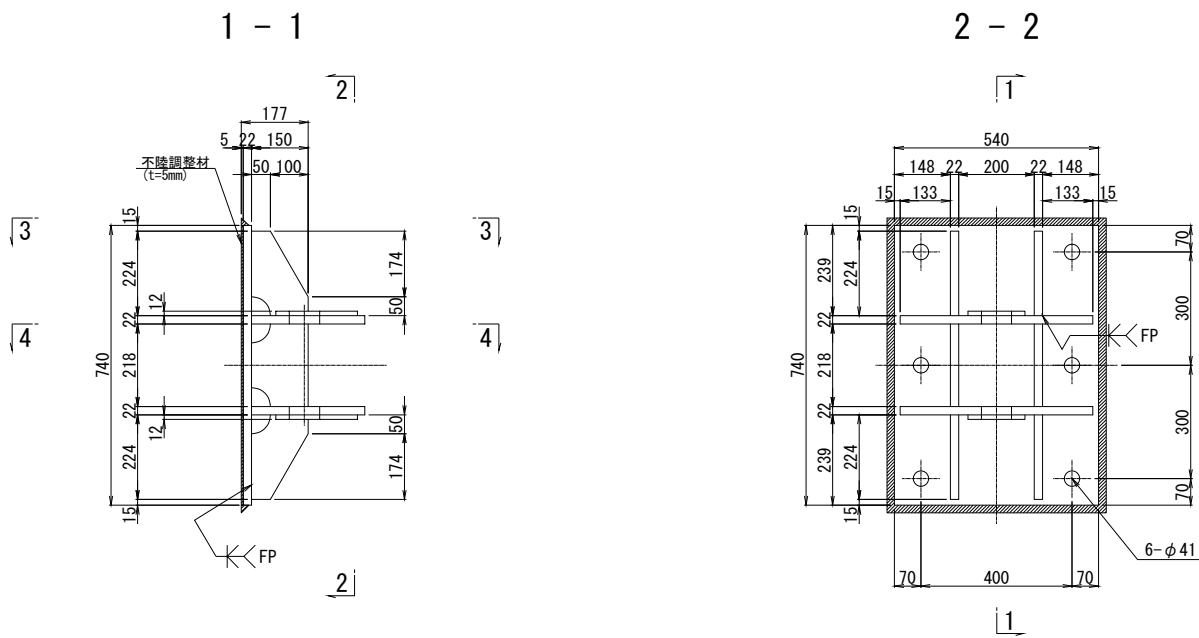


注記)

- 特記なき材質は全てSM490Aとする。
- 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- 上部エブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
- 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） A 1 橋台 落橋防止構造 P 1－C 1 詳細図（その 3）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

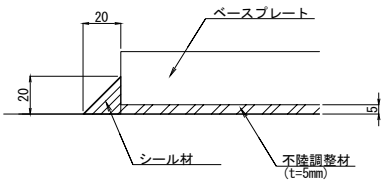
下部エブラケット詳細図



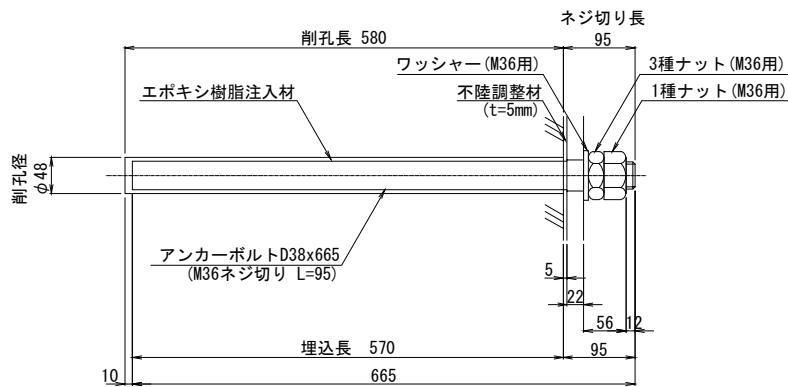
ブラケット1基当り（製作数：9基）

- 2-PL 215x12x271
- 2-PL 300x22x510
- 4-PL 150x22x224
- 2-PL 150x22x218
- 1-PL 740x22x540
- 6-Anc Bolt D38x665 (SD345)
- 6-1種 Nut M36用 (SS400)
- 6-3種 Nut M36用 (SS400)
- 6-Washer M36用 (SS400)

シール材詳細図 S=1:4



アンカーボルト詳細図 S=1:10

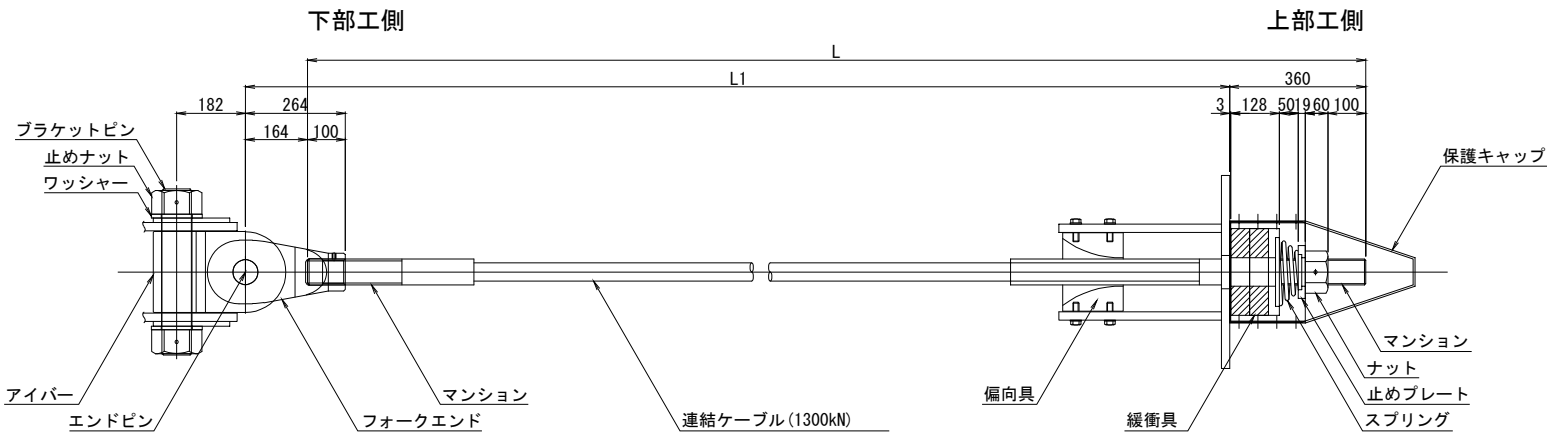


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 3. 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上りとする。
膜厚は、JIS H 0401 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 4. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。
 5. 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
 6. 鋼製部材の周囲には、シール材 (t=20mm) によりシーリングを行うこと。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線）		
	A 1 橋台 落橋防止構造 P 1－C 1 詳細図（その 4）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

取付詳細図



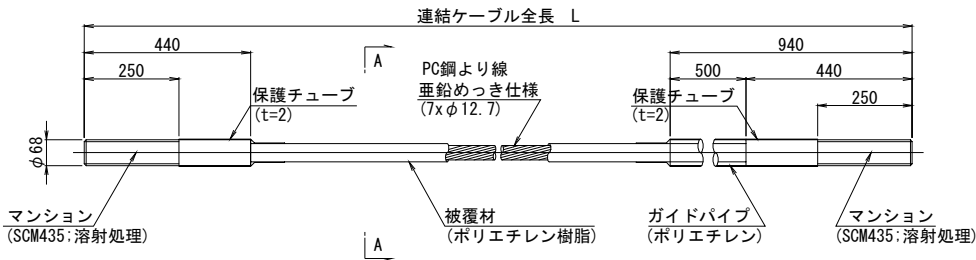
寸法表

	L	L1
GB1	3675	3479
GB2	3687	3491
GB3	4026	3830
GB4	4049	3853
GB5	4004	3808
GB6	4047	3851
GB7	4059	3863
GB8	4031	3835
GB9	5454	5258

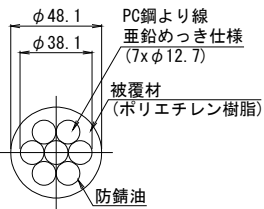
材 料 表（落橋防止構造1本当たり）

名 称	規 格	単位	数量	摘 要	全9本 重 量 (kg)
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	1300kN L=寸法表参照	本	1	PC鋼より線、亜鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆	(平均値) 45.5
	1300kN用 標準	個	2	SCM435、亜鉛アルミ溶射、ねじり標準 〈ケーブルに組込〉	
	1300kN用 500mm	本	1	ポリエチレン 〈ケーブルに組込〉	
ナット	1300kN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	2.0
止めプレート	1300kN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)	1.4
スプリング	1300kN用 L=200	個	1	SW-C、亜鉛めっき、クロメート処理	1.5
緩衝具	1300kN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム	9.1
偏向具	1300kN用	個	1	ポリエチレン	6.9
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT49) 接着剤付	1.0
保護キャップ	1300kN用	組	1	ポリエチレン、8-止めビス付	1.5
ブラケットピン	1300kN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート	16.0
止めナット	1300kN用	個	2	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	12.0
ワッシャー	1300kN用	個	2	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)	2.8
アイバー	1300kN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	26.0
フォークエンド	1300kN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	17.6
エンドピン (ピン)	1300kN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート	3.5
(止めプレート)	1300kN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)	
(1基当り)					145.8
(全基当り)					1312.2

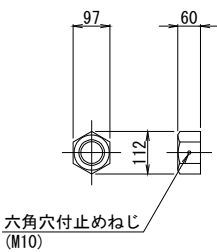
連結ケーブル



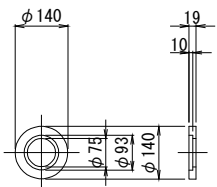
A-A断面図



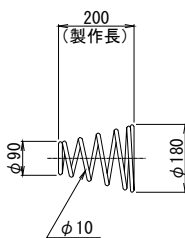
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



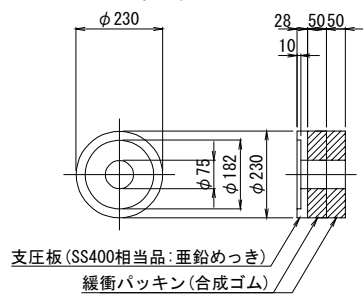
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



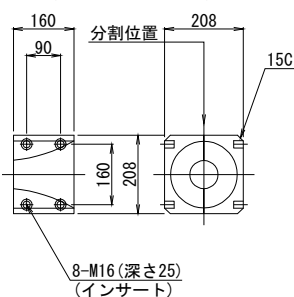
スプリング
(SW-C:亜鉛めっき, クロメート処理)



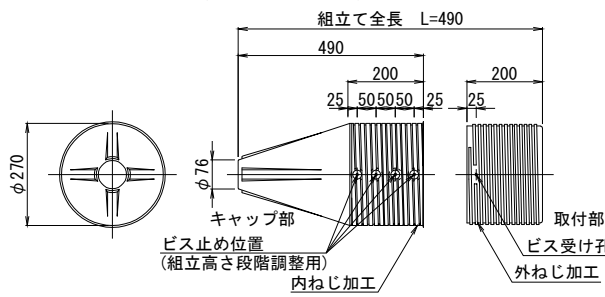
緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



偏 向 具
(ポリエチレン)



保護キャップ
(ポリエチレン)

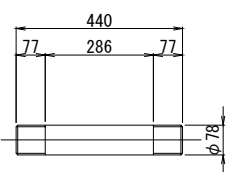


設計条件表

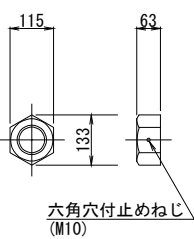
PCケーブル	単位	下り線A1	備考
死荷重反力	kN	8238	Rd
設計地震力	kN	8284	下部工耐力
設置本数	本	9	
1本当り水平力	kN	938	
設計遊間量	mm	50	

※1本当り水平力には、角度による補正を考慮している。

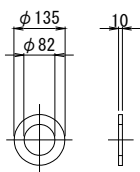
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



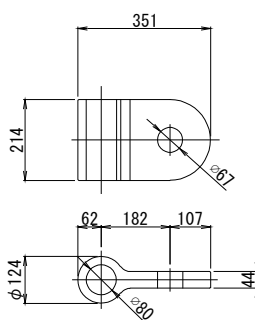
止めナット
(S45C:亜鉛めっき)



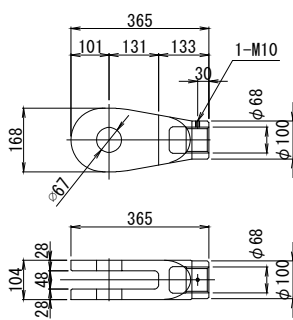
ワッシャー
(SS400相当品:亜鉛めっき)



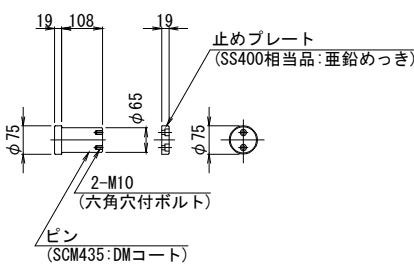
アイバー
(S45C:亜鉛めっき)



フォークエンド
(S45C:亜鉛めっき)



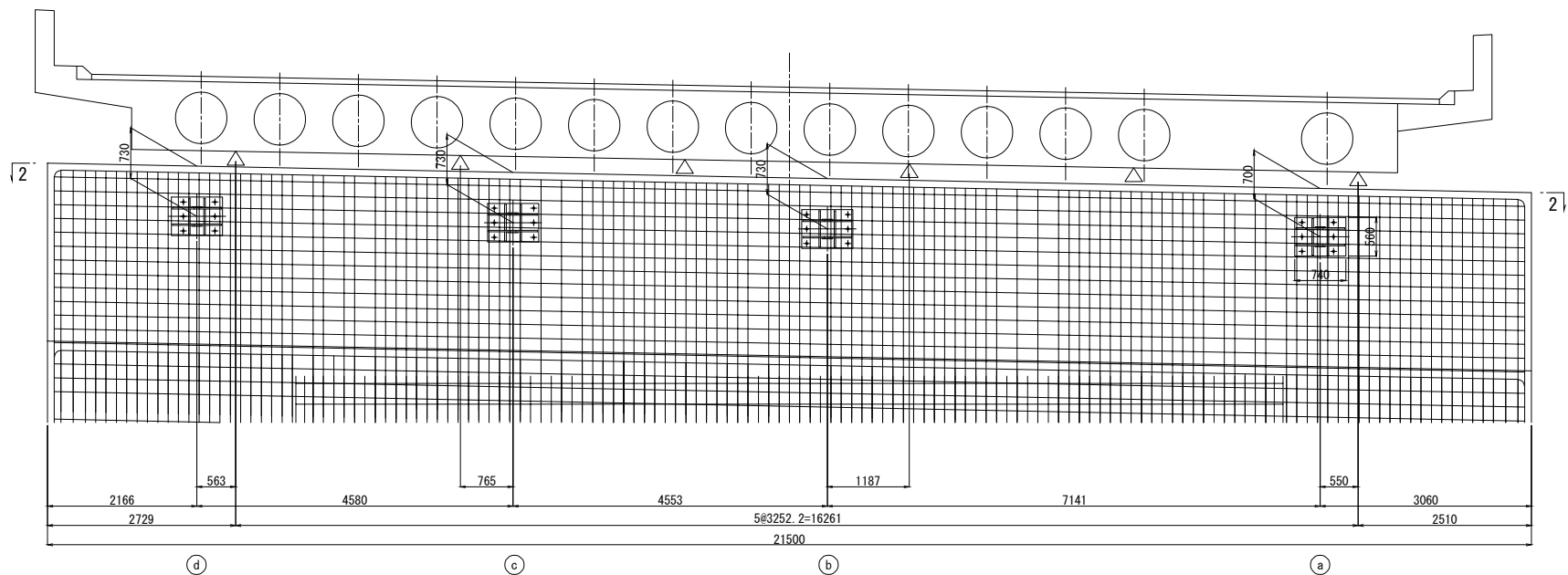
エンドピン
(ピン+止めプレート)



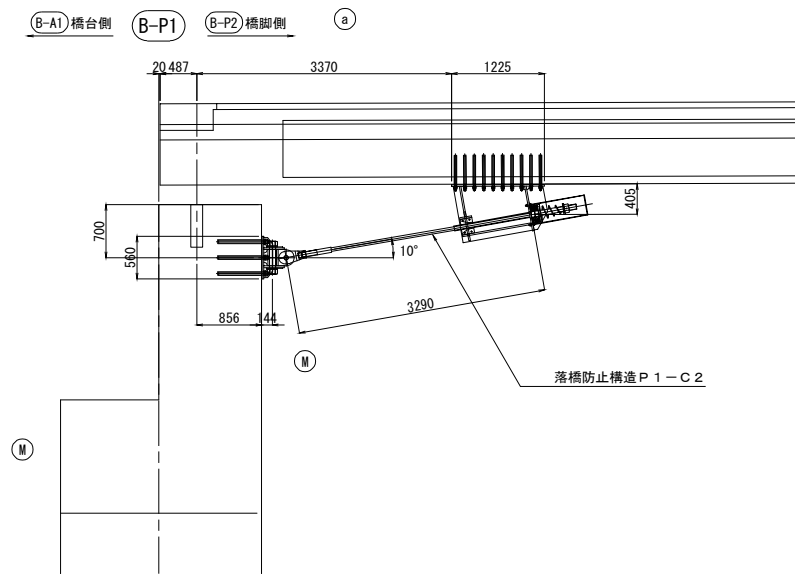
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） A 1 橋台 落橋防止構造 P 1－C 1 詳細図（その5）（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

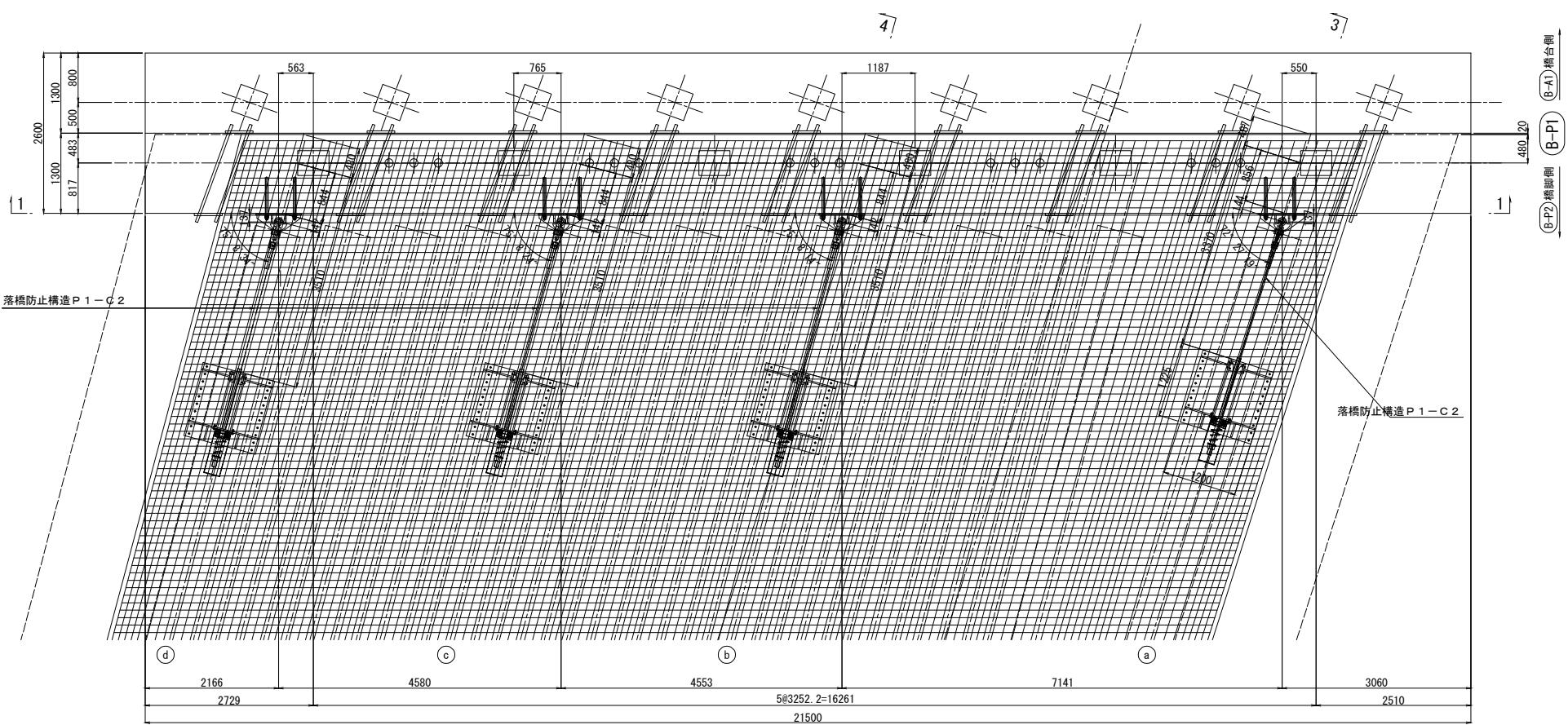
正面図（1-1）



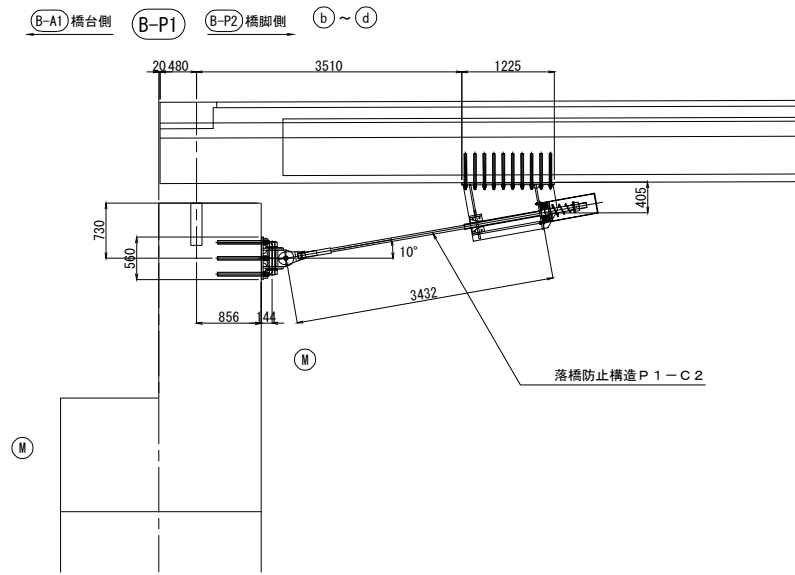
側面図（3-3）



平面図（2-2）



側面図（4-4）



設計条件表

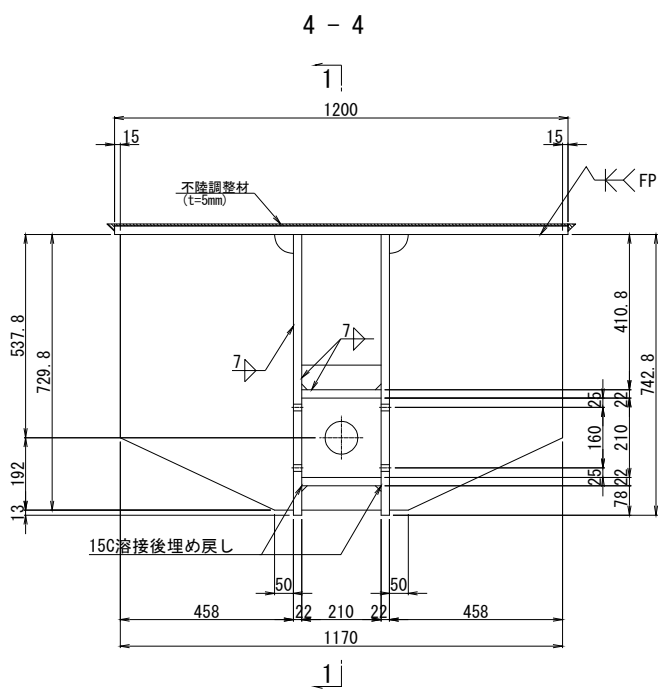
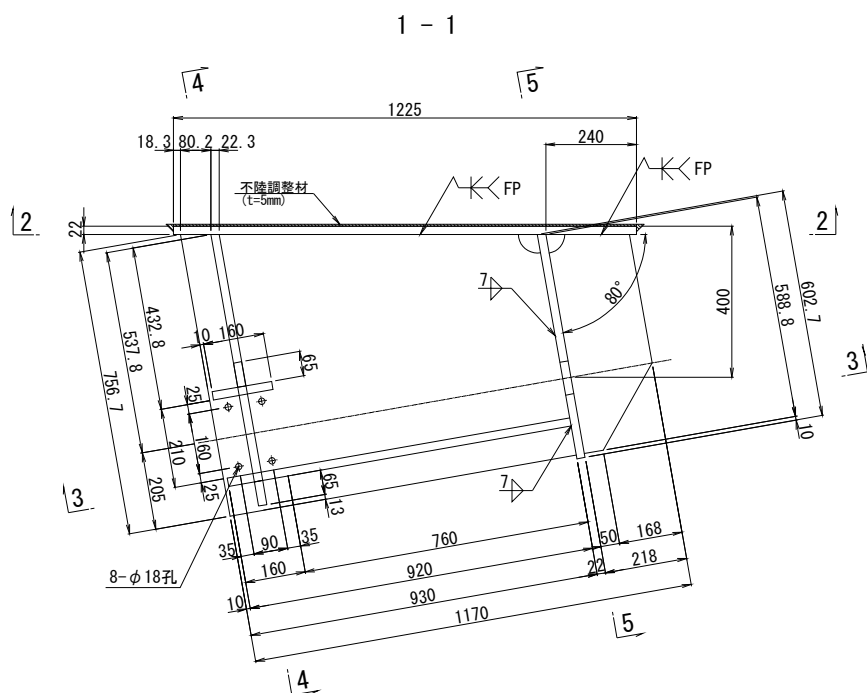
PCケーブル	単位	下り線P1終	備考
死荷重反力	kN	2418	Rd
設計地震力	kN	3627	1.5Rd
設置本数	本	4	
1本当り水平力	kN	921	
設計遊間量	mm	300	

※1本当り水平力には、角度による補正を考慮している。

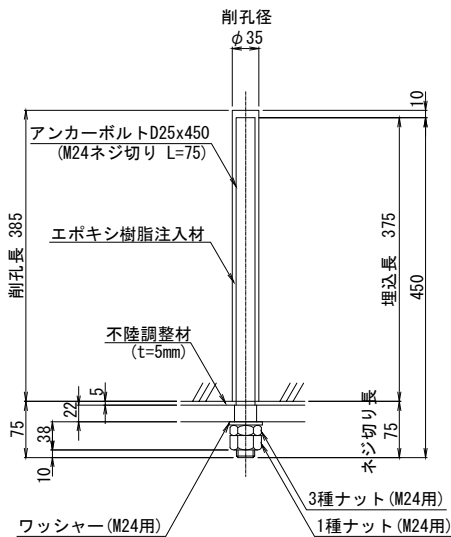
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） P 1 橋脚終点側 落橋防止構造配置図		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

上部工側 取付金物詳細図

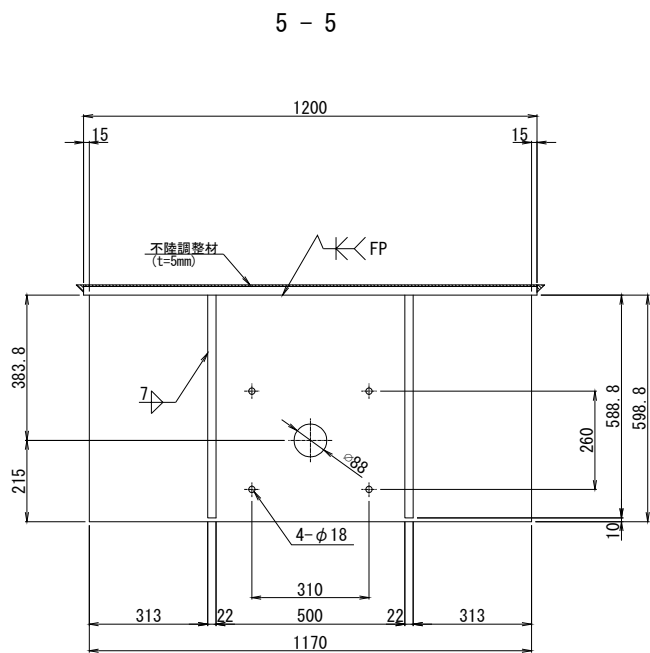
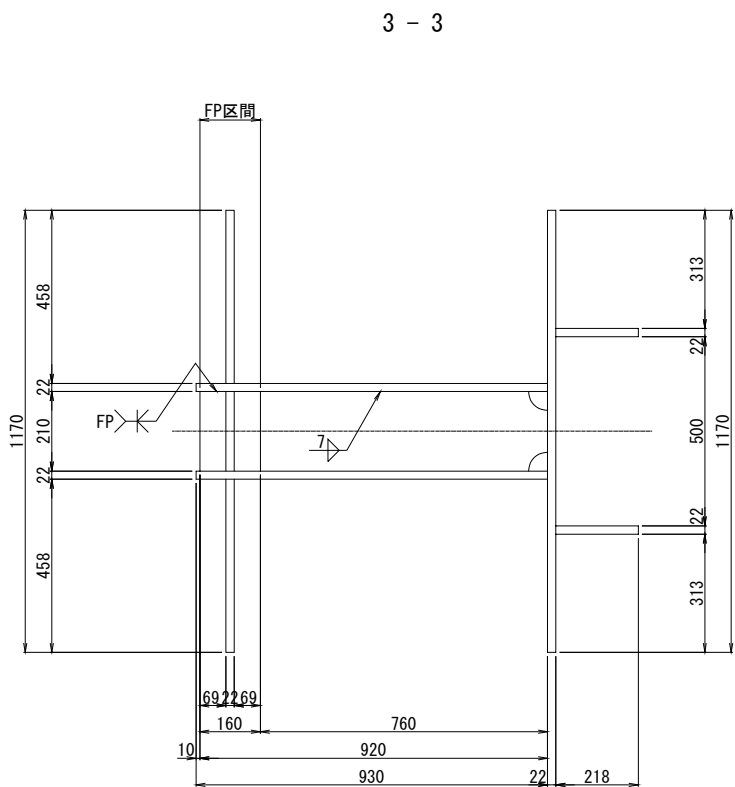
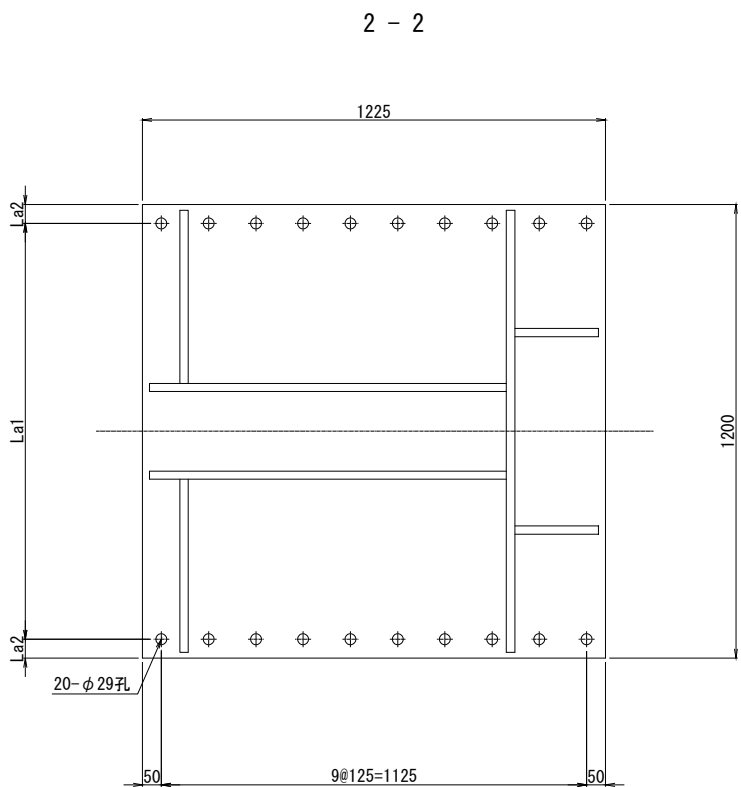
ブラケット詳細図



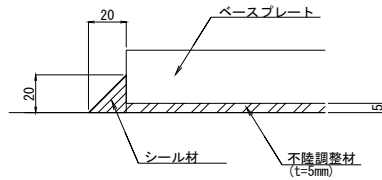
アンカーボルト詳細図 S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



シール材詳細図 S=1:4



ブラケット1基当り（製作数:4基）

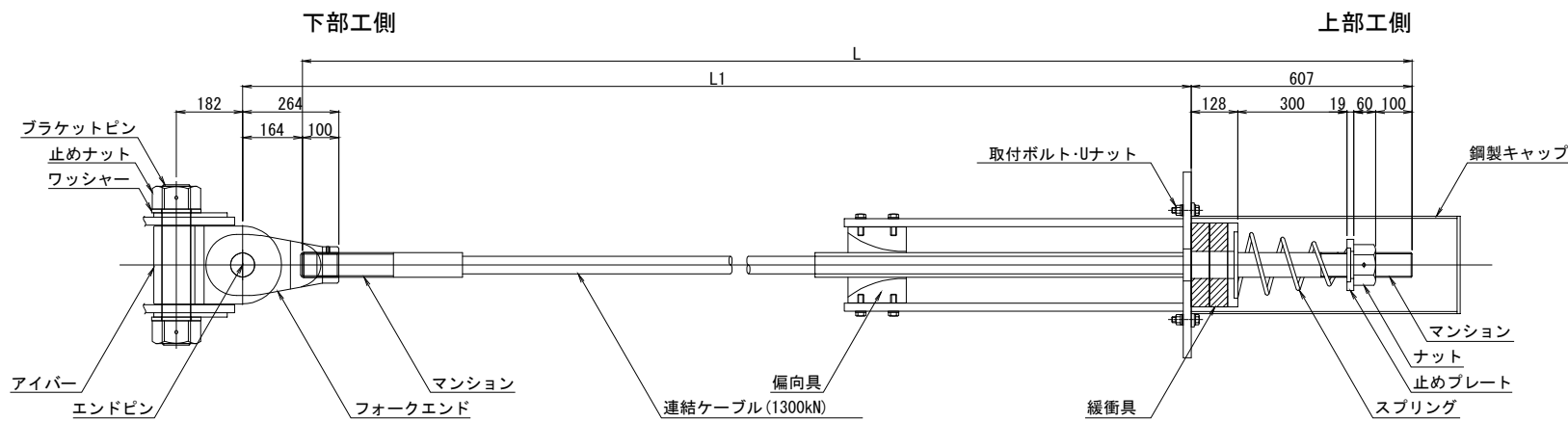
- 2-PL 218x22x589
- 2-PL 930x22x757
- 2-PL 458x22x730
- 2-PL 65x22x210
- 1-PL 210x22x920
- 1-PL 160x22x210
- 1-PL 603x22x1170
- 1-PL 1225x22x1200
- 20-Anc Bolt D25x450 (SD345)
- 20-1種 Nut M24用 (SS400)
- 20-3種 Nut M24用 (SS400)
- 20-Washer M24用 (SS400)

- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
膜厚は、JIS H 0401 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - 「FP」の表示のある箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

	La1	La2
a	1100	50
b	1000	100
c	1000	100
d	1050	75

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） P 1 橋脚終点側落橋防止構造 P 1－C 2 詳細図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

取付詳細図



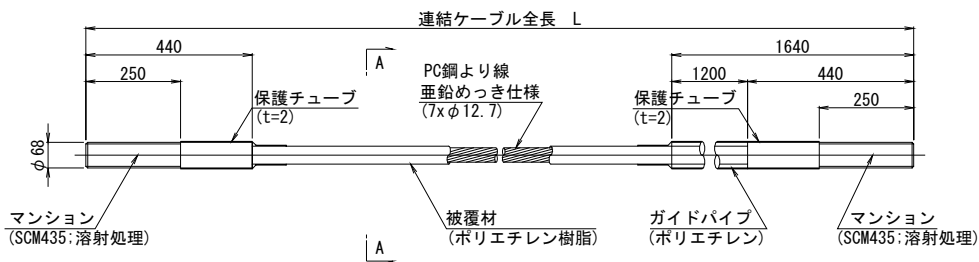
材 料 表（落橋防止構造 1本当たり）

名 称	規 格	単位	数量	摘 要	全4本 重 量 (kg)
連結ケーブル	1300kN L=寸法表参照	本	1	PC鋼より線、亜鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆	X
(マンション)	1300kN用 標準	個	2	SCM435、亜鉛アルミ溶射、ねじきり標準 <ケーブルに組込>	
(ガイドパイプ)	1300kN用 1200mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>	
ナット	1300kN用	個	1	S45C：亜鉛めっき (HDZT77)	2.0
止めプレート	1300kN用	個	1	SS400相当品：亜鉛めっき (HDZT77)	1.4
スプリング	1300kN用 L=450	個	1	SW-C：亜鉛めっき、クロメート処理	1.5
緩衝具	1300kN用	個	1	SS400相当品：亜鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム	11.7
偏向具	1300kN用	個	1	ポリエチレン	6.9
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	8	SS400相当品：亜鉛めっき (HDZT49) 接着剤付	0.8
鋼製キャップ	1300kN用 L=730	個	1	SS400、STK400：亜鉛めっき (HDZT77, t=6未満HDZT70)	39.4
取付ボルト・Uナット	M16x60 2W付	本	4	SS400相当品：亜鉛めっき (HDZT49)	0.4
ブラケットピン	1300kN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート	16.0
止めナット	1300kN用	個	2	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	6.0
ワッシャー	1300kN用	個	2	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)	1.4
アイバー	1300kN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	26.0
フォークエンド	1300kN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	17.6
エンドピン (ピン)	1300kN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート	3.5
(止めプレート)	1300kN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)	

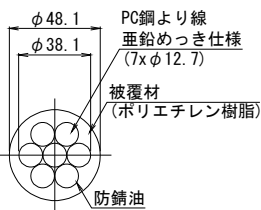
寸 法 表

	L	L1	重量 (kg)	
			連結ケーブル (1基当たり)	(全組当たり)
a	3733	3290	43.0	177.6
b				
d	3875	3432	43.9	178.5
c				

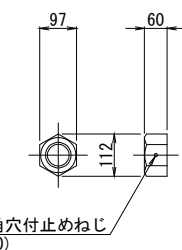
連結ケーブル



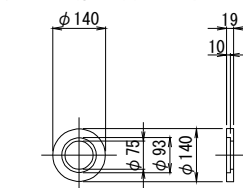
A-A断面図 S=1:4



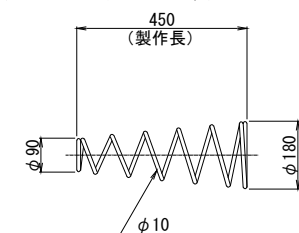
ナット (S45C：亜鉛めっき)



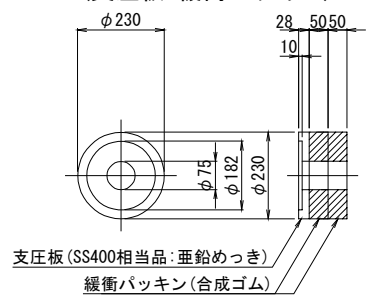
止めプレート (SS400相当品：亜鉛めっき)



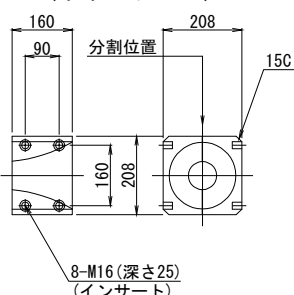
スプリング (SW-C：亜鉛めっき、クロメート処理)



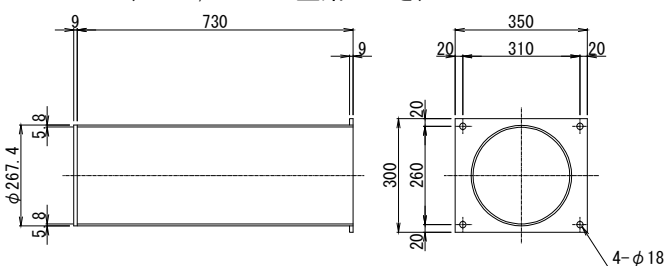
緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



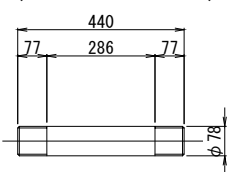
偏 向 具 (ポリエチレン)



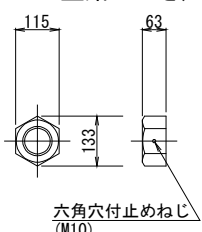
鋼製キャップ (SS400、STK400：亜鉛めっき)



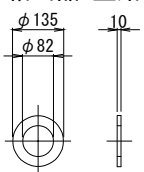
ブラケットピン (SCM435：DMコート)



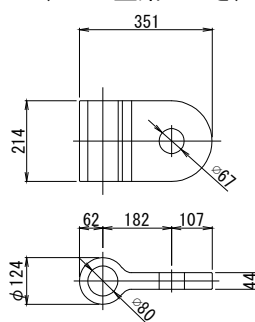
止めナット (S45C：亜鉛めっき)



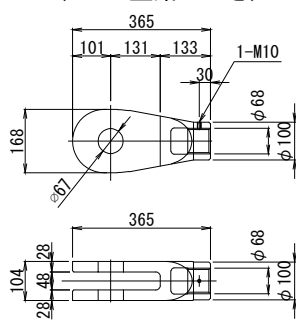
ワッシャー (SS400相当品：亜鉛めっき)



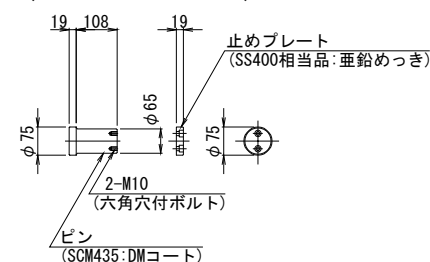
アイバー (S45C：亜鉛めっき)



フォークエンド (S45C：亜鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



設計条件表

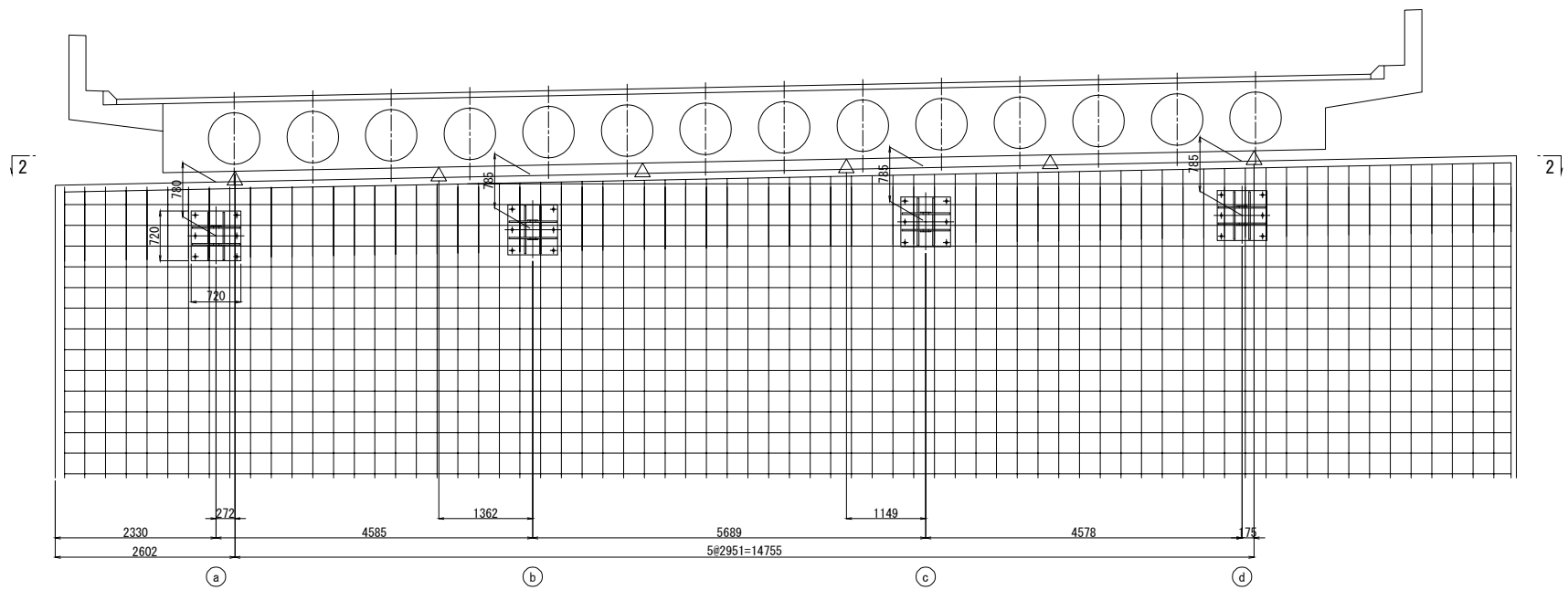
PCケーブル	単位	下り線P1終	備考
死荷重反力	kN	2418	Rd
設計地震力	kN	3627	1.5Rd
設置本数	本	4	
1本当り水平力	kN	921	
設計遊間量	mm	300	

※1本当り水平力には、角度による補正を考慮している。

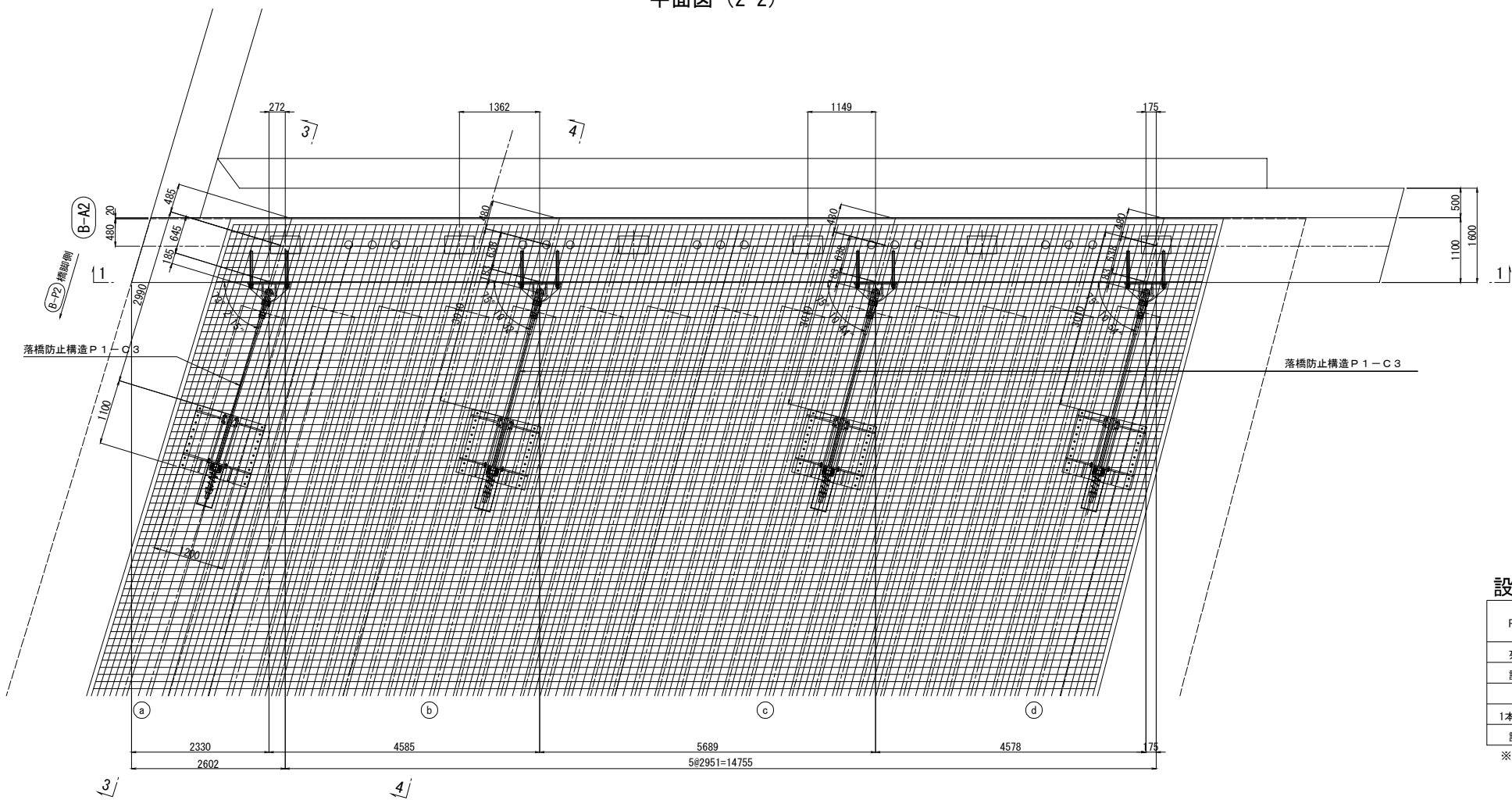
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

上 信 越 自 動 車 道	
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事	
図面の種類	雨宮橋（下り線） P 1 橋脚終点側落橋防止構造 P 1－C 2 詳細図（その3）（参考図）
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所

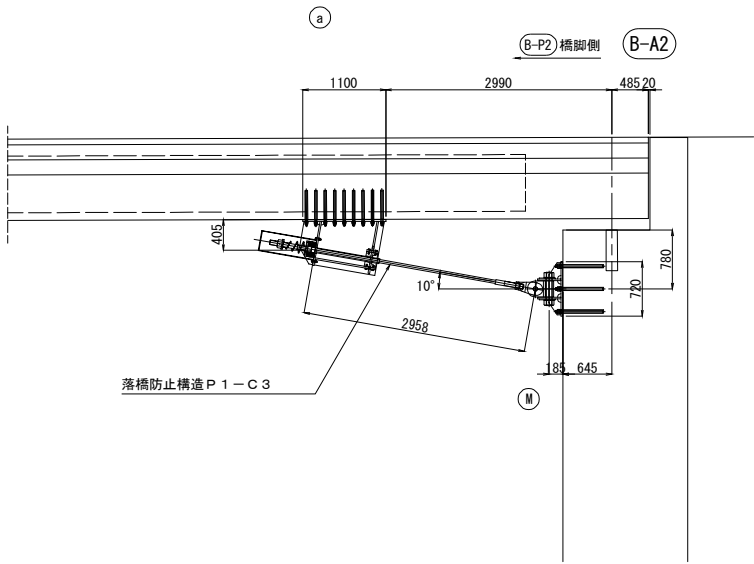
正面図（1-1）



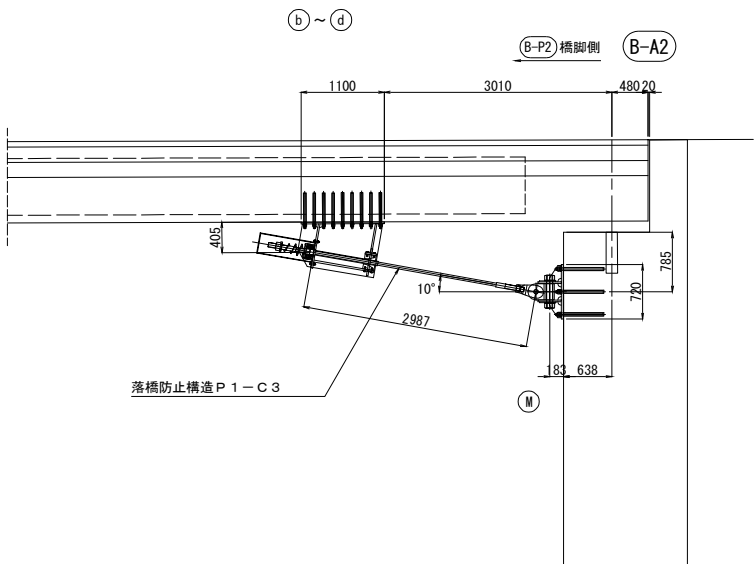
平面図（2-2）



側面図（3-3）



側面図（4-4）



設計条件表

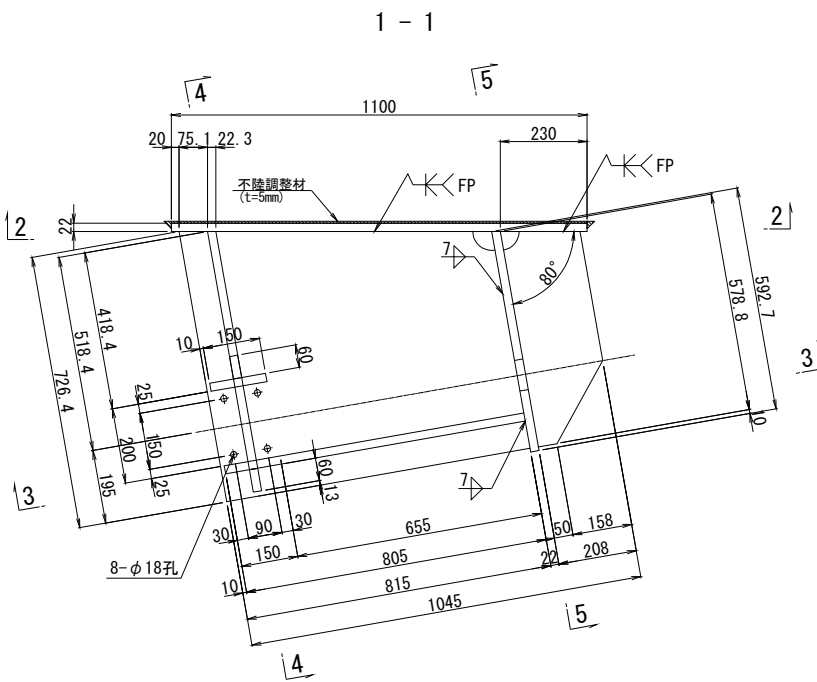
PCケーブル	単位	下り線A2	備考
死荷重反力	kN	2158	Rd
設計地震力	kN	3236	1.5Rd
設置本数	本	4	
1本当り水平力	kN	822	
設計遊間量	mm	300	

※1本当り水平力には、角度による補正を考慮している。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） A 2 橋台落橋防止構造配置図		
縮尺	1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

上部工側 取付金物詳細図

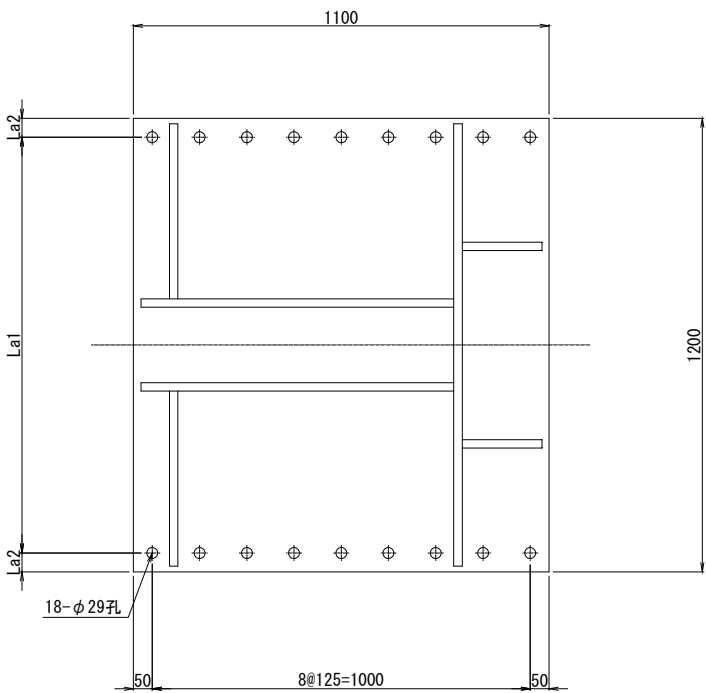
ブラケット詳細図



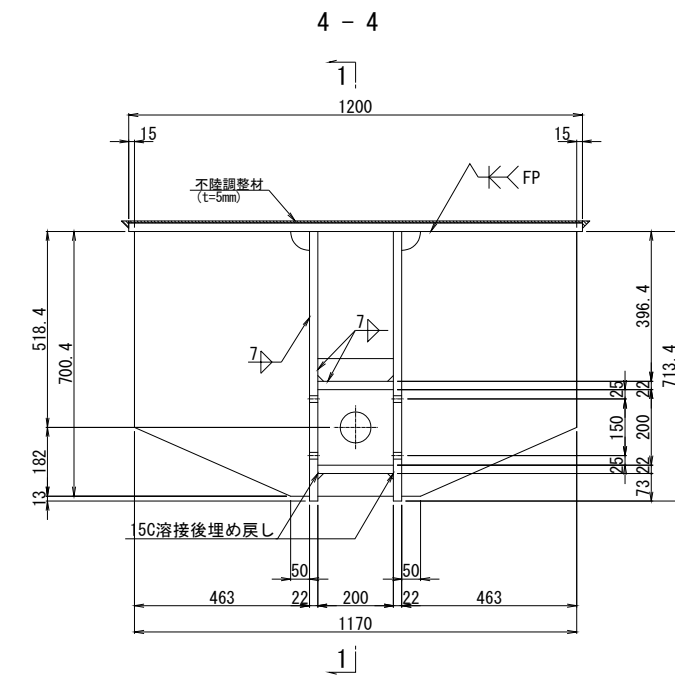
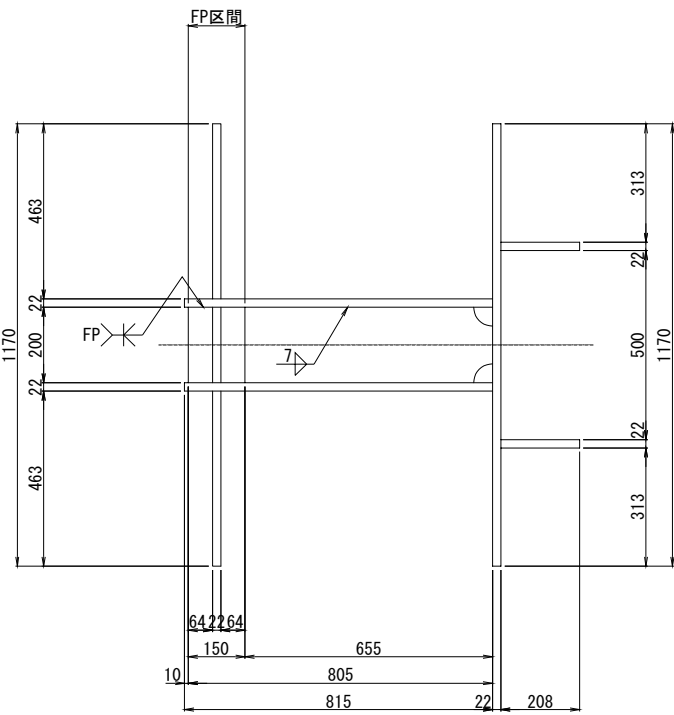
2 - 2

3 - 3

5 - 5

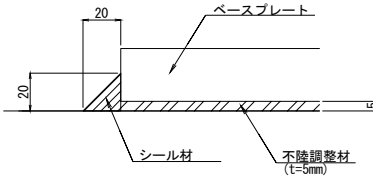


	La1	La2
a	1100	50
b	1000	100
c	1000	100
d	1050	75



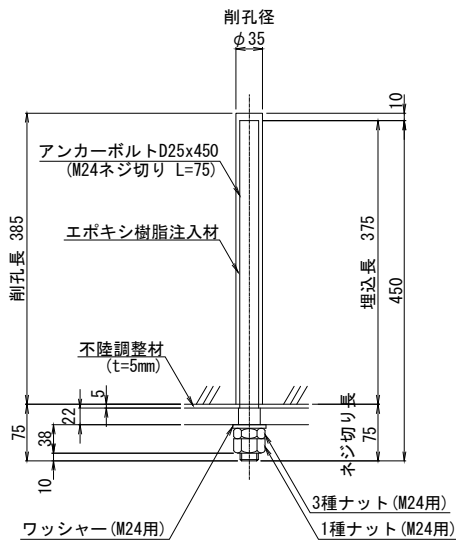
シール材詳細図

S=1:4



アンカーボルト詳細図

S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り（製作数:4基）

- 2-PL 208x22x579
- 2-PL 815x22x727
- 2-PL 463x22x701
- 2-PL 60x22x200
- 1-PL 200x22x805
- 1-PL 150x22x200
- 1-PL 593x22x1170
- 1-PL 1100x22x1200
- 18-Anc Bolt D25x450 (SD345)
- 18-1種 Nut M24用 (SS400)
- 18-3種 Nut M24用 (SS400)
- 18-Washer M24用 (SS400)

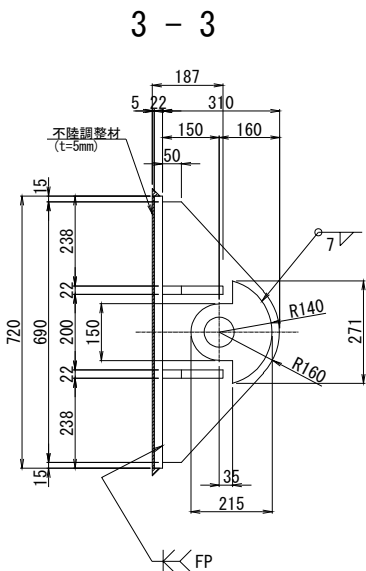
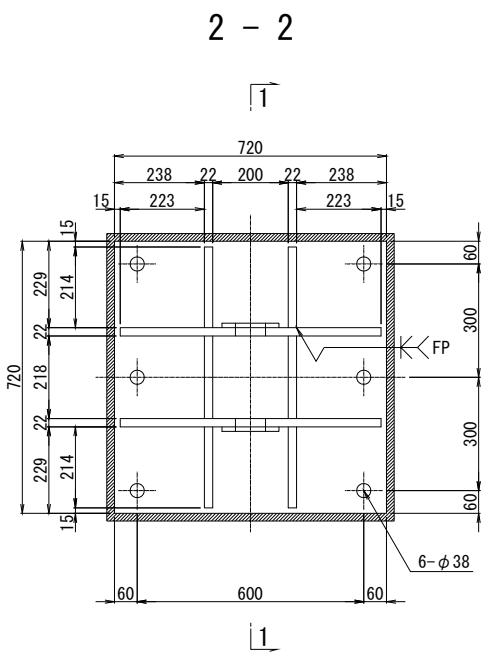
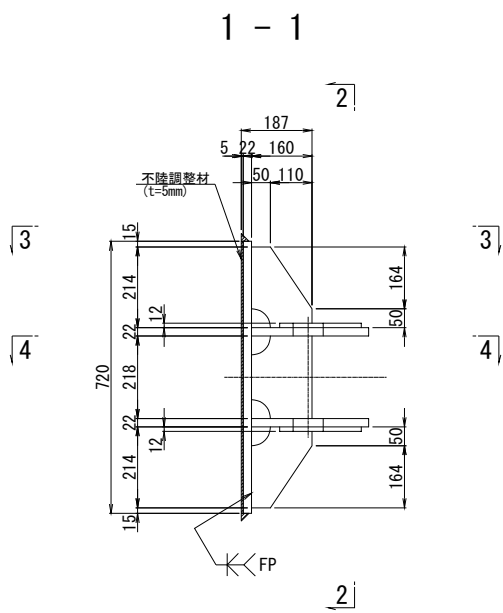
注記)

- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- ブラケットは、全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。
膜厚は、JIS H 0401 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
- 「FP」の表示のある箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） A 2 橋台落橋防止構造 P 1－C 3 詳細図（その 1）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

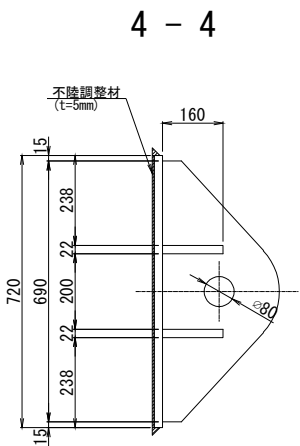
下部工側 取付金物詳細図

下部エブラケット詳細図

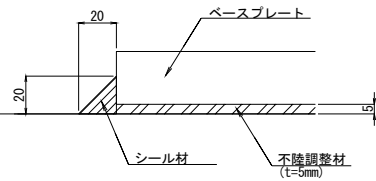


ブラケット1基当り (製作数:4基)

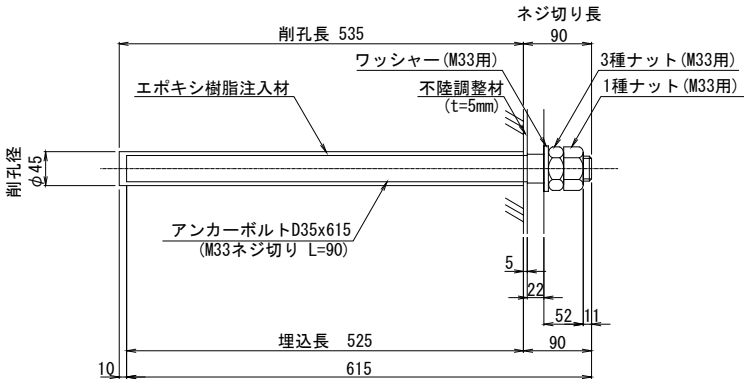
- 2-PL 215x12x271
- 2-PL 310x22x690
- 4-PL 160x22x214
- 2-PL 160x22x218
- 1-PL 720x22x720
- 6-Anc Bolt D35x615 (SD345)
- 6-1種 Nut M33用 (SS400)
- 6-3種 Nut M33用 (SS400)
- 6-Washer M33用 (SS400)



シーล材詳細図 S=1:4



アンカーボルト詳細図 S=1:10



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

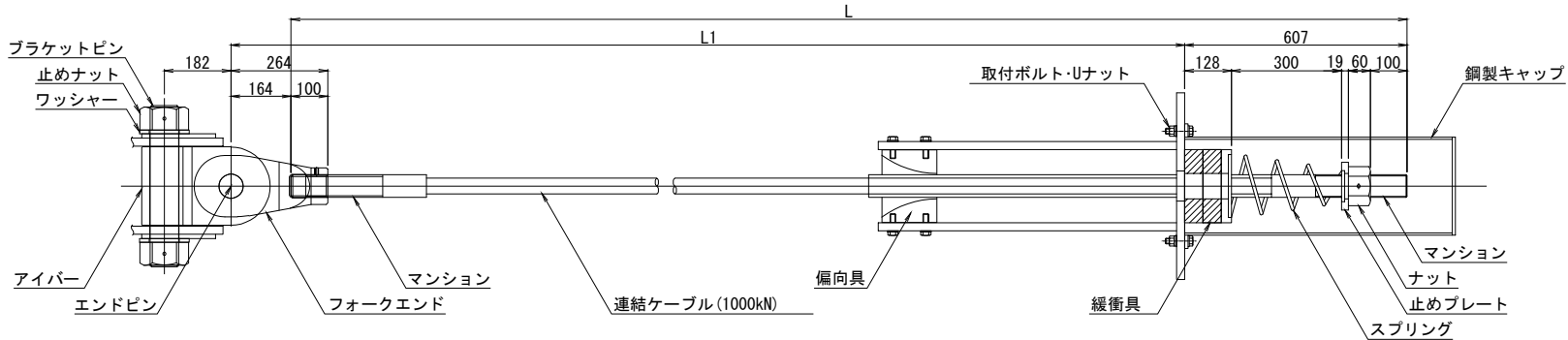
注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。膜厚は、JIS H 0401 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
4. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。
5. 「FP」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線）		
	A 2 橋台落橋防止構造 P 1－C 3 詳細図（その 2）		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

下部工側

上部工側



材 料 表 (落橋防止構造1本当たり)

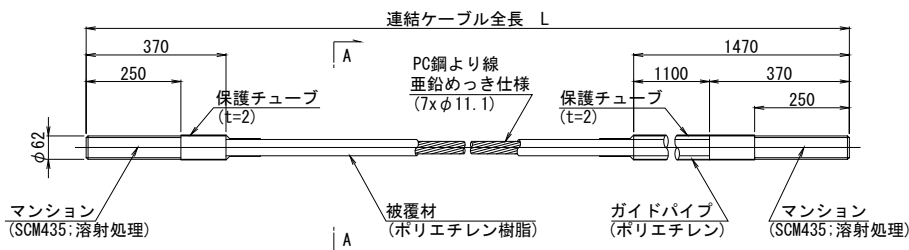
全4本

名 称	規 格	単位	数量	摘 要	重量 (kg)
連結ケーブル	1000kN L=寸法表参照	本	1	PC鋼より線、亜鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆	X
(マンション)	1000kN用 標準	個	2	SCM435、亜鉛アルミ溶射、ねじきり標準 <ケーブルに組込>	
(ガイドパイプ)	1000kN用 1100mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>	
ナット	1000kN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	1.9
止めプレート	1000kN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)	1.2
スプリング	1000kN用 L=450	個	1	SW-C、亜鉛めっき、クロメート処理	1.1
緩衝具	1000kN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム	8.6
偏向具	1000kN用	個	1	ポリエチレン	6.1
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT49) 接着剤付	0.8
鋼製キャップ	1000kN用 L=730	個	1	SS400、STK400、亜鉛めっき (HDZT77, t=6未満HDZT70)	39.4
取付ボルト・Uナット	M16x60 2W付	本	4	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT49)	0.4
ブラケットピン	1000kN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート	16.0
止めナット	1000kN用	個	2	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	6.0
ワッシャー	1000kN用	個	2	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)	1.4
アイバー	1000kN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	26.0
フォークエンド	1000kN用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZT77)	18.1
エンドピン (ピン)	1000kN用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート	3.5
(止めプレート)	1000kN用	個	1	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZT77)	

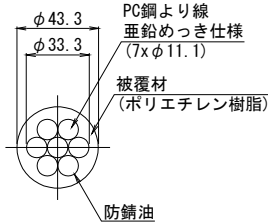
寸法表

寸 法 表			重量 (kg)		
	L	L1	連結ケーブル	(1基当たり)	(全基当たり)
a	3401	2958	30.3	160.8	643.8
b	3430	2987	30.5	161.0	
c					
d					

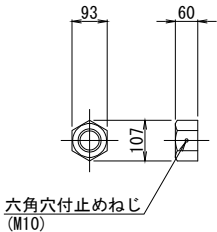
連結ケーブル



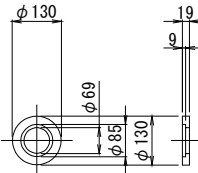
A-A断面図 S=1:4



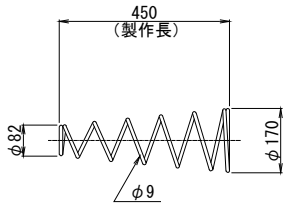
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



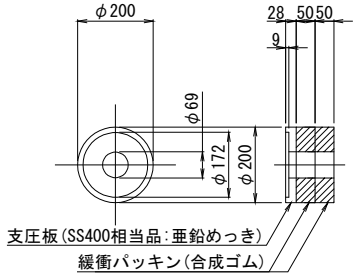
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



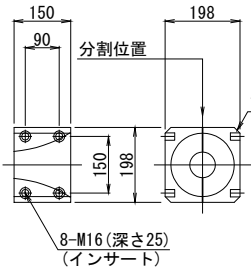
スプリング
(SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理)



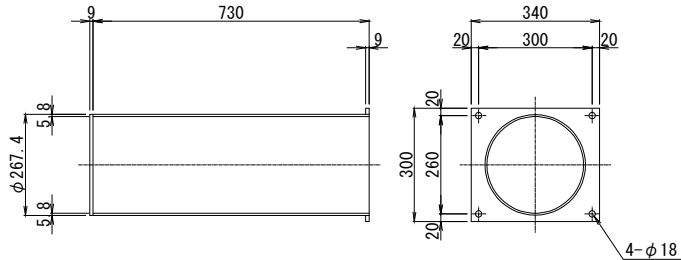
緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



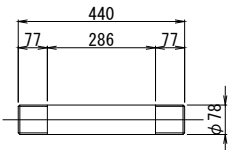
偏向具
(ポリエチレン)



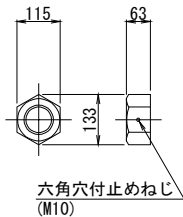
鋼製キャップ
(SS400, STK400:亜鉛めっき)



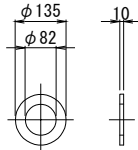
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



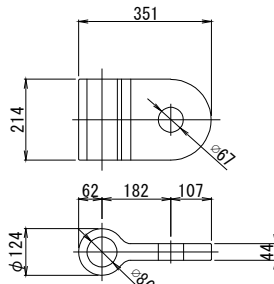
止めナット
(S45C:亜鉛めっき)



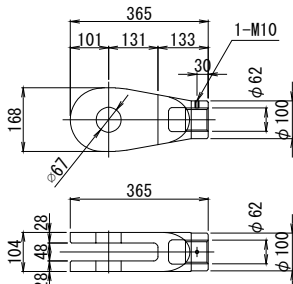
ワッシャー
(SS400相当品:亜鉛めっき)



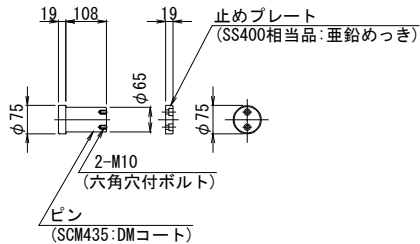
アイバー
(S45C:亜鉛めっき)



フォークエンド
(S45C:亜鉛めっき)



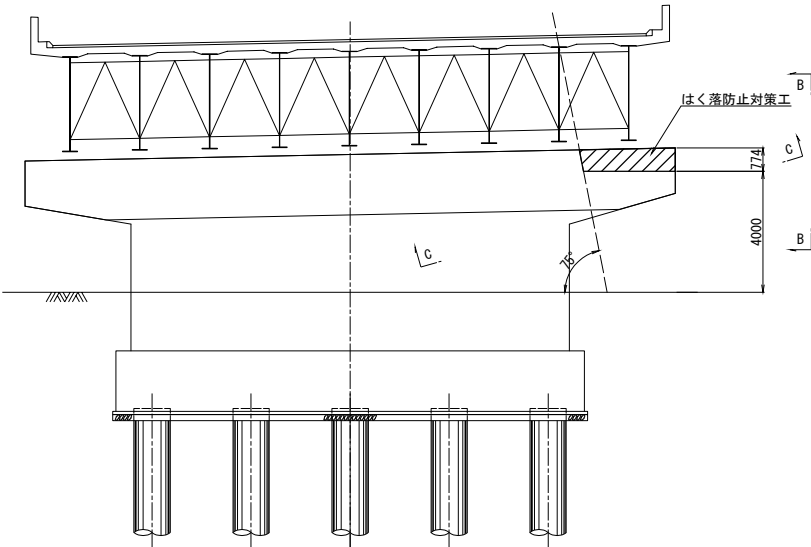
エンドピン
(ピン+止めプレート)



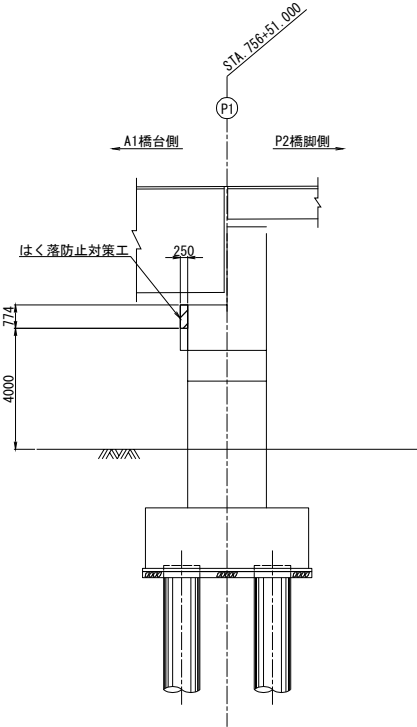
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

上 越 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事		
図面の種類	雨宮橋（下り線） A2橋台落橋防止構造P1ーC3 詳細図（その3）（参考図）	
縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	

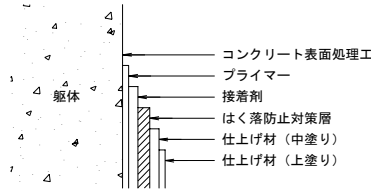
正面図（A - A）



側面図（B - B）

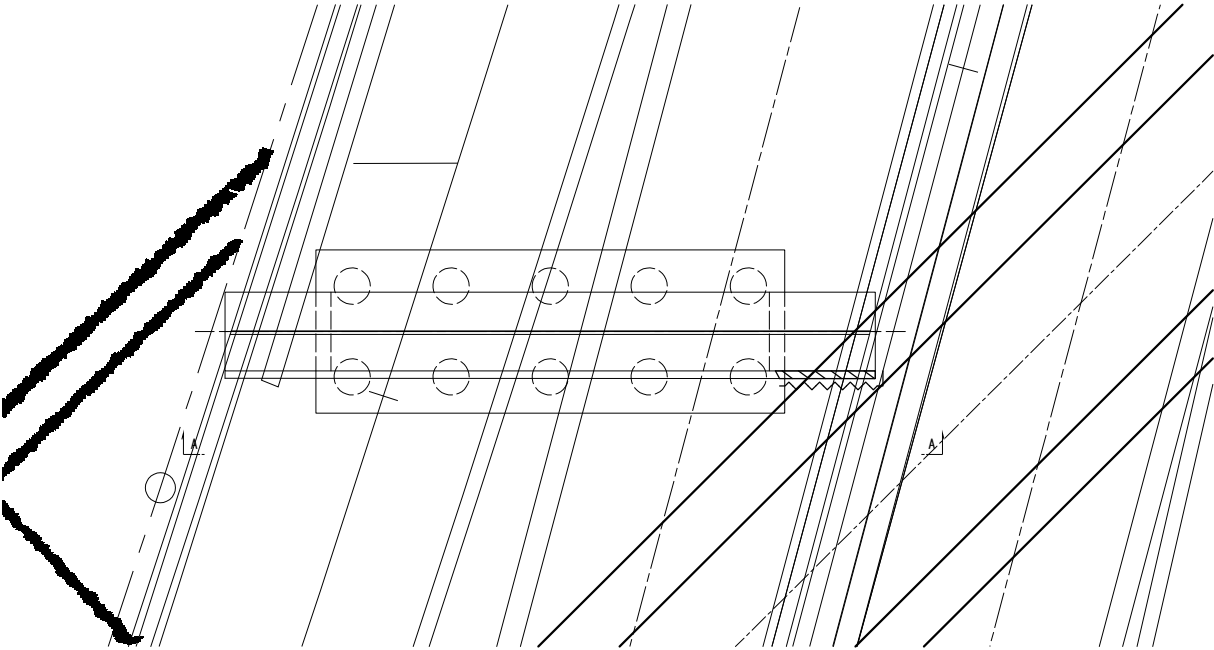


はく落防止対策工B1 標準図

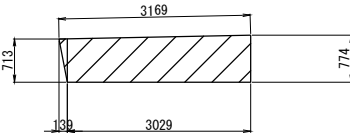


展開図 1:125

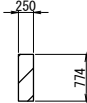
平面図



正面
A - A

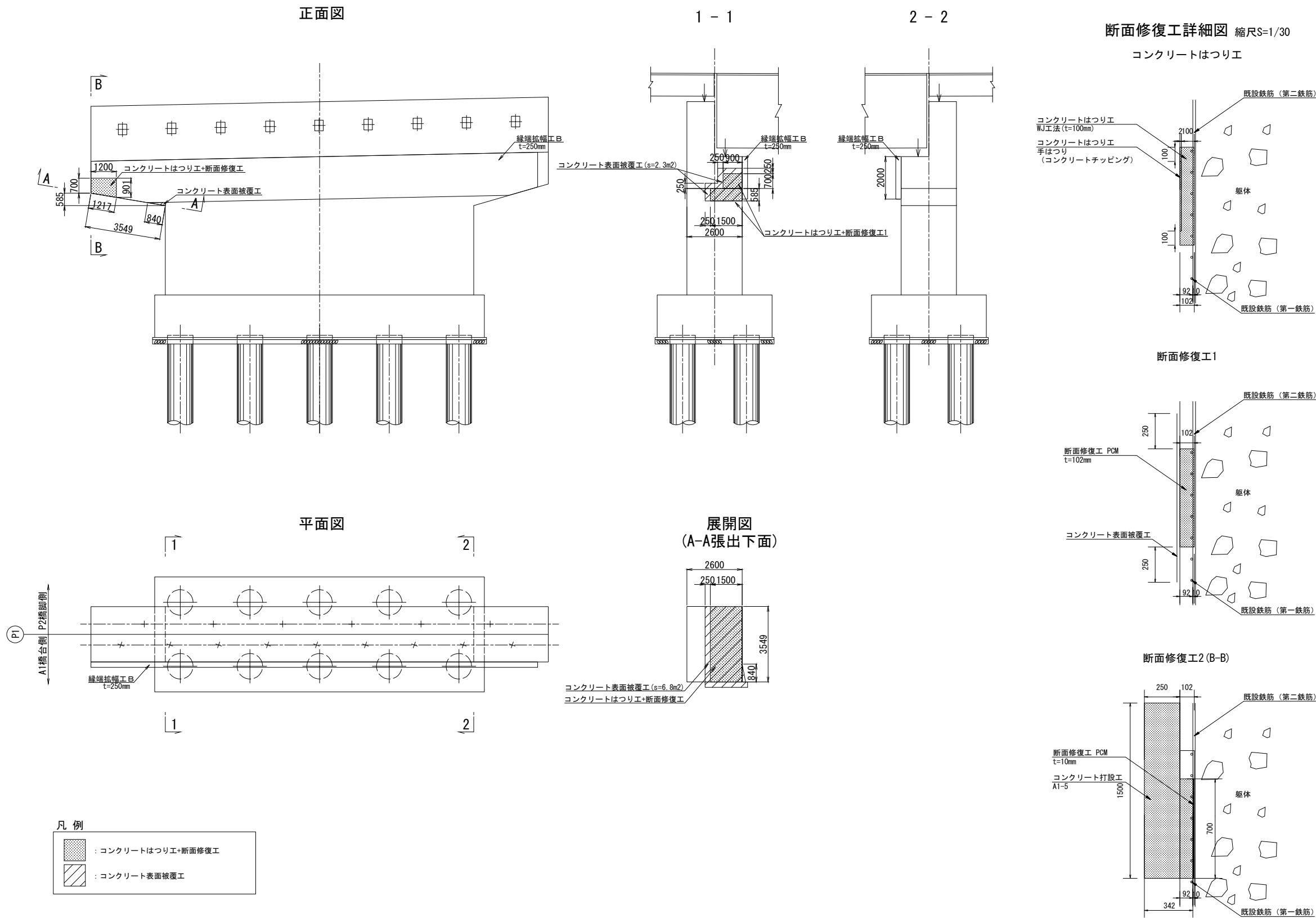


側面
B - B



注記）1. 対策範囲については、現地調査を行い、監督員と協議の上決定すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線）		
	P 1 橋脚 はく落防止対策工一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

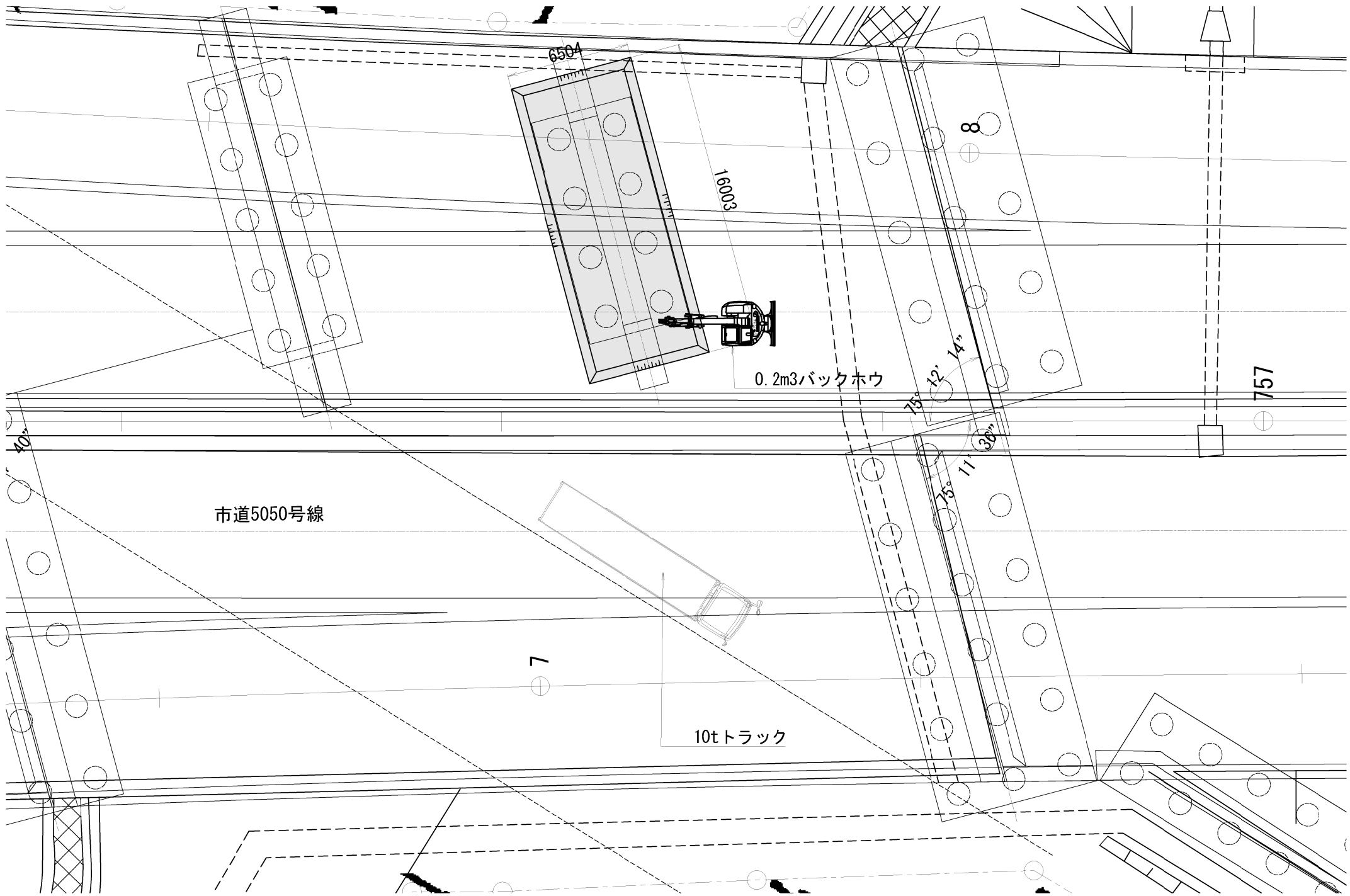


注記)

1. 縁端拡幅工及びSRC巻立てと、断面修復工が重複している範囲のWJ施工数量については、コンクリートはつりエで計上している。

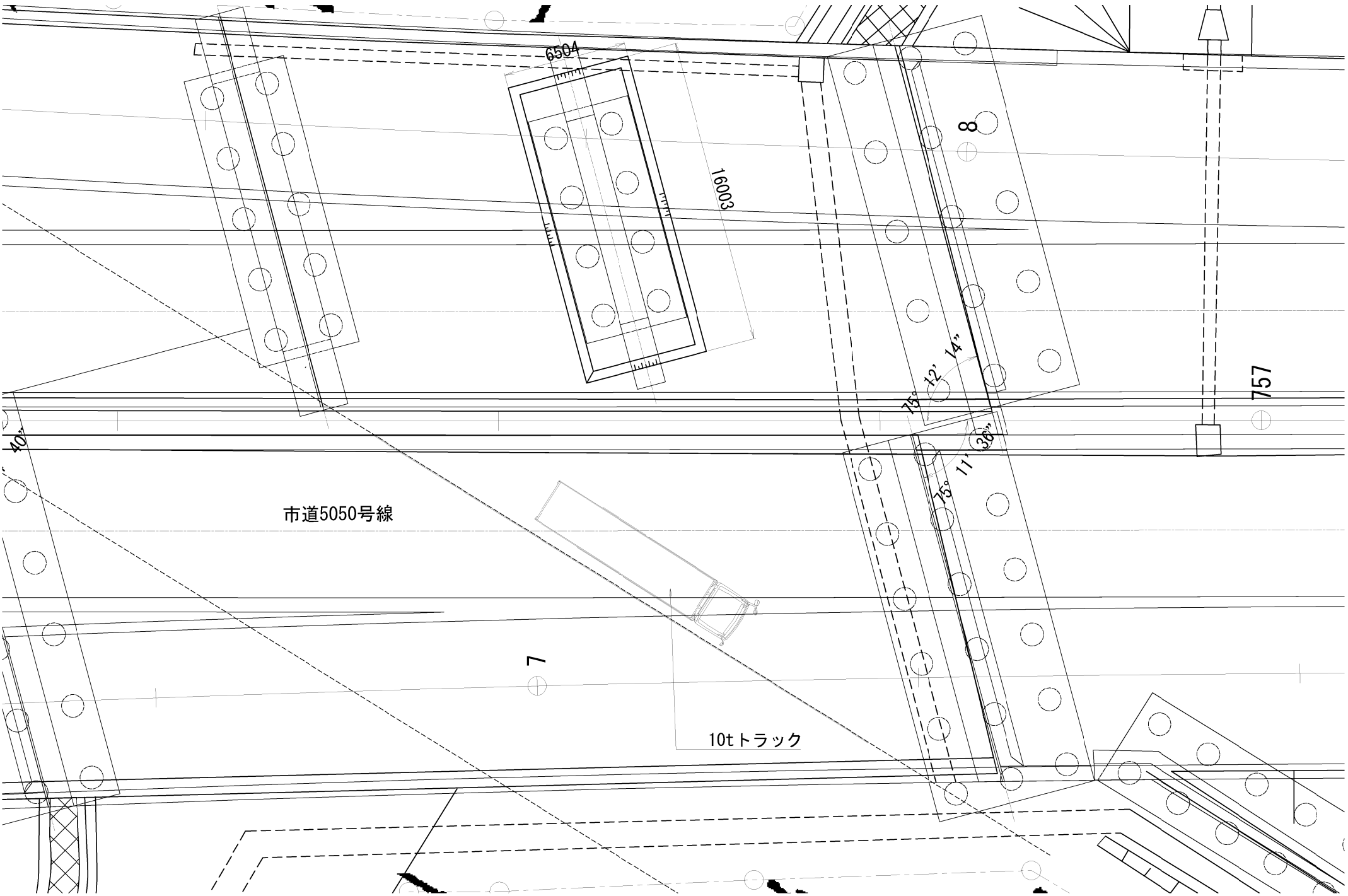
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	雨宮橋（下り線） P 1 橋脚 断面修復工一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

構造物掘削時
平面図



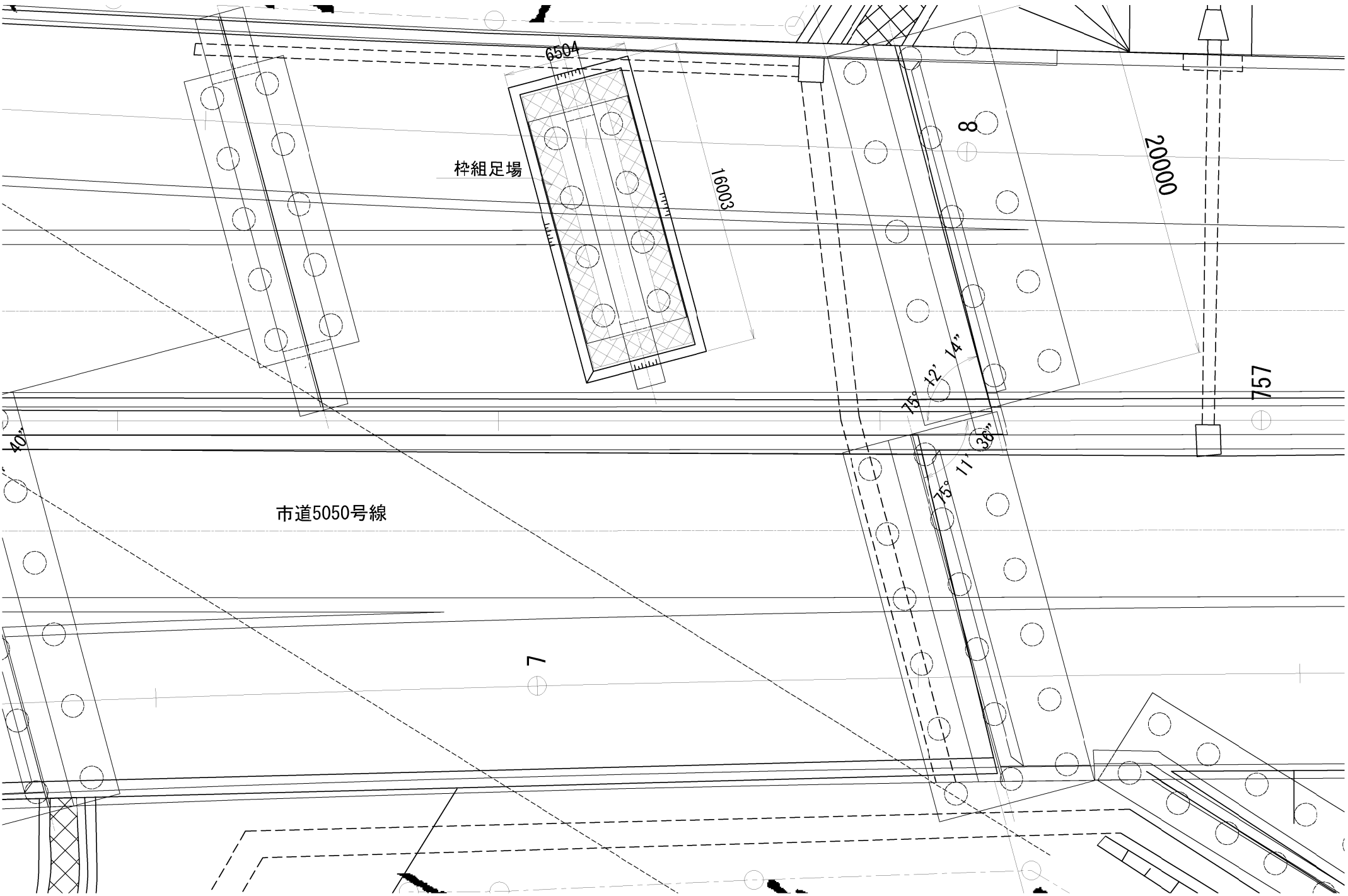
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線）		
	施工計画図（その１）（参考図）		
縮 尺	1:250	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

資材搬入時
平面図

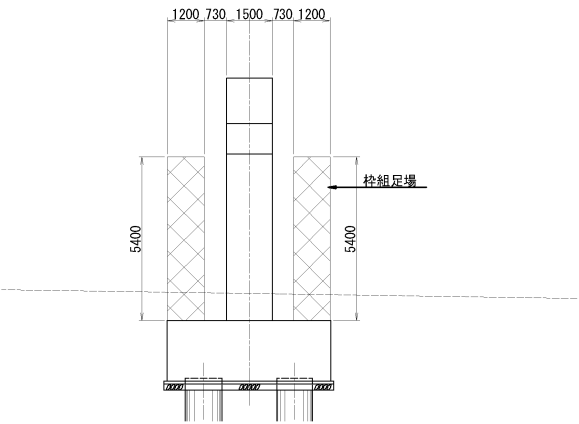


上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線）		
	施工計画図（その2）（参考図）		
縮 尺	1:250	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

足場組立図
平面図

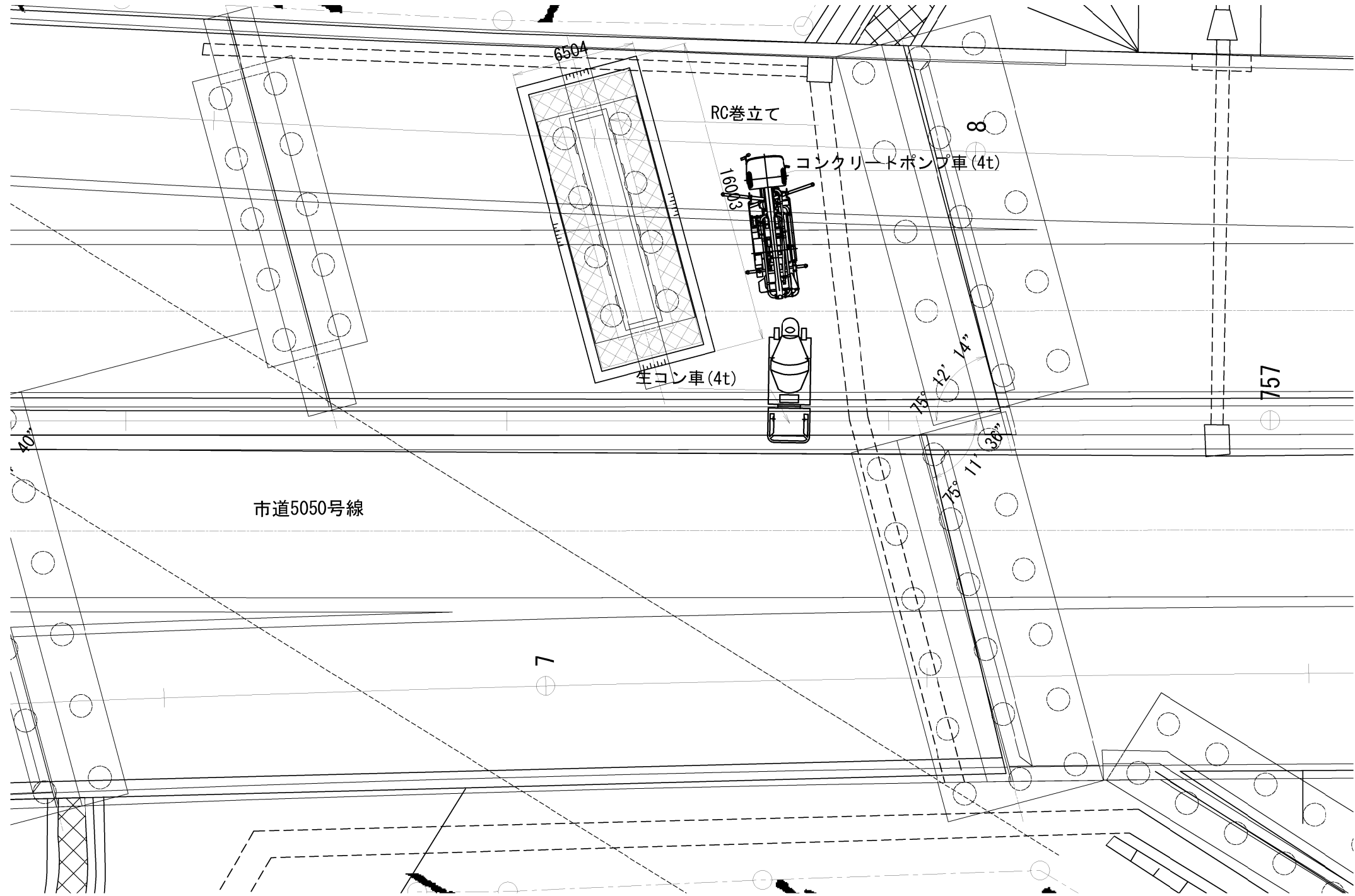


側面図



上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線）		
	施工計画図（その3）（参考図）		
縮 尺	1:250	図面番号	
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

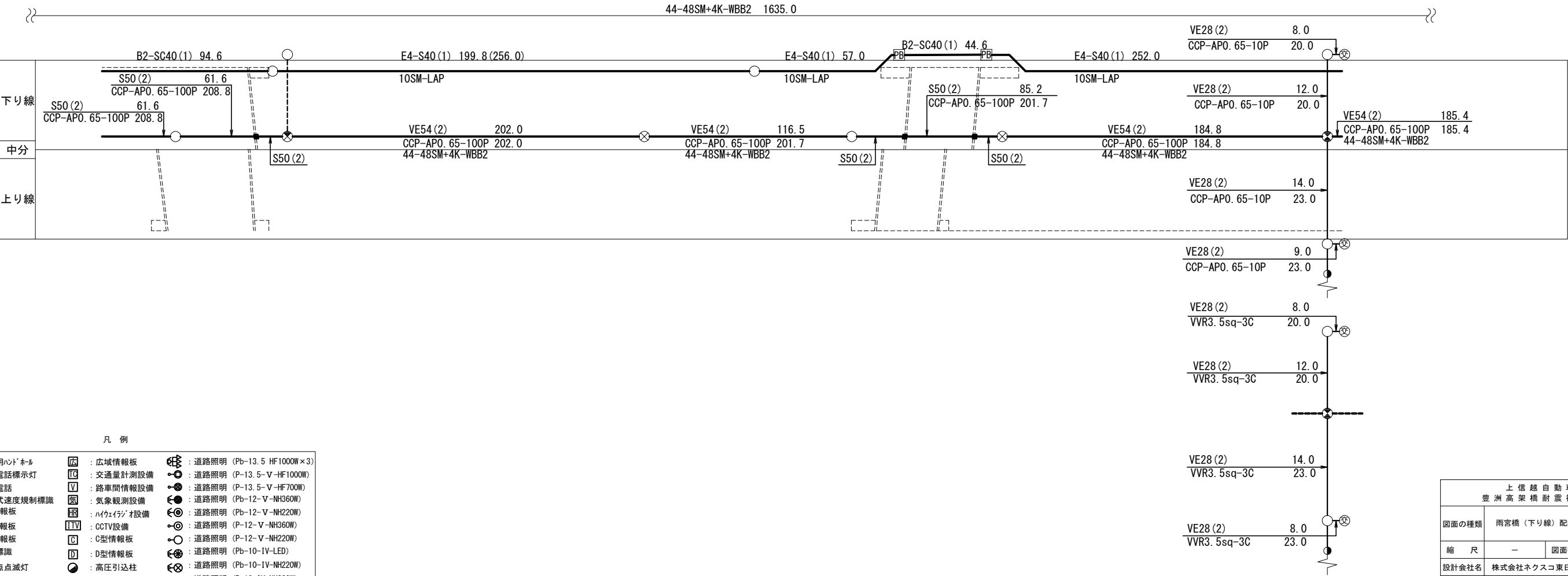
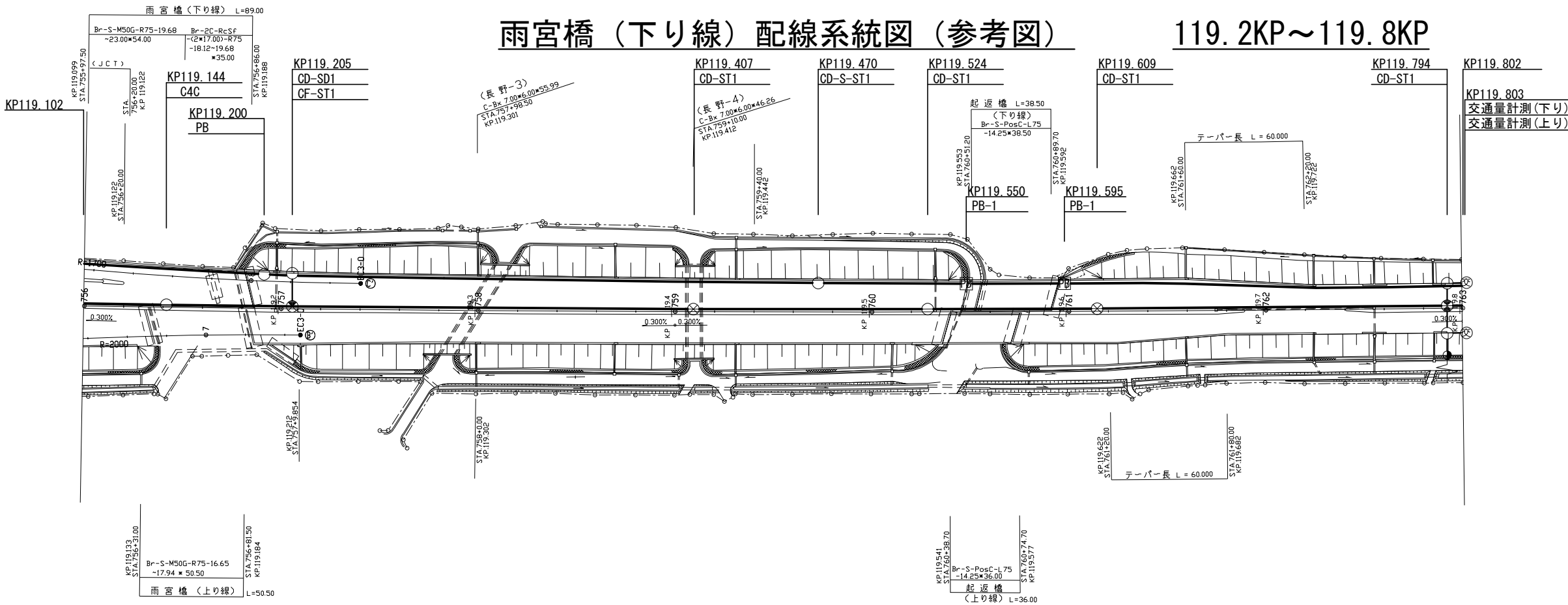
コンクリート打設時
平面図



上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線）		
	施工計画図（その4）（参考図）		
縮 尺	1:250	図面番号	／
設計会社名	株式会社 日本構造橋梁研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

雨宮橋（下り線）配線系統図（参考図）

119.2KP~119.8KP



凡 例

- | | | |
|------------|-------------|--------------------------|
| 電気用ハンド・ネール | 広域情報板 | 道路照明 (Pb-13.5 HF1000W×3) |
| 非常電話標示灯 | 交通量計測設備 | 道路照明 (P-13.5-V-HF1000W) |
| 非常電話 | 路車間情報設備 | 道路照明 (P-13.5-V-HF700W) |
| 可変式速度規制標識 | 気象観測設備 | 道路照明 (Pb-12-V-NH360W) |
| A型情報板 | ハイウェイ・カメラ設備 | 道路照明 (Pb-12-V-NH220W) |
| B型情報板 | CCTV設備 | 道路照明 (P-12-V-NH360W) |
| J型情報板 | C型情報板 | 道路照明 (P-12-V-NH220W) |
| 内照標識 | D型情報板 | 道路照明 (Pb-10-IV-LED) |
| 分岐点点滅灯 | 高圧引込柱 | 道路照明 (Pb-10-IV-NH220W) |
| 通信用ハンド・ネール | 降雪深計 | 道路照明 (P-10-IV-NH220W) |
| 電話BOX | 外照標識 | 庭園灯 |
| 信号機 | ETC予告無線装置 | トンネル非常電話設備 |

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	雨宮橋（下り線）配線系統図（参考図）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		